

令和7年第3回区づくり推進横浜市会議員会議（港北区）

日 時：令和7年9月5日（金）10時から
場 所：区役所4階1・2号会議室

議題

- 1 令和6年度
個性ある区づくり推進費の決算について (資料1)
- 2 令和7年度
個性ある区づくり推進費の執行状況について (資料2)
- 3 令和8年度
港北区予算編成の考え方について (資料3)
- 4 その他
(1) 第三次港北区読書活動推進目標の策定について
(資料4)

資料1

令和7年第3回
区づくり推進横浜市会議員会議資料
令和7年9月5日
港 北 区

令和6年度 個性ある区づくり推進費 決 算



©横浜市港北区ミズキー

港 北 区

令和6年度 個性ある区づくり推進費決算総括説明書

1 総括表

(単位 : 円)

	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C) (=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)
(1) 自主企画事業費	109,336,000	0	109,336,000	107,011,941	2,324,059
(2) 統合事務事業費	49,425,000	0	49,425,000	48,601,813	823,187
統合事務費	26,372,000	0	26,372,000	26,989,365	△ 617,365
統合事業費	23,053,000	0	23,053,000	21,612,448	1,440,552
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	750,288,000	2,853,000	753,141,000	750,280,547	2,860,453
合計	909,049,000	2,853,000	911,902,000	905,894,301 (執行率 99.3%)	6,007,699

(1) 自主企画事業費

(単位 : 円)

区分	予算現額	決算額	差引	主な事業項目
				差引理由
1 安全に、安心して暮らせるまちづくり	29,325,000	28,764,505	560,495	災害に強いまちづくり推進事業 交通安全 無事故でカエル事業 車両借上げ料の減（災害に強いまちづくり推進事業）など
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	23,859,000	21,438,970	2,420,030	地域子育てサポート事業 高齢者・障害者支え合い推進事業 保育協力者謝金の減（地域子育てサポート事業）など
3 活気にあふれるまちづくり	35,922,000	33,772,302	2,149,698	育もう「ふるさと港北」事業 まちづくり調整費 ふるさと港北ふれあい祭り補助金の減（育もう「ふるさと港北」事業）など
4 区民サービス向上に向けた取組	20,230,000	23,036,164	△ 2,806,164	区民サービス向上・環境改善促進事業 戸籍課案内サービス向上事業 個室授乳室の設置等による増（区民サービス向上・環境改善促進事業）など
合計	109,336,000	107,011,941 (執行率 97.9%)	2,324,059	

※詳細は3ページ以降に記載

(2) 統合事務事業費

(単位 : 円)

区分	予算現額	決算額	差引	主な事業項目
				差引理由
統合事務費	26,372,000	26,989,365	△ 617,365	区役所業務の事務経費 消耗品費の増など
統合事業費	23,053,000	21,612,448	1,440,552	広報よこはま区版発行事業 青少年活動支援事業 印刷単価の減(広報よこはま区版発行事業)など
合 計	49,425,000	48,601,813 (執行率 98.3%)	823,187	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位 : 円)

区分	予算現額	決算額	差引	主な事業項目
				差引理由
区庁舎等管理費	150,868,000	148,475,934	2,392,066	港北区総合庁舎、港北土木事務所、行政サービスコーナー(2か所) 光熱水費の残
区版市民活動支援センター管理費	335,000	319,139	15,861	港北区区民活動支援センター
公会堂管理費	27,238,000	27,060,948	177,052	港北公会堂 光熱水費の残
地区センター等管理費	246,520,000	247,319,425	△ 799,425	地区センター(6か所) 小机スポーツ会館 給水設備更新による増
青少年施設管理費	9,808,000	9,808,000	0	綱島公園こどもログハウス
区民文化センター管理費	139,642,000	139,642,000	0	港北区区民文化センターミズキーホール
老人福祉センター等管理費	45,097,000	45,097,000	0	老人福祉センター菊名寿楽荘
コミュニティハウス管理費	87,553,000	87,520,500	32,500	コミュニティハウス(3か所) 学校施設活用型コミュニティハウス(3か所)
区スポーツセンター管理費	26,064,000	24,303,000	1,761,000	港北スポーツセンター 指定管理者の提案による指定管理料の減
広場・遊び場等管理費	16,221,000	16,797,100	△ 576,100	港北国際交流ラウンジ 広場(1か所)、遊び場(13か所) 港北国際交流ラウンジ管理費の増
区庁舎・区民利用施設修繕費	3,795,000	3,937,501	△ 142,501	区庁舎、公会堂、地区センター、行政サービスコーナー等の小破修繕など 対象案件の増
合 計	753,141,000	750,280,547 (執行率 99.6%)	2,860,453	

6年度決算

自主企画事業 目次

(単位：円)

事業名				掲載頁
1 安全に、安心して暮らせるまちづくり				
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	19,959,000	19,596,843	362,157	4
(2) 災害時医療整備事業	560,000	547,676	12,324	11
(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	994,000	935,840	58,160	13
(4) 交通安全 無事故でカエル事業	4,940,000	4,930,862	9,138	14
(5) 放置自転車対策事業	480,000	444,367	35,633	17
(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	1,082,000	999,321	82,679	18
(7) 地域における災害時要援護者支援推進事業	1,310,000	1,309,596	404	20
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり				
(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	1,289,000	794,524	494,476	22
(2) 地域子育てサポート事業	9,939,000	9,186,022	752,978	24
(3) 保育所支援・情報提供事業	2,570,000	2,143,145	426,855	29
(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370,000	296,850	73,150	30
(5) 食育推進事業	1,896,000	1,837,028	58,972	31
(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,525,000	3,299,822	225,178	34
(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	1,800,000	1,615,911	184,089	38
(8) 健康こうほく21事業	2,470,000	2,265,668	204,332	39
3 活気にあふれるまちづくり				
(1) 地域スポーツ推進事業	2,550,000	2,486,503	63,497	43
(2) 港北区商店街活性化事業	1,500,000	1,472,354	27,646	45
(3) 育もう「ふるさと港北」事業	9,625,000	8,873,703	751,297	47
(4) 地域のチカラ応援事業	2,511,000	2,353,706	157,294	51
(5) 港北オープンガーデン事業	2,160,000	1,912,393	247,607	53
(6) 港北オープンファクトリー事業	572,000	580,798	▲ 8,798	56
(7) 芸術文化振興事業	1,800,000	1,800,000	0	57
(8) 区民活動支援事業	1,287,000	1,281,360	5,640	59
(9) 地域振興活動事業	2,850,000	2,702,549	147,451	60
(10) 読書活動推進事業	648,000	594,073	53,927	62
(11) こうほく プラ5.3推進事業	891,000	794,517	96,483	65
(12) 港北エコアクション推進事業	2,565,000	2,028,590	536,410	67
(13) まちづくり調整費	6,963,000	6,891,756	71,244	69
4 区民サービス向上に向けた取組				
(1) 港北区PR情報発信事業	1,072,000	1,046,140	25,860	71
(2) 戸籍課案内サービス向上事業	2,950,000	3,737,469	▲ 787,469	72
(3) 「仕事力向上」職員育成事業	625,000	464,746	160,254	74
(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	12,463,000	14,918,520	▲ 2,455,520	75
(5) 区民利用施設環境改善事業	3,120,000	2,869,289	250,711	76
《参考》統合事業費				
広報よこはま区版発行事業	14,206,000	13,098,458	1,107,542	77
広聴相談事業	1,946,000	1,944,991	1,009	78
青少年活動支援事業 ※右記金額には学校・家庭・地域連携事業を含みません	2,272,000	2,271,000	1,000	79
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	884,000	818,404	65,596	9
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	2,093,000	2,093,000	0	44
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく プラ5.3推進事業の頁に掲載	842,000	726,000	116,000	66
学校・家庭・地域連携事業 ※青少年活動支援事業の頁に掲載	810,000	660,595	149,405	79

※次ページからの詳細の差引理由について、差引額が10万円未満の事業は差引理由を省略しています。

1－(1) 災害に強いまちづくり推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1－(1) 災害に強いまちづくり 推進事業	19,959,000円	19,596,843円	362,157円
総務課	差引理由	車両借上料の減など	

【事業の概要】

能登半島地震の発生による区民の災害対策への関心の高まりを捉え、災害発生時の被害を最小限に留めるための各種取組を行いました。

地域向けの啓発事業を実施し、一人ひとりの自助・共助による備えの重要性を伝え、具体的な行動に結びつけるほか、地域防災拠点の円滑な運営を支援するため、資機材の更新や取扱講習を行いました。

また、区災害対策本部の運営体制を強化するため、通信手段や電源の確保、訓練・研修等を行いました。

【主な内容】

1 自助・共助の啓発事業 【予算：8,140,000円、決算：10,617,672円】

(1) 防災キャラバン等の実施

地域のニーズに応じた啓発活動を行い、区民の防災意識の向上につなげるため、自治会町内会や区内小学校等の希望する団体を対象に、専門家による防災キャラバンや区役所防災担当による講座等を実施しました（防災キャラバン：6～12月）。

【防災キャラバンのテーマ一覧】

テーマ	概要	令和6年度実績
防災食	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	6回
発災時のトイレ問題	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	5回
マンション防災	マンション特有の防災対策についての講義	2回
建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	2回
知的障害や自閉症の方への支援	災害時の知的障害や自閉症の方向けの支援について、当事者からの講義やコミュニケーションボードの使用方法説明等	1回
河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	1回
首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	1回
崖防災	崖地防災の基礎知識についての講義	0回
合 計		18回

【防災キャラバン等の実施状況、参加実人数】

年 度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
団体数	10団体	8 団体	18団体	26団体	44団体
実人数	369人	357人	1,304人	1,486人	2,287人

※内訳：防災キャラバン18団体758人、防災担当による講話等26団体1,529人



【防災キャラバンの様子（6年度）】

(2) 港北支えあい防災教室の実施

要援護者に関するケアマネジヤーや、要配慮者施設（高齢者施設、保育所等）の職員が、防災に関する基礎知識に加えて、職種や施設の特徴に応じた知識を得ることができるよう、研修会を実施しました（計3回 7月～12月）。

【6年度の実施状況】

実施回	実施日	対象者（内容）	参加実人数
第1回	7月31日	保育施設関係者 (避難訓練、事前対策、発災時の保護者の対応等について)	20名
第2回	10月28日	高齢者・福祉施設関係者 (令和元年の台風19号における当日・被災後の様子、避難における判断、日常の避難訓練や備蓄品の準備)	20名
第3回	1月31日	保育施設関係者 (能登半島地震における保育施設の状況、BCP（事業継続計画）作成のあり方)	28名



【第1回の様子】

(3) 港北シェイクアウト！の実施

区民、区内の小・中学校、幼稚園、保育園、企業、大規模集客施設、商店、公共施設、病院等に参加を呼びかけ、一斉に実施しました（9月）。

また、9月1日にトレッサ横浜で来場者向けに実施したほか、9月27日に港北区総合庁舎で実施しました。



【トレッサ横浜での港北シェイクアウト！】

(4) 商業施設等と連携した防災啓発イベントへの出展

区内の大規模商業施設等と連携した啓発イベントに出展し、啓発活動を行いました。

【出展した防災啓発イベント】

時期	商業施設等名称	イベント名	主な啓発実施内容
9月1日（日）	トレッサ横浜	トレッサ防災フェア 2024	パネル展示、 ワークショップの実施 等
11月30日（土）	横浜アリーナ	ふるさと港北 ふれあいまつり	
3月8日（土）	アピタテラス 横浜綱島	こども防災フェア 2025	

(5) 防災講演会の実施

より多くの区民に災害への備えの重要性を伝え、参加者が具体的な行動を取るきっかけになるような防災啓発を実施するため、防災に見識のある外部講師を招き、区民が気軽に参加することができる講演会を開催しました。

6年度は、ひとつプラン港北の啓発を行う区民フォーラムと合同で実施し、地域で助け合うことの重要性を伝えることで、共助による災害の備えを推進しました（2月）。

(6) がけ地相談会の実施

区内における崖地周辺の土地所有者の適切な対応につなげるため、専門家が対応する相談会を区独自に実施しました（9月13日及び14日、申込11組）。

(7) まるごとまちごとハザードマップの設置

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、「まちなか」の電柱に想定浸水深や避難場所を示した看板等を、新吉田地区、新吉田あすなろ地区及び樽町地区の洪水浸水想定区域内に設置しました。地区内の設置場所は地区定例会を通じて地域と調整しながら決定しました（3月）。

【設置状況】

年度	地区（設置数）
4年度	大倉山（50か所） 綱島（50か所）
5年度	城郷（50か所） 新羽（50か所）
6年度	新吉田、新吉田あすなろ（60か所） 樽町（30か所）

※8年度までの5か年で区内の浸水想定区域
全域に設置予定



【想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ（城郷地区）】

(8) 防災マップ、各種ハザードマップ等の更新、印刷

区民が日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、防災マップ、各種ハザードマップ等を更新しました。

また、防災マップと区民生活マップを統合した「港北区防災・区民生活マップ」を作成し、防災に関する情報やバス路線図、区民利用施設等の情報を一元化し、利便性を高めました。

(9) 外国語版防災マップの作成

日本語を母語としない外国籍の区民、区内在勤者及び在学者が、平時から防災意識を高め、災害への備えや適切な避難行動を取ることができるよう、外国語版の防災マップを作成し、区ウェブサイト上に公開しました。

区内在住の外国籍の方では中国籍の方が最も多いことから、5年度に作成した英語版に続き、新たに中国語版を作成しました。

2 避難所等の環境改善及び運営支援 【予算：3,212,000円、決算：4,089,395円】

(1) 地域防災拠点備蓄倉庫の狭あい化への対応

備蓄倉庫の狭あい化に対応し、拠点運営委員会の円滑な活動を支援しました。

・区独自配備資機材の置き換え

資機材の備蓄に要するスペースを可能な限り縮減するため、区が独自に配備した資機材のうち、段ボールベッドを回収し、劣化しにくいなど機能を強化しつつスペースを比較的要しないスチール製のワンタッチ式ベッドを新たに配備しました（8月～9月、6年度は9拠点分、7年度までに全拠点に配備）。



【ワンタッチ式ベッドのイメージ】

・防災備蓄倉庫の整理整頓の支援

防災備蓄倉庫の整理整頓、備蓄品の管理を支援するため、専門業者に委託し、希望する拠点の備蓄倉庫内の棚卸、目録及び位置図の作成等を行いました（8月～12月、7拠点）。

(2) 資機材取扱指導員の派遣

災害発生時に資機材を取り扱うことができる人材を安定的に確保するため、資機材取扱指導員を地域防災拠点運営委員会に派遣し、資機材の取扱研修を行いました（9月～12月、5拠点）。



【指導員による研修の様子】

(3) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機等の資機材について、地域防災拠点運営委員会の要請等に対応し修繕・更新を行いました。

(4) 地域防災拠点訓練参加者向け保険の加入

各地域防災拠点で実施される防災訓練の参加者が訓練時に負傷した場合に備え、傷害保険に加入了しました。

3 区災害対策本部の効率的な設置運営 【予算：5,097,000円、決算：4,739,776円】

(1) 区職員向け防災研修の実施

区職員が平時から防災意識を高め、災害発生時に円滑に対応業務を行うことができるよう、外部講師による防災研修を行いました（8月、参加実人数60人）。

【実施概要】

講師	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏
内容	「災害時、自治体職員のミッション、パッション、実務能力」と題した講演



【研修の様子】

(2) IP無線機等を活用した円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、IP無線機等の各種通信機器を継続して運用しました。



【IP無線機の特性】

- ・同時通話が可能
- ・全国どこでも通信可能

【IP無線機】

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施しました。

【訓練】

- ・区職員動員訓練（9月～12月）
- ・震災対策本部各班訓練（10月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・初動対応輪番者研修（4月17日、19日、23人）
- ・地域防災拠点参与係長研修（5月10日、16日、16人）
- ・風水害時避難場所運営責任者研修（5月21日、24日、25人）
- ・拠点動員者研修（9月）

【風水害時避難場所
運営責任者研修の様子】

(4) 港北区災害対策本部の備蓄品整備

庁舎の停電時に、区本部の円滑な初動対応を確保するため、容易に持ち運んで運用が可能なバッテリー機器を配備しました。また、備蓄食料等を購入しました。

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【予算：884,000円、決算：818,404円】

避難指示等の避難情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域等に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用しました。

【対象区域内の配信希望者等(2,975件)】(7年3月末)

- | | |
|---------------------|--------|
| ・洪水浸水想定区域内災害時要援護者 | 2,654件 |
| ・家屋倒壊等氾濫想定区域となる | |
| 新羽町・北新横浜・小机町等の一部の住民 | 193件 |
| ・自治会及び町内会の会長(区内全域) | 125件 |
| ・土砂災害警戒情報発表に伴う | |
| 即時避難指示対象の区域の住民 | 3件 |

4 デジタル技術を活用した災害対策 【予算：3,360,000円、決算：0円】**(1) 動画配信サイト（YouTube）を活用した防災啓発**

スマートフォン等を中心に情報収集を行う若年層の防災意識を醸成するため、5年度に引き続き防災啓発を目的とした動画を作成し、YouTubeの広告機能を活用して、災害への備えの重要性や各種防災啓発イベントの周知を行いました。

(2) 災害に強いまちづくりに資する防災対策の検討

当初予定していた「港北区防災ポータルサイト」の構築については、6年3月にリニューアルされた「横浜市防災情報ポータル」において、想定していた機能が付加されたため実施しないこととし、別途発災時の地域防災拠点運営を支援する取組を実施しました。

5 各種団体への補助 【予算：150,000円、決算：150,000円】

災害時に円滑なボランティア活動を実施するため、港北区災害ボランティア連絡会にコーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として補助金を交付しました。

[総務局再配当予算]**・地域防災力向上事業****地域防災活動奨励助成金 【予算：3,480,000円、決算：3,480,000円】**

区内29か所の地域防災拠点運営委員会へ助成（1拠点あたり12万円交付）

町の防災組織活動費補助金 【予算：18,273,644円、決算：18,351,080円】

区内151団体の町の防災組織へ補助（1世帯あたり160円交付）

1 - (2) 災害時医療整備事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (2) 災害時医療整備事業	560,000円	547,676円	12,324円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

能登半島地震を踏まえた様々な災害時医療の課題への対策を講じるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「三師会」という。）をはじめとした関係機関との各種会議や医療救護隊等の訓練を行うとともに、災害時の体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナース（Yナース）の登録促進と育成を進めました。

【主な内容】

1 災害医療体制の整備 【予算：194,000円、決算：193,720円】

(1) 災害医療連絡会議

三師会、Yナース、病院等の医療関係者と、区、警察、消防等の行政機関が参加し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関し、意見交換や情報共有を行いました。

（年3回 6月18日、10月22日、2月18日）



【災害医療連絡会議】

(2) 災害時の医療体制の区民周知

医療機関や医療救護隊が限られた人員と資源でより多くの人を救う効果的な活動を行うため、重症度に応じた受診先の選択や、軽症者の自助共助による対応等の災害時の医療体制について、三師会と連携して区民向けに周知啓発を行いました。

具体的には、三師会と連携したチラシ・ポスター配布（2,620部・通年）、のぼり旗掲出訓練の広報よこはま区版でのお知らせ（8月、1月）にあわせ、区ウェブサイト、SNS等を活用して広報を行いました。



【災害時医療体制周知チラシ】

2 医療救護隊訓練の実施 【予算：50,000円、決算：47,956円】

参集実地訓練（12月8日）や医療機関報告書持込訓練（9月～11月）、のぼり旗・フラッグ掲出訓練（9月1～7日、1月17日～23日）、医療機関や医療局との通信訓練（医療機関：年4回、医療局：年6回）を実施しました。



【参集実地訓練】



【医療機関報告書持込訓練】



【のぼり旗・フラッグ掲出訓練】

【訓練の参加人数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
参集実地訓練 (実人数)	中止	41人	70人	64人	70人
報告書持込訓練 (参加医療機関数)	—	—	41機関 (3拠点)	47機関 (5拠点)	74機関 (7拠点)

3 医療救護隊用装備品の整備 【予算：296,000円、決算：286,000円】

医療救護隊参集拠点における定点診療や、医療救護隊及び医療調整班保健活動グループの巡回診療に必要な装備品を整備しました。

4 災害支援ナースの登録促進と育成 【予算：20,000円、決算：20,000円】

- リーフレットによる登録勧奨（随時）
- 広報よこはま区版（8月、1月）や区ウェブサイト、SNS等を活用した登録勧奨
- 参集実地訓練への参加依頼（12月8日）
- Yナース連絡会の開催（年1回：1月30日）
- 港北区医師会や神奈川県看護協会主催の研修会への参加勧奨（随時）



【Yナース募集リーフレット】

【Yナース登録者数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
登録人数	56人	72人	64人	66人	66人

1-(3) 快適な暮らしの衛生応援事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	994,000円	935,840円	58,160円
生活衛生課	差引理由		

【事業の概要】

区民の安全で快適な暮らしのため、食中毒、衛生害虫及びペットに関する相談対応を行うとともに、食中毒・感染症、動物の適正飼育及び災害時のペット対策の啓発を行いました。

また、啓発媒体のデジタル化の推進により、区ホームページへのアクセス数が向上しました。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策事業 【予算：479,000円、決算：475,860円】

イラストや動画のURLを掲載したSNSの発信（11回）及びYoutube動画広告の掲載（11月～1月）により、区ホームページに誘導して食中毒・感染症予防啓発を推進しました。

【食中毒・感染症発生件数】

暦年		2年	3年	4年	5年	6年
食中毒	件数	3件	2件	2件	0件	3件
	患者数	24人	7人	4人	0人	16人
感染症*	件数	22件	35件	43件	41件	33件
	患者数	41人	274人	202人	731人	468人

*ノロウイルス、腸管出血性大腸菌等

2 住まいの衛生及びペットに関する相談・啓発事業 【予算：515,000円、決算：459,980円】

衛生害虫やペットのマナー等の相談受付及び災害時ペット対策の啓発について、動画などを活用し、効率的に推進しました。

- ・ハチ、ねずみ等衛生害虫に関する相談受付・啓発（通年）
- ・ペットの適正飼育に関する相談受付、啓発・指導（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発（4月6日、21日）
- ・地域防災拠点運営委員会等での啓発（18回）

【衛生害虫・ペット関係の相談件数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
衛生害虫	405件	516件	469件	378件	434件
ペット	199件	154件	126件	120件	127件



【マナー・防災に関する啓発資料、動画】

【ネズミ対策動画】

【ペットのマナー教室】

1-(4) 交通安全 無事故でカエル事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(4) 交通安全 無事故でカエル事業	4,940,000円	4,930,862円	9,138円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力し、啓発活動を行いました。特に、交通児童や高齢者を対象に事業を実施しました。

【主な内容】

- 1 児童交通安全対策事業 【予算：4,105,000円 決算：4,444,459円】
- (1) ランドセルカバー贈呈式 : 4月8日 高田小学校
 - (2) スケアード・ストレイト方式の交通安全教室 : 11月17日 新田中学校
 - (3) はまっ子交通安全教室 : 24校
 - (4) 交通安全ポスターコンクール : 応募487点
 - (5) スクールゾーン路面標示 : 36か所
 - スクールゾーン電柱巻 : 30か所



【ランドセルカバー贈呈式】



【はまっ子交通あんぜん教室】



【交通安全カレンダー】



【スクールゾーン路面標示】



【スクールゾーン電柱巻】

2 交通安全運動事業 【予算：633,000円 決算：412,703円】

(1) 各種交通安全キャンペーンの実施

- ・春の全国交通安全運動キャンペーン：新横浜駅にて街頭啓発実施
(4月5日 53名参加 啓発物品400個配布)
- ・夏の交通事故防止運動キャンペーン：日吉駅にて街頭啓発実施
(7月11日 54名参加 啓発物品400個配布)
- ・秋の全国交通安全運動キャンペーン：トレッサ横浜にて啓発実施
(9月21日 60名参加 啓発物品600個配布)
- ・年末の交通事故防止運動キャンペーン：新横浜駅にて街頭啓発実施
(12月11日 52人参加 啓発物品300個配布)
- ・自転車マナーアップキャンペーン：アピタ横浜綱島店前にて街頭啓発実施
(5月15日 30人参加 啓発物品50個配布)
- ・二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間キャンペーン：横浜テクノロジーセンター付近
(6月10日 13人参加 啓発物品50個配布)



【各種交通安全キャンペーン】

(2) 港北区安心・安全のつどいの開催

交通安全功労者、ポスターコンクールの入賞者、防犯活動功労者の表彰及びタレントの田代沙織さんによる「交通安全・防犯落語」の実施 (12月6日 港北公会堂 参加者約200人)。

(3) 区内企業イベントと連携した交通安全啓発の実施

区内企業が実施する人の集まるイベントの機会を活用し、交通安全啓発を実施しました。

- ・パパルフェスティバル横浜 (10月20日)
- ・港北 AUTUMN 消防フェア (11月4日)
- ・アネスト岩田ブルーリングフェス (2月23日) ほか

3 高齢者交通安全対策事業 【予算：100,000円 決算：0円】

(1) 交通安全シルバーリーダー連絡協議会総会

5月31日 港北区役所

(2) シルバードライビングスクールの開催

12月16日 菊名ドライビングスクール

【参加者数の推移】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
参加者数	中止	中止	19人	11人	11人

(3) シルバーウォークラリーの開催

4月10日 新羽駅から新羽丘陵公園区間 17人参加、
9月25日 座学後、港北区役所から大倉山公園区間 16人参加

【参加者数の推移】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
参加者数	中止	中止	23人	33人	33人



【シルバーウォークラリー】

4 子育て関連施設交通安全対策事業 【予算：102,000円 決算：73,700円】

新規に開園する保育所や幼稚園などの施設周辺に、子どもの飛出しに対する注意を促す電柱巻看板を設置しました（新設3か所、更新5か所）。



【電柱巻看板】

1－(5) 放置自転車対策事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1－(5) 放置自転車対策事業	480,000円	444,367円	35,633円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

駅前における歩行者の安全を確保するため、各駅自転車等放置防止推進協議会の活動を支援するとともに、自転車等の放置防止を促しました。

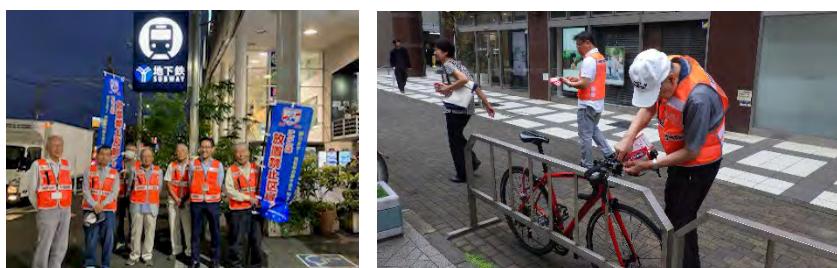
【主な内容】

1 地域活動事業 【予算：480,000円、決算：444,367円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成（10協議会）するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、各駅の状況に応じて協議会の活動を支援しました（通年）。

また、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、区内の各協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会」を開催しました（3月3日）。

視覚的に駐輪禁止とわかるように、看板等を活用し、駐輪禁止区域内の自転車等の放置を防止しました（通年）。



【放置自転車クリーンキャンペーン】

【区内全駅の1日における放置台数（合計）】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
放置台数	365	214	330	181	352
駐輪場台数	19,981	20,039	19,461	20,036	20,425

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋
(11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数)

《参考》

局事業

〔道路局事業〕

- ・自転車マナーアップ事業
自転車放置防止監視員の配置

1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	1,082,000円	999,321円	82,679円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

自治会町内会による防犯活動の物品配布やメールでの区内犯罪発生情報の発信、各団体と連携した特殊詐欺啓発物品の積極的な配布など、区民の防犯活動支援と犯罪情報提供を実施しました。

【主な内容】

1 防犯情報メールの配信事業 【予算：132,000円、決算：132,000円】

防犯情報メールの登録者を対象に、警察から情報提供があった犯罪発生状況等を、メールやFAXで「防犯情報メール」として配信しました。

また、特殊詐欺の前兆電話があったという情報が、警察や区民から区役所に複数寄せられた際に、「特殊詐欺警報」として即時に注意喚起の防犯情報メールを配信しました。

【防犯情報メール登録者数】

年度	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末	6年度末
延べ登録者数	10,622人	11,250人	11,569人	11,778人	11,964人

2 防犯啓発活動事業 【予算：450,000円、決算：464,446円】

(1) 防犯パトロール関連物品の作製配付

「のぼり旗」や「ベスト」等、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作製、配付し、地域の防犯活動を支援しました。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で巡回し、放送による防犯啓発を行いました。子どもの下校時間にあわせた見守りとともに、警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々の状況にあわせた注意を放送で呼び掛けました。



【青色防犯灯装備車によるパトロール】



【防犯のぼり】

1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

(3) 港北AAA（安全で安心な明日を）作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や港北防犯協会等の防犯関係団体、地域、学校、事業者による「港北AAA作戦会議」を書面開催しました（6月）。

(4) 港北区安心・安全のつどいの開催【再掲（P15）】

交通安全功労者表彰等とあわせて、防犯功労者表彰や防犯講話を公会堂で実施しました（12月）。

3 特殊詐欺対策機器設置啓発事業 【予算：500,000円、決算：402,875円】

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、特殊詐欺対策に有効な迷惑電話防止機能付き電話機について広報を行い、各家庭での設置を促しました。また、警察や郵便局、民間企業と連携し、巡回訪問時や、人が集まるイベント等の機会を活用した啓発グッズ配布先の拡大により、特殊詐欺防止の啓発を実施しました。



【啓発チラシ】



【啓発グッズ①】



【啓発グッズ②】

【市民局再配当予算】 【予算：90,000円、決算：90,000円】

・地域防犯啓発事業

「子ども 110 番の家」にご協力いただけるご家庭に対し、港北区内の小学校を通じてプレートを配付しました。

《参考》

【港北区内犯罪発生状況（暦年）】

年	2年	3年	4年	5年	6年
犯罪発生件数	1,109件	1,215件	1,426件	1,728件	1,691件
特殊詐欺	35件	58件	105件	84件	66件
同被害額	5,500万円	1億4,345万円	1億8,532万円	約1億6,950万円	約1億8,970万円

1-(7) 地域における災害時要援護者支援推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(7) 地域における災害時要援護者支援推進事業	1,310,000円	1,309,596円	404円
高齢・障害支援課	差引理由		

【事業の概要】

地域の方と災害時要援護者（以下「要援護者」という。）との平常時の関係構築と防災意識醸成の取組を推進するため、地域への情報提供に同意をいただいた要援護者宅への訪問用の防災物品と啓発チラシを作成・配布しました。

また、区内協力企業等による、長期停電時における要電源医療機器利用者へのバッテリー貸出しを行いました。

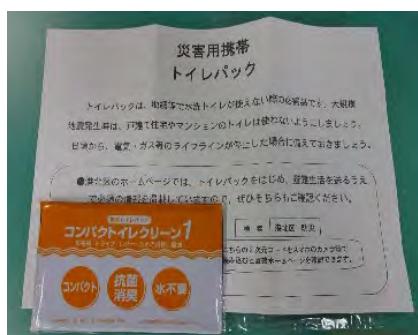
【主な内容】

1 災害時要援護者訪問推進事業 【予算:1,100,000円、決算:1,227,096円】

地域の方と要援護者との平常時の関係構築と防災意識醸成のため、3月の災害時要援護者名簿更新に合わせて、名簿登載者のうち、地域への情報提供に同意をいただいた方への訪問時に、災害用備蓄物品と防災情報の啓発チラシを配布しました。

また、自治会・町内会等の支援者向けに、事業概要と要援護者支援の事例を掲載した港北区災害時要援護者支援事業取組ハンドブックを改訂、配布するとともに、概要版の動画を作成しました。

- ・啓発チラシの要援護者宅への配付：6,000部（3月）
- ・ハンドブックの作成 : 650部（3月）



【備蓄物品と啓発チラシ】



【災害時要援護者支援事業取組ハンドブック】

[健康福祉局再配当予算]

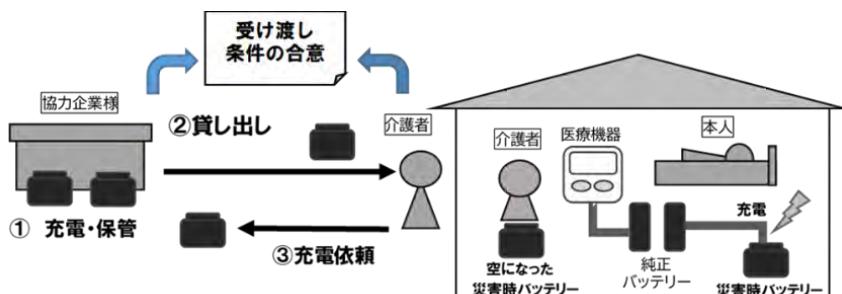
・災害時要援護者支援事業

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者・障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿を提供しました。

2 要電源医療機器利用者支援事業 【予算:210,000円、決算:82,500円】

区内の協力企業に災害用としてポータブルバッテリーを貸与し、長期停電時に協力企業による共助の取組として充電済みのバッテリーを要電源医療機器利用者に貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電などの支援を行いました。

協定締結済企業数：12社、利用申込者：7人



【取組のイメージ図】



【ポータブルバッテリーの例】

協力企業は区が用意したポータブルバッテリーを使って

- ①平常時は充電・保管
- ②1日超の長期停電時に貸出
- ③対象者のバッテリーの充電のサイクルを作りました。

《参考》

【港北区における要電源医療機器利用者の推定人数（※）】

- ・人工呼吸器利用者数 推定 50 人
- ・自動腹膜装置利用者数 推定 10 人

※要電源医療機器利用者が、必ずしも障害者手帳等の行政サービスを利用しているわけではないため、区役所による対象者の把握は困難です。そのため、健康福祉局の要電源医療機器利用者登録制度を活用し、協力企業とのマッチングを行っていました。

《参考》

局事業

[健康福祉局事業]

- ・横浜市要電源障害児者等災害時電源確保支援事業
災害等による停電時の備えとして、電源が必要な医療機器を在宅で使用している方に対し、市民税所得割額等に応じて蓄電池等の非常用電源装置の給付を行っています。
- ・横浜市災害時要電源障害児者等登録制度
電源が必要な医療機器を在宅で使用している方のうち、災害時（発災前を含む）に支援が必要な方を把握することで、災害対策検討、広報、情報発信等、様々な施策に活用していくことを目的とした登録制度。

2-(1) 「ひっとプラン港北」推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	1,289,000円	794,524円	494,476円
福祉保健課	差引理由	局事業予算活用による残	

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「第4期港北区地域福祉保健計画(計画期間：3年度～7年度)」(以下「ひっとプラン港北」という。)の区計画を推進するとともに、13地区で策定した地区計画の推進を支援し、助け合い支え合いのある、安心して暮らせるまちを目指します。6年度は、ひっとプラン港北の4年目であり、5年度に実施した地域福祉保健計画に関する区民意識調査等を基に振り返りや課題抽出を行い、6年度に定められた第5期横浜市地域福祉保健計画を踏まえ、策定・推進会議の開催及び関係団体へのヒアリングをおこして第5期計画の策定に向けて取り組みました。

【主な内容】

1 第4期区計画推進・地区計画推進支援 【予算：189,000円、決算：163,148円】

- ・「ひっとプラン港北」策定・推進会議を開催しました（7月10日、2月5日）。
- ・ひっとプラン担当者・職員向け研修を実施しました（5月15日）。
- ・各地区計画推進委員会等へサポートスタッフが支援を実施しました（随時）。



【「ひっとプラン港北」策定・推進会議】

2 第4期区計画の評価・第5期計画の検討 【予算：550,000円、決算：219,206円】

(1) 第4期港北区地域福祉保健計画評価

- ・前年度実施の地域福祉保健計画に関する区民意識調査の内容を分析しました（7月）。

(2) 第5期港北区地域福祉保健計画策定支援業務委託

- ・データ作成及び調査資料分析を実施しました。
- ・諸団体及び活動者等へのアンケート調査を実施しました（6月～8月）。

(3) 第5期計画策定・推進検討部会の開催

- ・検討部会の委員を選定し、実施しました（10月6日、10月24日、11月25日、12月4日）。

[健康福祉局再配当予算]

- ・地域福祉保健計画推進事業

第5期区地域福祉保健計画策定に係る、地域課題の把握やデータ分析等を実施しました。

3 計画周知・啓発 【予算：550,000円、決算：412,170円】

- ・北綱島小学校で、ひっとプラン港北に関する授業を実施しました（6月25日）。



- ・「ひっとプラン港北」地区計画ニュースを発行しました（2月）。



【地区計画ニュース表面（13地区作成）】 【地区計画ニュース裏面（共通）】

- ・広報よこはま区版（10月号）や区ウェブサイト、SNS等の電子媒体を活用して広報を行いました。

- ・区民フォーラムを防災講演会と合同で実施しました。（再掲）

ひっとプラン港北の啓発を行う区民フォーラムを、幅広い世代で関心のある防災をテーマにした防災講演会と合同開催することで、特に働き世代の方々の地域活動に参加するきっかけとなることを目指し、実施しました（2月8日）。



【令和6年度区民フォーラム 蝶野正洋氏講演会】

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

2-(2) 地域子育てサポート事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(2) 地域子育てサポート事業	9,939,000円	9,186,022円	752,978円
こども家庭支援課	差引理由	保育協力者謝金の実績による減など	

【事業の概要】

全ての妊娠婦とそのパートナー及び子育て中の保護者が、妊娠中から子育てのイメージを持ち、子育ての不安を軽減するために、土曜両親教室や子育てひろば体験券の配布、赤ちゃん会、児童虐待防止対策等に取り組むことで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを充実させました。

【主な内容】

1 「親と子のつどいの広場」妊娠期支援事業 【予算：700,000円、決算：500,000円】

地域の子育て支援施設の利用のきっかけづくり及び仲間づくりのため、妊娠婦とそのパートナーを対象に、親と子のつどいの広場で、マタニティプログラム※を実施しました（各施設年4回以上）。

※マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や育児家庭との交流・沐浴などの子育て体験等

【実施施設数・実施回数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
実施施設数	6施設	6施設	6施設	4施設	5施設
実施回数	59回	84回	81回	66回	60回

《参考》局事業

[こども青少年局事業]

・親と子のつどいの広場事業

主に0～3歳の未就学児とその保護者を対象に、利用者同士の交流やつどいの場の提供、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施しました。

2 土曜両親教室事業 【予算：1,000,000円、決算：999,582円】

妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくり及び仲間づくりのため、第1子を妊娠している妊娠婦とそのパートナーを対象に、パートナーも参加しやすい土曜日に地域子育て支援拠点、地域ケアプラザで両親教室を実施しました。また、平日夜と土曜日にオンライン両親教室も実施しました（年57回。うち土曜両親教室（対面開催）36回、オンライン両親教室21回）。

【実施回数・参加人数】

土曜両親教室（対面開催）

年度	4年度	5年度	6年度
実施回数	36回	36回	36回
延べ人数	980人	1,116人	1,162人

オンライン両親教室

年度	4年度	5年度	6年度
実施回数	24回	23回	21回
延べ人数	384人	259人	220人

※4年度から事業開始

[こども青少年局再配当予算]

- 両親教室 【予算：432,000円、決算：348,000円】

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、区役所で、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を実施しました。

3 みんなの両親教室事業 【予算：102,000円、決算：101,957円】

これまでの両親教室の対象者（第1子を妊娠している妊婦とそのパートナー）だけでなく、より多くの人を対象に、出産・子育てに向けた心構えや準備について学ぶ教室を、地域子育て支援拠点で実施しました。

- これから父親になる方向け：年4回（土曜日）
- 第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け：年5回（平日）

【実施回数・参加人数】

年度		5年度	6年度
これから父親に なる方向け	実施回数	4回	4回
	延べ人数	21人	23人
第2子以降	実施回数	5回	5回
	延べ人数	15人	28人

※5年度から事業開始

4 「にんしん・あんしん・つながり」推進事業 【予算：645,000円、決算：617,229円】

地域の子育て支援施設の周知及び利用のきっかけづくりのために、産後6か月までの妊産婦とそのパートナーを対象に、港北区の妊娠期の取組が網羅されたリーフレットや親と子のつどいの広場等の利用体験券を母子手帳交付時面接や妊娠後期のお便り送付時に配布しました。

【親と子のつどいの広場の利用体験券配布枚数・利用延べ件数】

年度	4年度	5年度	6年度
体験券配布枚数	4,747枚	4,257枚	4,082枚
利用延べ件数	159件	229件	257件

※4年度から利用体験券配布を実施

《参考》局事業

[こども青少年局事業]

- 母子保健コーディネーターによる相談支援

主に妊娠届出時から産後4か月までの不安定な時期を中心に、一人ひとりの状況に応じた産後までのスケジュールの確認や、両親教室等の産前産後に利用できるサービスのご案内や訪問等、継続した支援を実施しました。

5 地域育児教室（赤ちゃん会）【予算：1,928,000円、決算：1,803,814円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館や地域ケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施しました（全24会場 年240回 各会場月1回（8月と1月を除く））。

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
開催回数	140回	226回	229回	240回	240回
実人数	1,762人	2,209人	2,380人	2,313人	2,307人
延べ人数	3,171人	5,579人	6,661人	6,428人	6,373人

6 児童虐待防止対策事業【予算：1,392,000円、決算：1,253,536円】**(1) 区民向けの児童虐待防止啓発**

児童虐待防止について広く区民に啓発するため、啓発グッズの配布やふるさと港北ふれあいまつり（11月）での啓発活動を実施しました。

また、区民向けの児童虐待防止啓発講演会を実施しました（1月24日）。

【啓発グッズ】

- ・缶バッジ（800個）、ボールペン（800本）、シール（800枚）、クリアファイル（2,800枚）

【講演会のテーマ及び参加者数】

年度	テーマ	参加者数
2年度※1	—	—
3年度※2	しつけを通して考える子どもを伸ばす関わり方	24人
4年度	①小学生になったこどもへの声かけ ②思春期に入るお子さんとの関わり方	85人 (①47人) (②38人)
5年度	こどものしつけってどうすればよいの？	63人
6年度	こどもに届くほめ方・しかり方	52人

※1 2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※2 3年度はオンラインでの開催

(2) 保護者向けの児童虐待予防啓発

児童虐待予防のため、乳幼児期からの切れ目のない支援に向けて、学齢期以降の子を持つ保護者を対象に、グループミーティング（月1回）を5年度に引き続き試行実施しました。

また、未就学児の保護者を対象に、体罰によらない子育てについての講座（2回連続講座、10月2日、11月1日）を新たに実施しました。

[こども青少年局再配当予算]

- ・ファミリーサポートクラス（未就学児の子を持つ保護者を対象としたグループミーティング）

支援を必要とする保護者の育児不安の解消を図るため、グループミーティングの手法を活用した支援を実施しました。

【ファミリーサポートクラス参加者数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
回数	10回	12回	12回	12回	12回
実人数	19人	10人	12人	15人	12人
延人数	52人	67人	55人	47人	43人

(3) 港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携

港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携を深めるため、全体会（7月16日）、地区ごとのエリア別連絡会（6エリア各年1回）や、学校等との専門機関別連絡会（年4回）を実施しました。

7 歯つらつ歯みがき教室 【予算：746,000円、決算：736,072円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の講話や歯みがきの実習を実施しました。なお、受入枠を増やすほか、チラシ内容の見直しを行うなど周知の工夫をしました。

年48回 ①歯みがきをこれから開始する子ども向け 年24回

②歯みがきをすでに開始している子ども向け 年24回

(①②それぞれ、午前午後1回ずつ実施 1月当たり1日で計4回実施)

【歯みがき教室参加者数（児・保護者の合計数）】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
実人数	143人	365人	397人	523人	596人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で8月から再開

[こども青少年局再配当予算]

- ・乳幼児歯科相談

乳幼児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や個別歯みがき指導を実施しました。

8 母乳育児相談 【予算：219,000円、決算：211,000円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しました（月2回 全24回）。

【母乳育児相談参加者数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
実人数	102人	80人	100人	111人	102人

《参考》局事業

[こども青少年局事業]

- ・横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしました。

9 「窓口対応満足度」向上事業 【予算：2,837,000円、決算：2,597,572円】

区役所への来庁者を待たせることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口に案内員を配置しました。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、子どもを預かる保育協力者を配置しました。

【窓口案内員配置日数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
案内員配置日数	142日	157日	167日	166日	160日

10 「保育所等による子育て支援」事業 【予算：370,000円、決算：365,260円】

(1) にこにこ広場

子育て家庭への支援のために、親子が一緒に参加して楽しめる、公私立保育所合同の育児講座（食育コーナー、区内保育所紹介パネル、育児講座等）を実施しました。

【6年度実施日程】

日吉本町地域ケアプラザ	令和6年7月9日	(86人)
菊名コミュニティハウス	令和6年7月12日	(40人)
グローバルキッズ菊名園	令和6年10月16日	(37人)
樽町ケアプラザ	令和6年10月23日	(57人)
大豆戸地域ケアプラザ	令和6年10月30日	(25人)
日吉宮前公会堂	令和6年11月6日	(92人)

【にこにこ広場参加者数】

年度	2年度※	3年度	4年度	5年度	6年度
実人数	中止	259人	321人	347人	337人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で中止

(2) ベビーステーション

乳幼児とその保護者を対象に、外出しやすい環境を整えるため、オムツの交換や授乳用の場所として保育所や公共施設等を開放する取組を実施しました。

【ベビーステーション協力施設数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
協力施設数	94施設	94施設	95施設	95施設	95施設

2-(3) 保育所支援・情報提供事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(3) 保育所支援・情報提供事業	2,570,000円	2,143,145円	426,855円
こども家庭支援課	差引理由	印刷費用の残など	

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育の質の確保・向上につながる取組を実施しました。また、保育所等を掲載した区独自の利用案内を作成・活用し、保育所利用に関する制度について情報を発信しました。

【主な内容】

1 民間園向け研修事業 【予算：135,000円、決算：36,000円】

保育の質の確保や保育の充実を目的とした研修を、保育・教育施設長会の開催にあわせて、外部講師を招き実施しました。

開催日	内容	参加園数
6月28日	改めて考えよう！こどもの人権	91園
9月9日	こども虐待を考える、支援者・保育士としてできること	90園
2月4日	発達に支援が必要な子どもとその保護者の支援	98園

2 保育の質確保・向上事業 【予算：1,200,000円、決算：1,144,000円】

配慮の必要な子どもとの関わりや、保護者との関わり、職場状況等の課題を解決する一助として、民間の保育所等を対象に臨床心理士等を派遣し、保育士のメンタルヘルスケアや職場環境などについて助言を行いました。

- ・実施期間：7月～3月
- ・対応方法：訪問、オンライン・電話による対応
- ・相談体制：臨床心理士、子どもの発達支援の業務経験者、保育施設の施設長経験者、保育士の職場環境改善の相談対応経験者など
- ・実施状況：訪問10回、オンライン・電話6回

3 保育所等情報提供事業 【予算：1,235,000円、決算：963,145円】

区内の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービスなどについてわかりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作成・配付しました。

- ・配布場所：区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、
港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ」・「どろっぷサテライト」
- ・発行部数：10,000部
- ・発行：10月

2-(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370,000円	296,850円	73,150円
こども家庭支援課	差引理由		

【事業の概要】

放課後児童健全育成事業所の運営体制の強化等を図るために、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ（以下「クラブ」という。）の職員を対象に研修を実施し、職員の能力向上に繋げました。研修では、講義やグループワーク等を通じて、日ごろ顔をあわせる機会の少ない各クラブ職員に交流・情報交換の場を提供することで、クラブ間の連携強化も促進しました。

また、クラブの利用を検討している児童と保護者の皆様のクラブ選びを支援するため、クラブの写真や特色等の情報を集約した紹介冊子（電子媒体）を通じて、クラブ情報の周知を図りました。

【主な内容】

1 クラブ職員研修事業 【予算：245,000円、決算：146,000円】

クラブ職員に対して、様々なテーマで研修を実施しました。

【研修への参加人数】

研修テーマ	内 容	実人数	実施日
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	34人	6月12日
表現活動	工作・絵描き等を通じた表現活動の工夫	22人	7月17日
障害児対応	障害のある児童、配慮を要する児童等への対応	41人	9月13日
保護者との信頼関係の構築	保護者との連携・信頼協力関係の構築	24人	10月11日
発達理解	児童の発達段階、年齢に応じた関わり方	24人	11月8日
事故・ケガ予防応急処置	小学生のケガの傾向と予防・応急処置	15人	12月20日



【研修会の様子（左：防災、中央：表現活動、右：障害児対応）】

2 クラブ情報提供事業 【予算：125,000円、決算：150,850円】

区ウェブサイトで公開しているクラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」（電子媒体）を更新（9月）するとともに、当該冊子の案内やQRコード等を掲載したちらしを作成し、就学時健診等の際に配布（10月）しました。

- ・対象経費：チラシ印刷及び配達
- ・配 布 数：チラシ5,000枚

2-(5) 食育推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(5) 食育推進事業	1,896,000円	1,837,028円	58,972円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

子どもの成長段階に応じて、離乳食手帳等の配付や離乳食教室等を実施するとともに、個別相談で一人ひとりの状況に応じた支援を行い、親子のより良い成長につながるよう食育を推進しました。

また、食に関する疑問や不安を抱える保護者を地域の身近な場でも支援できるよう、地域の支援者の人材育成を行いました。

【主な内容】

1 離乳食手帳及びチラシの配付（離乳初期） 【予算：270,000円、決算：286,710円】

離乳食の基礎知識を保護者が学べるよう、離乳食手帳を作成し、4か月児健診の際に離乳食教室の案内チラシと合わせて配付しました。離乳食教室の案内チラシには、保護者に向けてバランスの良い食事についても掲載し、家族で良い生活習慣を身につけるきっかけ作りをしました。

- 作成部数：離乳食手帳 3,500部、離乳食教室案内チラシ 3,500部



【離乳食手帳】



【離乳食教室案内チラシ】



2 離乳食教室 【予算：931,000円、決算：891,118円】

7～8か月児とその保護者を対象に、安心して離乳を進めていくため、離乳食教室を実施しました。教室では、保護者自身が自宅で再現しやすいように、離乳食の一口量や固さ体験を実施しました。

- 回数：月2回、年間24回
 - 参加予定者数：1回あたり24人、年間576人
 - 会場：区役所
 - 内容：講話、調理実演、一口量や固さ体験、個別相談
- ※予約制で実施しました。

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	2年度 ^{※1}	3年度	4年度	5年度 ^{※2}	6年度
実施回数	18回	36回	36回	48回	24回
参加者数 (実人数)	119人	379人	394人	419人	401人
一回あたりの 平均参加者数	6.6人	10.5人	10.9人	8.7人	16.7人

※1 新型コロナウイルスの影響で実施回数減（18回）及び参加者数減

※2 令和5年度から予約制を開始

3 乳幼児期の食育事業（離乳後期以降）【予算：374,000円、決算：374,000円】

離乳食から幼児食への移行期である1歳から1歳6か月頃の子どもの保護者の食事に関する疑問や不安を解消するため、1歳前後の子どもとその保護者を対象とした「歯つらつ歯みがき教室」において、子どものむし歯予防や歯みがき実習とともに、食育に関するミニ講座及び希望者への個別相談を実施しました。また、子どもの食事に関する困りごとや悩みの解消がされるよう、1歳6か月児健診受診時に幼児食のフードモデルの展示及び健診待ち時間や受診後に立ち寄れる栄養相談ブースを設けました。

【歯つらつ歯みがき教室内での食育】

- ・回数：月1回、年間12回
- ・会場：区役所
- ・内容：1歳前後の食事ミニ講座及び簡易相談

【1歳6か月児健診内での食育】

- ・回数：月3回、年間36回
- ・会場：区役所
- ・内容：フードモデルの展示及び立ち寄り相談

【乳幼児期の食育相談（離乳後期以降）の実施回数及び相談実施人数】

年度	6年度	
	歯つらつ歯みがき教室	1歳6か月児健診
実施回数	12回	36回
実施人数	226人	941人

4 子どもの個別栄養相談【予算：156,000円、決算：156,000円】

生後5か月以降の子どもとその保護者を対象に、個々の食事に関する不安や負担感の軽減を図るため、子どもの個別栄養相談を実施しました。個別相談の需要が高まっていることから、相談者数を拡大し、予約制で実施しました。

- ・回数：月4回（うち2回は同日開催）、48回
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談

※予約制で実施しました。

【子どもの個別栄養相談の相談者数】(健康福祉局再配当と合算)

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
相談者数 (実人数)	101人	103人	108人	106人	110人

[健康福祉局再配当予算]

- ・乳幼児食生活健康相談
0～18歳の子どものその養育者に対して食生活健康相談を実施

5 地域の食育センター育成事業 【予算：165,000円、決算：129,200円】

地域の身近な場で、保護者が抱えている食事に対する小さな疑問や悩みを解決できるよう、乳幼児期の親子が集まる広場において、個別相談を実施するとともに、子育て支援従事者に対し、食に関する知識の啓発を行いました。子育てサロン向けに募集をし、4か所の子育てサロンで実施しました。

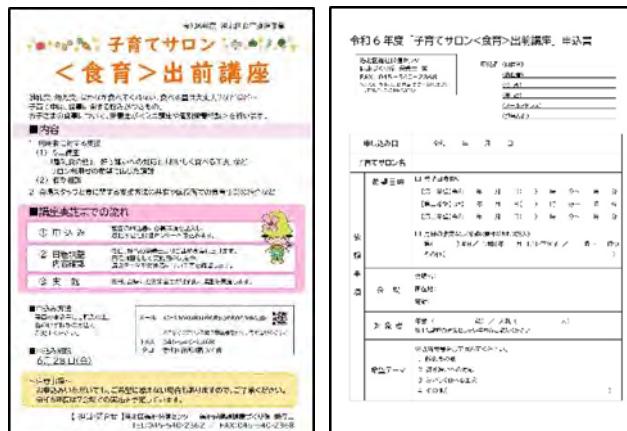
- ・回数：年間4回
 - ・会場：実施希望のある子育てサロン
 - ・内容：個別相談、子育て支援従事者へのよくある相談内容や対応方法に関する情報共有

【地域の食育サポーター育成事業の実施回数及び参加者数】

年度	6年度
実施回数	4回
実施人数	122人



【子育てサロンでの講話の様子】



【案内ちらし】

2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(6) 高齢者・障害者支え合い 推進事業	3,525,000円	3,299,822円	225,178円
高齢・障害支援課	差引理由	精神障害者等生活体験事業委託料の減	

【事業の概要】

誰もが安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者等への理解を深める啓発や関係者への支援を行いました。また、区役所窓口での来庁者へのサポートを実施しました。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【予算：1,161,000円、決算：1,224,624円】

(1) 高齢者の社会参加の促進

- ア 高齢者が身近な場所でやりがいや生きがいを感じられる地域活動への参加を促進するため、港北区の地域活動情報の冊子「きょういく・きょうようガイド」のカラー1頁にフレイル予防の必要性や社会参加の大切さ、既存の活動や元気な時からの切れ目ない支援を知る視点を加えて更新、配布しました。
- イ 高齢者の社会参加促進を目的として、高齢者向け地域活動情報（サロン、趣味活動の場、生活支援等）をデータベース化したウェブサイト「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」の周知チラシを更新・配布しました。
- ウ 高齢者のフレイル予防の取組の啓発のため、「港北MMダンス（港北区オリジナルフレイル予防体操）立位編」のリーフレットを作成しました（3月、1000部）。



【地域活動情報リーフレット】

「きょういく・きょうようガイド」1300部

【ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ 港北区周知用】



【ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ】

(2) 人材育成とネットワークの構築

- ・地域包括ケアシステムの構築に有効な手法である地域ケア会議^{※1}を効果的に開催できるよう、地域ケアプラザに対し「支援者向け研修^{※2}」等を実施しました（6月21日20名）。また、医療・介護・地域組織等の代表者を構成員とする「区レベル地域ケア会議」を開催し、区域で共通する課題に対する必要な取組や支援ネットワークを検討しました（12月25日「おひとり様の老後に備えた支援について～本人・地域・支援者の立場で出来ること～」30名）。

※1 地域ケア会議：多職種協働による個別事例の検討等を通じて、個別課題の解決、支援ネットワークの構築、地域課題の共有、地域のネットワーク構築・しくみづくりを図る会議。

※2 支援者向け研修：個別事例の積み重ねから、包括レベル、区レベルと課題を抽出・共有し、好事例をもとに具体的な取組手法について学ぶ研修。

- ・認知症キャラバン・メイト（認知症の人やその家族を支援する認知症サポート養成講座の講師）の情報共有等のために、つどいの場を開催しました。

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業

- 認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になってしまっても、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」を運用します。区のウェブサイトの他、パンフレットを配布し、普及啓発を進めました。
- 虐待防止ハンドブックを一部修正して増刷し、支援者研修等にて配布しました。



【区レベル地域ケア会議】

テーマ：「おひとり様の老後に備えた支援について
～本人・地域・支援者の立場で出来ること～」

《参考》港北区における高齢者の状況

年度(3月末)	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
65歳以上人口	69,880人	70,289人	70,730人	71,222人 (市内4位)	71,903人 (市内3位)
高齢化率	19.9%	20.0%	19.9%	20.0%	20.0%
認知症高齢者数*	6,764人	6,263人	6,696人	7,725人	7,902人
要介護認定者数(1号)	12,840人	13,189人	13,297人	13,778人	14,172人

*要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数



【かえるネットパンフレット】

令和6年度はマニュアルを改訂

[健康福祉局再配当予算]

- 介護予防関連事業
 - フレイル予防講演会等での普及啓発
 - グループ交流会、人材育成研修等の実施
 - 地域の活動への専門職の派遣、元気づくりステーションの活動・立ち上げ支援
- ケアマネジメント推進事業
 - 人材育成研修等の実施
- 認知症関連事業
 - 認知症家族のための介護者セミナー、区民向けの認知症講演会等の実施
- 虐待予防関連事業
 - 介護サービス従事者等向け虐待防止に関する研修会、虐待防止のためのネットワークミーティングの開催等

[医療局再配当予算]

- 医療介護関連事業
 - 在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修の実施

港北区地域包括ケアシステムのめざす姿

- は はなれて暮らす家族も安心
- な なかよく、人とのつながりを大事にしよう
- み みんなが自分事のように考えて輝こう
- す 好きな家で、できる限り過ごせる
- き 気遣い・支え合いのあるまち 港北

はなみすきは、港北区の「木」です。平成3年に区民の一般公募で決定しました。若々しくモダンな印象が好まれました。



2 障害者支援事業 【予算：807,000円、決算：616,615円】

(1) 支援者向け研修

港北区地域自立支援協議会※において、障害者虐待防止、支援機関の連携強化及び支援技術向上のための研修会等を企画・開催しました。

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行いました（障害者総合支援法89条の3）。

【研修内容】

時期	実施テーマ	部会
9月	施設従事者等による虐待防止（研修）	全体会議
11月	被災したらどうする？何ができるか考えよう（研修）	地域で暮らす部会
年6回	グループスーパーバイジョンについて（講義、グループワーク）	相談支援部会

(2) 講演会・啓発イベントの実施

ア 障害理解の啓発イベント

港北区地域自立支援協議会、港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会との連携により、障害理解の啓発イベントを区民向けに実施しました。

【実績】

年度	内容	参加者数
4年度	映画「だってしょうがないじゃない」上映会	111人
5年度	映画「星に語りて」上映会	128人
6年度	映画「梅切らぬバカ」上映会	222人

※4年度から実施

イ 障害理解に関する講演会

メンタルヘルス（心の健康）の大切さや障害の理解を目的として、区民向けに講演会等を実施しました。

【講演会テーマ】

年度	テーマ	参加者数
2年度	（新型コロナウイルスの影響により中止）	—
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	メンタルヘルスの回復とは ～ピアサポートとリカバリーについて考える～	54人
5年度	生きづらさを抱える本人と家族の体験談 ～まもろうよこころ私たちが気づいて、できることって何だろう～	39人
6年度	親亡きあとも安心して精神障害者が地域で暮らすため の社会資源～医療×保健×福祉～（局予算で実施）	40人

(3) 健康講座等の開催

自身の健康についての理解を促進するため、作業所の利用者等に向けて健康講座等を開催しました。

【健康講座実績】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
実施回数	1回	1回	1回	4回	4回
参加者数	13人	11人	14人	74人	45人

(4) 港北区精神障害者等生活体験事業

一人暮らし経験のない障害者が、実際の一人暮らしと同じ環境での生活体験を通して地域生活の具体的なイメージを持つための支援を、港北区生活支援センター及び港北区基幹相談支援センターと連携・調整を図り、実施しました。

【事業実施内容】

内 容：一人暮らし用の民間賃貸物件にて、見学や家事等の一時体験

対象者：港北区在住の18歳以上の精神障害者等

(6年度実績：見学3人、日中体験1人、宿泊3人)

(5年度実績：見学3人、日中体験2人、宿泊0人) ※5年度に事業開始

[健康福祉局再配当予算]

・精神障害者の生活教室事業

精神障害者の対人関係の改善や社会生活への適応促進等を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施します。

・難病相談事業

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送ることができるよう、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施します。

《参考》【港北区における障害者の状況】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
身体障害者 手帳所持者数	7,391人	7,379人	7,294人	7,231人	7,221人
精神保健福祉 手帳所持者数	2,909人	3,151人	3,413人	3,657人	3,952人
「愛の手帳」 所持者数	2,400人	2,494人	2,603人	2,713人	2,832人
合計	12,700人	13,024人	13,310人	13,601人	14,005人

※手帳所持者数の統計情報は、年度末時点のみ

3 窓口サポート事業 【予算：1,557,000円、決算：1,458,583円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続き支援や案内を行いました。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件数	1,621 件	1,413 件	1,738 件	3,393 件	2,281 件

《参考》

【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数の状況】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件数	14,925件	16,897件	17,717件	17,899件	18,300件

2-(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	1,800,000円	1,615,911円	184,089円
こども家庭支援課	差引理由	委託費の不用が生じたため	

【事業の概要】

養育環境に課題があるなど、様々な事情から支援を必要とする家庭に育つ学齢期の子どもたちが健やかに生活する力を身につけられるよう、生活支援専門員が個別訪問し、登校支援や自宅での生活支援等の取組を実施しました。

【主な内容】

1 港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業 【予算：1,800,000円、決算：1,615,911円】

養育支援を要する学齢期の児童を対象に、生活支援専門員の個別訪問による登校支援及び生活支援を実施し、目標達成状況を踏まえて、様々な支援等に繋げました。

【港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業利用者数】

年度	4年度	5年度	6年度
実人件数	3人	4人	9人
回数	29回	44回	87回

※4年度から事業開始

(1) 登校支援

不登校となっている児童に対し個別に自宅を訪問し、学校への同行など登校支援を行いました。

(2) 生活支援

生活支援専門員が自宅を訪問し、児童に様々な体験の機会を提供することで、生活能力の獲得に向けた実践的な支援を行いました。

(3) 児童が安心して過ごせる居場所利用等に繋げる支援

支援への心理的ハードルが高い保護者・児童に対し、生活支援専門員が訪問し相談等にのることで、ニーズに合った支援に繋げます。また、寄り添い型生活支援事業や寄り添い型学習支援事業等、集団参加の場や、さまざまな学習体験の場を利用できるよう支援を進めました。

[こども青少年局再配当予算]

・寄り添い型生活支援事業

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身につけ、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しました。

2-(8) 健康こうほく21事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(8) 健康こうほく21事業	2,470,000円	2,265,668円	204,332円
福祉保健課	差引理由	啓発機材等が想定より安価となつたため	

【事業の概要】

区民がいくつになっても健康で自立した生活を送ることができるよう、職場での健康増進を後押しする「健康経営」の取組の推進や、民間企業と連携した健康啓発イベントの開催、糖尿病等の生活習慣病のハイリスク者に対する個別相談を通じて、働き・子育て世代に対して「生活習慣の改善」や「生活習慣病の重症化予防」を促しました。また、日常の中に取り入れやすい運動であるウォーキングをきっかけに、継続した健康づくりを推進しました。

【主な内容】

1 働き・子育て世代の健康づくり事業 【予算：1,817,000円、決算：1,877,618円】

(1) 区内小規模事業所を対象とした健康経営の支援

20~50代の区民の健康増進を図るため、健康経営に取り組んでいない区内事業所に対し、健康経営の取組へつなげるための動機付けやきっかけづくりを図りました。

従業員数50人未満の小規模事業所は、衛生管理者の選任が義務付けられていないなど、事業所単独で健康経営に取り組むことは難しい面があつたため、小規模事業所を主な対象として、アドバイザー派遣により対象事業所の課題整理や取組内容の提案等の支援を行いました。

また、産業保健総合支援センターをはじめとする従業員の健康づくりに活用できる専門機関の情報を集約した事業所向け健康経営リーフレットを新たに作成し、高齢者施設や保育園の連絡会議を通じて配布、説明し、小規模事業所による健康経営の取組促進を図りました。

【実施内容】

- ・アドバイザー派遣 6月～12月（2事業所に支援を実施）
- ・リーフレット作成 8月発行（2,000部）
- ・リーフレット配布 8月以降中小企業や福祉施設等へ配布



《参考》

【健康経営とは】

- ・従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考え方のもと、健康増進を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。
- ・企業が従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力、生産性の向上などの効果をもたらし、業績向上や組織の経営力の向上につながることが期待されます。

【健康経営リーフレット】

(2) 商業施設イベント

働き・子育て世代は日々の生活で忙しく、自分の健康を後回しにしがちなため、対象区民が多く利用する区内商業施設で啓発イベントを実施しました。健康に関する意識・知識を行動に繋げるために、体験型ブースやパネル展示等で生活習慣の改善や検診の受診を促しました。

時期	テーマ	場所	延べ参加者数 (アンケート回答者数)
6月2日（日）	歯科口腔・食育	トレッサ横浜	276人
9月8日（日）	女性のがん早期発見	アピタテラス横浜綱島	100人



【歯科口腔・食育イベント】



【がん啓発イベント】

(3) 生活習慣改善相談

健診結果の見方を知りたい人や高血糖等の生活習慣病ハイリスクの人を対象に、保健師や栄養士が運動、食事等の生活習慣について個別相談を実施しました。実施について医師会に情報提供し、区内医療機関から相談者の紹介を受けています。

- ・回数：月2回、年間24回
- ・会場：区役所
- ・内容：生活習慣病の個別相談

※予約制

【相談件数】

年度	4年度	5年度	6年度
相談件数	38件	32件	43件

※5年度までは再配当予算のみで実施

[健康福祉局再配当予算] (404,000円)

- ・糖尿病等の重症化予防事業
- 糖尿病・糖尿病性腎症の重症化を予防するための、個別相談を実施。

2 ウォーキング普及啓発支援事業 【予算：653,000円、決算：388,050円】

(1) よこはまウォーキングポイント（YWP）とコラボしたイベントの実施

楽しみながら継続して健康づくりに取り組むことができるよう、トレッサ横浜と連携してスポーツの日にあわせたウォーキングイベントを実施し、よこはまウォーキングポイントアプリの導入を推進しました（10月）。

また、GREEN×EXPO 2027の開催に向けた取組として、900日前の9月30日（月）から期間内（9週間）に既定の歩数をクリアするミッションイベントを開催し、EXPOの機運醸成とアプリの継続利用を促進しました。



【トレッサ健康ウォーキング】

※港北区とトレッサ横浜は、健康増進啓発事業に関する幅広い取組の推進を目的として「港北区とトレッサ横浜との健康増進の取組に関する協定書」を締結しています。

《参考》【YWPイベント参加人数】

年度	イベント名	イベント種類	参加者数
3年度	コロナ禍の健康づくり応援フェア	ミッション	3,375人
4年度	港北ウォーキング2022	ミッション	2,358人
	ウォーキングを始めよう！ 港北区スポット巡り	スタンプラリー	361人
	トレッサ健康ウォーキング	スタンプラリー	359人
5年度	トレッサ健康ウォーキング	スタンプラリー	259人
	ウォーキングを始めよう！ 相鉄・東急新横浜線で行くGREEN×EXPO 2027	スタンプラリー	291人
6年度	港北ウォーキング2023冬	ミッション	2,334人
	港北ウォーキング2024秋	ミッション	3,008人
	トレッサ健康ウォーキング	スタンplaリー	213人

※元年度から事業開始

※ミッション…期間中に設定された歩数の達成を目指すイベント

※スタンプラリー…GPS等を利用して対象スポットを巡るイベント

《参考》

局事業【健康福祉局事業】

- ・よこはまウォーキングポイント事業
スマートフォン専用の歩数計アプリを30年度から開始
従来からの歩数計のみで参加継続することも、歩数計アプリとの併用も可能

《参考》【よこはまウォーキングポイントアプリ登録者数】(7年6月末現在)

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
横浜市	66,246人	83,289人	94,156人	109,453人	124,697人
港北区	6,437人	7,933人	8,934人	10,282人	11,670人

(2) ウォーキングの継続を推進する啓発媒体の作成

運動習慣の意識付けをするため、通勤や買い物などの日常生活の中でウォーキングを取り入れられるような媒体（ポスター）を作成し、啓発しました。

- ・内容：通勤などで利用する路線バスを普段より一つ手前の停留所で降りて歩くことを意識付けるマップ
- ・方法：公共交通機関内広告に掲示
- ・場所：横浜市営地下鉄新横浜駅スクエアボード（9月30日～10月20日）
横浜市営バス港北営業所管内窓上ポスター（10月1日～10月31日）



【啓発ポスター及びマップ】

3-(1) 地域スポーツ推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(1) 地域スポーツ推進事業	2,550,000円	2,486,503円	63,497円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

スポーツ活動を行う団体が実施する、広く区民を対象とした取組を支援することで、地域スポーツの活性化を図りました。

また、区内大学と連携し、港北区にゆかりのあるラグビー競技※に親しむ機会を小学生へ提供することで、地域スポーツ活動の推進が図りました。

※日産スタジアム（ラグビーワールドカップ2019™決勝会場、横浜キヤノンイーグルスホームスタジアム）、慶應義塾大学（日本の大学ラグビーのルーツ校）

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【予算：450,000円、決算：315,000円】

＜港北区スポーツ振興事業補助金の概要＞

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することにより、区内のスポーツの振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体等が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
交付団体	14団体

2 港北駅伝大会 【予算：1,600,000円、決算：1,600,000円】

第40回という節目にあたる港北駅伝大会の開催を支援することで、地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図りました（1月19日）。

【駅伝大会の様子】



3 活気にあふれるまちづくり

【参加チーム数】

年度	2年度※1	3年度※1	4年度	5年度※2	6年度
チーム数 (参加者数)	中止	中止	154 (913人)	141 (874人)	193 (1,143人)

※1 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止。

※2 5年度は当日の降雨を受けた参加人数。(参考) 申込192チーム《1,167人》

3 大学とのスポーツ連携事業 【予算：500,000円、決算：571,503円】

慶應義塾大学等と連携して、小学校タグラグビー授業へのサポート講師(学生)派遣や、ラグビー・スポーツ体験会を実施することで、区内のスポーツ活動の推進を図りました。

(1) 小学校タグラグビー授業サポート派遣

たいいいくかいしうきゅうぶ

区内の小学校(全26校)に希望を募り、慶應義塾體育會蹴球部(ラグビーパー)の学生を講師として派遣し、タグラグビー授業を実施しました(5月～翌2月)。

【実施実績】

年度	2年度*	3年度	4年度	5年度	6年度
実施校数	中止	7校	7校	12校	12校

※2年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

対象：小学生

会場：慶應義塾大学日吉ラグビーグラウンド(6月1日)

【実施実績】

年度	2年度※1	3年度※1	4年度	5年度※2	6年度
参加人数	中止	中止	52人	69人	65人

※1 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※2 5年度は7月降雨による参加者減を受け、10月に追加実施した2回の延べ人数



【小学校タグラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

《参考》

統合事業費

スポーツ推進委員支援事業 【予算：2,093,000円 決算：2,093,000円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金

3-(2) 港北区商店街活性化事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(2) 港北区商店街活性化事業	1,500,000円	1,472,354円	27,646円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区内商店街及び商店街店舗の話題提供につながるイベント等の開催を通して、消費者の関心・認知度の向上を図るとともに、商店街の活性化を支援しました。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【予算：1,000,000円 決算：922,634円】

商店街を利用するきっかけにつながるようなスタンプラリーイベントとして、「こうほくの商店街 ちょいより散歩」を実施しました。

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」実施概要】

年度	開催期間	参加 商店街数	参加店舗数	応募者数	参加費
2	11月21日（土）～12月6日（日）	13	1,000 ※1	559人※3	無料
3	12月1日（水）～12月26日（日）	13	92 ※2	552人※3	無料
4	11月11日（金）～12月4日（日）	13	82	リーフレット5,500部配布 うち抽選応募件数179件	無料
5	10月18日（水）～12月17日（日）	12	110	リーフレット8,100部配布 うち抽選応募件数381件	無料
6	10月16日（水）～12月15日（日）	10	107	リーフレット7,000部配布 うち抽選応募件数607件	無料

※1：2年度は原則商店会に加盟している全店舗に参加を依頼。

※2：3年度以降、参加店舗募集を実施。 ※3：1つ以上のスタンプを集めた人数。



【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」リーフレット】

2 商店街魅力発信事業 【予算：500,000円 決算：549,720円】

商店街の魅力発信を目的に、港北区商店街連合会と連携を図りながら、商店街 P R 動画（3本）を作成し、「市YOUTUBEチャンネル」や「港北映像ライブラリ」で視聴いただけるようにしました。

[経済局再配当予算] 【予算：2,657,000円 決算：2,462,000円】

・**港北区商店街活性化イベント事業補助金**

商店街が主催して行うイベント開催経費に対する補助

(6年度申請団体)

- ・菊名東口商栄会「毘沙門天祭りチャリティー縁日」
- ・つなしまオータムフェスティバル実行委員会「つなしまオータムフェスティバル」
- ・日吉アートコンテスト実行委員会「日吉アートコンテスト」
- ・大倉山商店街振興組合「大倉山クリスマスイベント」
- ・小机商店街協同組合「夏の大売り出し&盆踊り」
- ・妙蓮寺ニコニコ会「ジャズコンサートin妙蓮寺」
- ・綱島モール商店会「綱島モール商店街フリーマーケット2024」
- ・メイルロード商店会「メイルロード商店会七夕まつり」
- ・箕輪町商工会「箕輪商工フェア」

3-(3) 育もう「ふるさと港北」事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(3) 育もう「ふるさと港北」事業	9,625,000円	8,873,703円	751,297円
地域振興課	差引理由	ふるさと港北ふれあいまつり補助金の実績による減	

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供しました。

また、地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールしました。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【予算：5,560,000円、決算：4,861,111円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、横浜アリーナで行う、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が参加できる「ふるさと港北ふれあいまつり」の開催を支援しました。

日 時：令和6年11月30日（土）10時～15時

場 所：横浜アリーナ

内 容：ブース出店（活動紹介、飲食、体験、販売等）、抽選会

ステージ発表（ダンス、合唱、楽器演奏等）

参加団体：ブース出店 91 団体（自治会町内会、商店街、地域活動団体、横浜F・マリノス等）、

ステージ・ロビー発表 14 団体（区内小中学校、地域活動団体等）

来場者数：延べ約28,000人（合同開催の「秋のヨコアリくんまつり」と合わせた延べ数）

（分会場行事）地区連合町内会が開催する盆踊り大会、健民祭等の開催（9団体）



【2024ふるさと港北ふれあいまつり】

2 大倉山観梅会事業 【予算：1,150,000円 決算：1,150,000円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に補助金を交付し、「大倉山観梅会」の開催を支援しました。

・実施時期 7年2月22日、23日

・実施内容 舞踊・三曲演奏・地元団体のステージ・野点・梅酒の販売



【当日の様子】

[みどり環境局再配当]

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業
観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業 【予算；1,450,000円、決算：1,627,060円】

小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっていることを契機に、小机城址の魅力プロモーションに取り組むことで「ふるさと港北」の意識を育みました。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光及び商店街振興を図るために、小机城址まつり実行委員会に補助金を交付し、開催を支援しました。

<小机城址まつり概要>

- ・日程 4月14日（日）
- ・内容 武者行列、小机城址太鼓・お囃子等のパフォーマンス、各自治会町内会模擬店



【6年度 第29回小机城址まつり】

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

小机城址を紹介する案内冊子を作成・配布し、港北区の魅力を発信します。また、区内小・中学校等での啓発を行い、地元港北への愛着を深めました。

さらに、12月にパシフィコ横浜ノースで開催されたお城EXPOに出展し、案内冊子の配布と着ぐるみを使ったPRを通して、小机城址の魅力を発信しました。



【城郷小学校3年生 授業の様子】



【お城 EXPO2024 の様子】

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、小田原市が中心となり北條氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、北條氏を切り口に共同でPRを実施している「北条五代観光推進協議会」や「小田原北條五代まつり」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力をPRしました。



【小田原北條五代まつり】

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【予算：595,000円、決算：644,160円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、それらの映像などをウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信することで、地域への愛着とふるさと意識を醸成しました。

また、映像放映用のモニター機材を港北図書館に設置し、来館者に対して、時季のイベント等に沿った「港北映像ライブラリ」の動画を放映することで、より多くの区民が視聴する機会を創出し、認知度を高めました。

- ・配信用映像作品の制作、映像作品の活用（通年）
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）

5 まちの魅力動画コンテスト 【予算：600,000円、決算：310,872円】

区の魅力を撮影した動画コンテストを開催し、区の更なる魅力創出を行いました。入賞作品は、区ウェブサイト他、様々な媒体を活用し配信を行いました。

応募期間：7月1日から10月18日

応募数：小中学生部門…38点（小学生36点、中学生2点）、一般部門…15点

入賞数：小中学生部門…最優秀賞1点、小学生部門賞1点、中学生部門賞1点

一般部門…最優秀賞1点、優秀賞1点



【最優秀賞作品サムネイル】



【受賞式（太尾小学校）】

6 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【予算：270,000円、（5）280,500円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及び2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」と連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボルとして港北区のプロモーションに取り組みました。

- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSとのタイアップ物品の配布（通年）
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報を発信しました（6月、10月、2月）。
- ・横浜GRITSによる開幕節への区内小中学生招待（9月7日、8日）
- ・横浜F・マリノスの選手による「一日区長」イベントなどの開催



【一日区長】



【横浜 GRITS による区内小中学生招待】

3-(4) 地域のチカラ応援事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(4) 地域のチカラ応援事業	2,511,000円	2,353,706円	157,294円
地域振興課	差引理由	令和6年度分の新規募集停止による減	

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決や魅力づくりに向けた主体的な取組を支援するため、市民公益活動を行う団体に対して、補助金交付や広報支援、有識者から活動に対する助言を行いました。

また、交流の場の提供など団体間の連携促進の取組を行いました。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業補助金の交付等 【予算：2,217,000円、決算：2,123,496円】

(1) チャレンジコース

区内で一定の活動実績がある団体の更なる公益的事業を対象に、1団体最長5年間で年度あたり上限30万円の補助金を交付しました。(令和7年度から自治会・町内会と活動団体の連携事業に対する新たな補助金交付事業を開始する予定のため、令和6年度分の新規申請の募集を停止しています。)

【交付団体数・交付金額】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
団体数	6団体	7団体	15団体	17団体	11団体
金額	1,095千円	1,517千円	2,737千円	2,489千円	2,123千円

(2) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行いました。

【承諾団体数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
団体数	3団体	8団体	3団体	5団体	6団体

【市民局再配当予算】 【予算：500,000円、決算：250,000円】

- ・元気な地域づくり推進事業（新規申請募集停止）

地域元気づくりコース：継続1事業

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業

1団体最長5年間上限25万円

【交付団体数・交付金額】

地域元気 づくり コース	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	団体数	5団体	3団体	2団体	1団体	1団体
	金額	854千円	643千円	430千円	250千円	250千円

2 団体間の連携促進の取組 【予算：294,000円、決算：230,210円】

地域のチカラ応援事業活動補助金申請団体による報告会・市民活動交流会を開催し、有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会※委員）からの助言により団体間の連携を促進しました。

また、補助金交付団体以外の活動団体の交流・情報交換も促進しました。

- ・市民活動交流会（8月28日）
- ・報告会・市民活動交流会（3月8日）
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成されています。（5人）

補助金申請団体の活動に関して助言を行います。



【交流会（6年度）】

【市民局再配当予算】【予算：413,000円、決算：398,700円】

・地域の担い手応援事業

港北つなぎ塾（地域づくり大学校）（10月16日）（11月13日）

地域支援の喫緊の課題である「担い手の高齢化」や「担い手不足」に対応するため地域活動団体等を自治会町内会等の担い手につなげる講座です。

※地域活動団体と自治会・町内会の交流を進めます。

3-(5) 港北オープンガーデン事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(5) 港北オープンガーデン事業	2,160,000円	1,912,393円	247,607円
区政推進課	差引理由	実施方法の見直し等による残	

【事業の概要】

区民が個人の庭やグループで育てている花壇等を公開し、互いに見学することで港北区の魅力を再発見し、花や緑を通じた区民の交流を促進します。あわせて、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて身近な自然に親しむ機運を高めました。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン事業 【予算：2,160,000円、決算：1,912,393円】

(1) 第12回港北オープンガーデンの実施（4月・5月計6日間）

- ・特設案内所や対象となる会場でスタンプマークを集めると、個数により景品がもらえるスタンプラリーを実施しました。
- ・地域ボランティアが参加会場を案内する「ルート案内ツアー」を、日吉、綱島、菊名の3つのエリアで実施しました。
- ・幅広い年齢層の参加を促すため、区内3か所で行うミズキーグリーティングやLINE公式アカウントを活用したイベントの周知を行うとともに、小学生向けにチラシを作成し配布しました。
- ・特設案内所で「GREEN×EXPO 2027」を見据えたPRを行いました。

(2) 第13回港北オープンガーデンの企画

- ・スタンプラリー企画の実施に向けた景品や参加会場へのお礼品、イベント実施に必要な消耗品等を購入しました。
- ・小学生向けのチラシの版下を作成しました。
- ・「GREEN×EXPO 2027」と連携した参加会場向けのぼり旗を作成し、機運醸成に繋げました。

【港北オープンガーデンへの参加状況】

年度(回数)	開催日数	公開箇所	延べ来場者数※1
2年度(第8回)※2	中止	107※3	—
3年度(第9回)	42日	114※4	※5
4年度(第10回)	6日	122	約29,646人
5年度(第11回)	6日	126	約35,757人
6年度(第12回)	6日	138	約42,973人



【「GREEN × EXPO 2027」連携のぼり旗】

※1 標本抽出方法で計算（カウント可能な会場を基に推計）

※2 新型コロナウィルスの影響で中止 ※3 参加予定数

※4 現地公開（動画配信あり）91、現地公開（動画配信なし）20、動画配信のみ3

※5 参考数値：約4,104人（25か所でカウント・2日間）、動画再生回数：43,834回
(3年6月21日時点・全94動画合計)

[みどり環境局再配当予算] 【予算：1,500,000円、決算：1,265,220円】

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり（ガーデンネックレス 2024）
第13回イベントのパンフレット作成・配達

[脱炭素・GREEN×EXPO 推進局再配当予算] 【予算：2,990,210円、決算：2,709,697円】

- ・GREEN×EXPO 推進事業

GREEN×EXPO 2027 の開催に向け、啓発物品の作成・配布やイベント実施等を通じた認知度向上、機運醸成、コンテンツ認知拡大

- ▶ オープンガーデン開催区（旭・港北・栄・瀬谷）が連携した市庁舎展示でのPR
- ▶ 1,050日前イベントにかかる「小田原北條五代祭り」でのPRブース出展
- ▶ 1,000日前イベントにかかる港北区オリジナルフォトスポットの作成
- ▶ 機運醸成港北区オリジナルバックパネルの作成
- ▶ 900日前イベント「ハンギングバスケット講習」の実施
- ▶ 888日前イベントとして、EXPOに向けた区民メッセージで花を咲かせる「想いよ届け、GREEN×EXPO 2027！」企画及び「楽しく学ぼう！こうほくエコフェスタ」の実施
- ▶ 800日前イベント「フラワーアレンジメント教室」の実施
- ▶ 777日前イベントとして、区内2か所の公園で桜の植樹式を実施
- ▶ 2年前イベントとして、小学生が育てたチューリップで地域を彩る「港北育苗プロジェクト」及び区庁舎屋上庭園での親子向け寄せ植えイベントを実施
- ▶ 相鉄沿線7区が連携して作成した「花みどりスポットマップ」の更新・配達
- ▶ 第13回オープンガーデンスタンプラリー用景品の作成



【市庁舎展示の様子】



【「小田原北條五代祭り」でのPRブースの様子】



【港北区オリジナルフォトスポット】



【港北区オリジナルバックパネル】



【ハンギングバスケット講習】



【想いよ届け、GREEN×EXPO 2027!】



【港北エコフェスタ】



【フラワーアレンジメント教室】



【桜の植樹式】



【港北育苗プロジェクト】



【花みどりスポットマップ】



【第13回港北オープンガーデン
スタンプラリー用景品】



3-(6) 港北オープンファクトリー事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(6) 港北オープンファクトリー事業	572,000円	580,798円	▲8,798円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

港北区には、市内18区で最多の1,100か所以上の工場があります。「ものづくりの現場が生活の身近なところにある」という区の特徴を生かし、地域の魅力やものづくりの面白さを伝えるため、普段は入ることのできない工場の見学ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を開催しました。

【主な内容】

1 港北オープンファクトリー 【予算：572,000円、決算：580,798円】

区内の製造業事業者や地域工業会と連携して、工場見学を中心としたイベント「第13回 港北オープンファクトリー」を開催しました。

《参考》【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度(回数)	開催日数	協力企業数	延べ参加者数	備考
2年度 (第9回)	一	11	5,573回 (視聴数)	ウェブサイト上で動画公開 (「おうち港北オープンファクトリー」)
3年度 (第10回)	一	8	468人	区内の小学校の児童を対象に オンライン形式で開催
4年度 (第11回)	1日	12	286人	4年ぶりのリアル開催
5年度 (第12回)	1日	15	451人	リアル開催では過去最大規模
6年度 (第13回)	1日	15	450人	過去最多の申込者数を記録



【第13回開催の様子】

【第13回 リーフレット】

【第13回 港北オープンファクトリーの協力企業】

株オースズ、株キヨーワハーツ、(有)鈴木機械彫刻所、株第一鉄製作所、株田島精研、株宮川製作所、石山ネジ株、株バネックス、株シルファー、株東京ダイス、東洋測器株、日本軸受加工株、株ヒートエナジーテック、横浜高周波工業株、株テクトレージ 計15社

[経済局再配当予算] 【予算：400,000円、決算：400,000円】

- ・ものづくり魅力発信事業

港北オープンファクトリー開催に係る運営業務委託費として活用しました。

3-(7) 芸術文化振興事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(7) 芸術文化振興事業	1,800,000円	1,800,000円	0円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区内の芸術文化を振興するため、港北芸術祭実行委員会に補助金を交付し、区民が質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業や文化活動の発表の場を提供する参加型事業等を展開する港北芸術祭を開催しました。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【予算：1,800,000円、決算：1,800,000千円】

(1) 鑑賞型事業

- ・「角田健一ビッグバンド ビッグバンド名曲集2024 スwingからラテンまで！」
(9月 港北公会堂)

来場者数：552人



- ・「ドン・キホーテとその時代の音楽～音楽は歌い、語り部は紡ぐ～」(11月 港北公会堂)

来場者数：247人



(2) 参加型事業

- ・さわってみよう！箏・尺八（7月 港北区役所） 参加者数：13人
- ・夏休み親子コンサート（8月 港北公会堂） 来場者数：331人
- ・港北区中学校生徒音楽会（10月 港北公会堂） 来場者数：600人
- ・港北芸能大会（11月 ミズキーホール） 来場者数：300人
- ・港北三曲会演奏会（11月 港北公会堂） 来場者数：235人
- ・筆文字で遊ぼう（書道体験教室）（12月 港北区役所） 参加者数：13人
- ・港北美術展（2月～3月 大倉山記念館） 来場者数：5,392人
- ・オーケストラ体験教室（3月 港北公会堂） 参加者数：31人

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
来場者数 (延べ数)	2,741人	1,794人	6,232人	9,980人	7,714人
実施事業数	4事業	4事業	9事業	11事業	10事業

※2年度・3年度 新型コロナウイルスの影響で、イベント開催を中止したことによる減

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順・7年3月末時点）】

氏名	職業等
朝岡 聰	アナウンサー
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
五大 路子	女優
関 治美	港北区連合町内会長
竹下 幸紀	港北区長
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》各種団体主催事業

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行いました。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月 港北公会堂）
- ・大倉山秋の芸術祭（10月～11月 大倉山記念館）
- ・港北区合唱の集い（10月 港北公会堂）
- ・港北ダンスフェスティバル（12月 港北公会堂）
- ・港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（1月 港北公会堂）

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
延べ数	2,117人	5,237人	10,805人	8,388人	5,637人
実施事業数	2事業	4事業	7事業	5事業	5事業

3-(8) 区民活動支援事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(8) 区民活動支援事業	1,287,000円	1,281,360円	5,640円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区域の中間支援組織として、地域課題の解決や魅力づくりを目指し、市民公益活動と生涯学習を支援しました。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【予算：135,000円、決算：106,216円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材の貸出しなどを行いました。



【区民活動支援センター】



【イベント等のチラシの配架】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【予算：852,000円、決算：897,724円】

団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」のデジタル化を進めるほか、区内の区民利用施設等や地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等にも配布しました。

- ・年6回発行
- ・13,200部（2,200部/回）

3 市民グループ・団体支援事業 【予算：240,000円、決算：226,600円】

- ・地域の活動者を対象にDXを推進するため、ICT講座を開催しました（参加数14人）。
- ・新たな担い手、新たな活動の創出につなげる「港北地域学」を開催しました（参加数68人）。
- ・ファシリテーターを交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す「港北つながるカフェ」を開催しました（参加数16団体）。
- ・グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなどによる「施設間連携会議」を開催しました（参加数39施設）。

4 区民活動支援センターICT化事業 【予算：60,000円、決算：50,820円】

- ・窓口相談の際にタブレットPC及び無線LAN（Wi-Fi）を活用し、区ウェブサイト等を案内しました。
- ・活動団体等のオンラインミーティング、オンライン講座にタブレットPC及び無線LANを活用しました。
- ・窓口配架チラシを区ウェブサイトに掲載しました。

3-(9) 地域振興活動事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(9) 地域振興活動事業	2,850,000円	2,702,549円	147,451円
地域振興課	差引理由	自治会町内会への資料送付の減など	

【事業の概要】

自治会町内会の活動を支援するとともに、自治会町内会の永年在職者の表彰や研修会等の実施を通じて、住みよい地域づくりの推進を図りました。

【主な内容】

1 自治会町内会への支援・連携事業 【予算：1,340,000円、決算：1,256,364円】

「自治会町内会掲示板への掲示物」等を各自治会町内会へ送付しました。各自治会町内会に紙資料の郵送を希望するかどうかの調査を実施し、希望しない自治会町内会には、資料をデータで確認してもらうペーパーレスの取組を進めました。

- ・送付回数：年10回（定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・送付先：自治会町内会 150団体
- ・送付数：議題1件につき掲示物約1,200部

2 自治会町内会長永年在職者表彰の実施 【予算：1,300,000円、決算：1,356,585円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表すため、区内式場にて永年在職者勤続表彰及び記念品の贈呈を行いました。

- ・令和6年度港北区自治会町内会感謝会（表彰者22名うち当日表彰者19名）

開催日：令和7年2月27日

開催会場：ソシア21

参加者：86名（表彰者含む）

表彰者：単会表彰者 計19名

15年表彰4名 10年表彰6名 5年表彰9名

連合表彰者 計3名

5年表彰3名



【表彰者記念写真】



【表彰式】

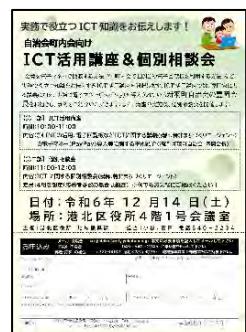


【感謝会】

3 自治会町内会のICT化支援事業 【予算：210,000円、決算：89,600円】

ICT等を活用した活動を円滑に推進できるよう、IT及びICTの基礎的な概要説明、LINE等の情報伝達ツールの体験、Zoom等を使用した会議運営の体験・実習などについて、地区連合町内会、単位自治会町内会（各1団体）で出張講座を実施したほか、区役所で3団体に

ICT個別相談会を行いました。また、実際に電子マネーを導入している単位自治会町内会の会長を講師に招き、個別相談会を開催しました。



【ICT 個別相談会チラシ】

3 活気にあふれるまちづくり

[市民局区配予算]

- ・地域活動推進費

区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助

- ・防犯灯維持管理費補助金

自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助

- ・自治会・町内会館整備費補助金

自治会町内会館の新築、改修、修繕等整備費の補助

- ・自治会町内会会館脱炭素化推進事業費

LED照明器具やエアコンの設置など、自治会町内会館の脱炭素化に対する費用の補助

[市民局区配予算]

地域活動推進事業

- ・区連会ホームページの更新

- ・自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発災害用トイレキットの作製と配布

- ・自治会町内会区域図の提供

- ・区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ

- ・建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供

- ・広報よこはま、タウン誌への記事掲載

- ・「自治会町内会活動のしおり」配布（加入促進に関するQ Aの掲載）

- ・イベントへの広告掲載／動画の放映

- ・デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【加入促進啓発災害用トイレキット】



【加入促進動画】

3-(10) 読書活動推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(10) 読書活動推進事業	648,000円	594,073円	53,927円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

読書活動を推進する取組として、紙芝居制作イベントやふるさと港北ふれあいまつり・ヨコアリくんまつりにおける読書関連ブース出展等を行うとともに、日吉図書取次所「日吉の本だな」での図書企画展示や朗読会等、また、作家等による講演会を開催しました。

あわせて、地域全体で読書活動を推進するため、区内読書関連施設や団体等と連携して、情報交換や交流会等を実施しました。

【主な内容】

1 本とあおう事業 【予算：180,000円、決算173,556円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進しました。

(1) 紙芝居制作イベント

- ・こども「紙芝居づくり」教室（7月31日、8月7日 港北図書館 参加者人数延べ22人）物語を作る楽しさを体験する、小学生対象の手づくり紙芝居制作講座を実施しました。



【こども「紙芝居づくり」教室】

(2) 本と出会おうイベント

- ・ふるさと港北ふれあいまつり／ヨコアリくんまつり（11月30日 横浜アリーナ）

読書活動推進月間中の取組として、読書フェスティバル「みんなで遊ぼう本と出会おう」コーナーを出展しました（港北図書館等と連携した各種図書展示、こども「紙芝居づくり教室」参加小学生や区内活動団体による紙芝居上演など）。



【港北図書館の児童書展示】



【小学生の手作り紙芝居上演】

(3) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひざにだっこで楽しむ絵本」(中央図書館発行)を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場で配布しました。

2 読書情報発信事業 【予算：420,000円、決算：382,517円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズにあわせた区内の読書関連情報の発信を強化しました。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・図書の取次機能に加えた読書関連情報等の発信（図書の企画展示やパネル展示等）
- ・地域交流、多世代交流の場として、区内活動団体と連携した企画等の実施（まちの先生等による朗読会や体験会、区民活動支援センターの出張相談会など）



【まちの先生によるおはなし会】

(2) 各施設からの情報発信等

- ・図書館や地区センター等の読書関連施設における新着図書やテーマごとの蔵書の紹介
- ・区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」(3年度改訂発行)を引き続き配布



【港北区本との
出会いマップ】

(3) 蔵書情報等の発信

区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやSNS等、ICTを活用して発信しました。

(4) 港北区読書講演会

区民が本と親しむ機会を創出するため、港北区にゆかりのある作家等による講演会を開催しました（5月11日 慶應義塾大学日吉キャンパス） 参加者数47人）。

【講演概要】「日吉の歴史～キャンパスとともに歩んだまち～」

(講師：阿久澤 武史氏（慶應義塾高等学校校長）)



【港北区読書講演会】

3 活気にあふれるまちづくり

3 読書団体連携事業 【予算：48,000円、決算：38,000円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施しました。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等（小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区）で構成する連絡会を開催しました。

（7月2日 港北図書館 出席者数11機関14人）

(2) 読み聞かせボランティア交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会を開催しました。（6月19日 港北図書館 参加者数9団体18名）



【小学生向けの読み聞かせ
ボランティア交流会】

(3) 読書フェスティバルイベントカレンダー

読書活動推進月間に区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載しました（10月～11月）。

[教育委員会事務局再配当予算]

- 横浜市民の読書活動推進事業

区づくり推進費と合算して、読書活動推進啓発物品を作成しました。

3-(11) こうほく プラ5.3推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(11) こうほく プラ5.3 推進事業	891,000円	794,517円	96,483円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ プラ5.3計画）に基づき、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して環境行動の推進に取り組みました。

世界的に問題となっている食品ロスや特に新計画で重点課題となっているプラスチックごみ問題等について、積極的に啓発等を行いました。また、ポイ捨てや不法投棄のない、清潔できれいな街づくりを推進しました。

【主な内容】

1 環境行動の推進 【予算： 761,000円、決算： 633,394円】

(1) 環境行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

環境行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等を表彰しました（2月26日）（個人：10者、団体：2者）。

(2) 環境行動普及啓発事業

- 「ヨコハマ プラ5.3計画」の取組

プラスチック製容器包装の分別率アップ、新分別ルールの周知、多言語版リーフレット設置、地域イベントや大型スーパー店頭での分別啓発（20回）、新分別ルールの地域説明会等（24回）、ふるさと港北ふれあいまつり（11月30日）、分別相談ブースの設置（3月8日、22日）を行いました。

- 食品ロス削減の取組

生ごみ減量化の土壤混合法説明会を実施しました（6月27日、7月25日、10月30日）。

フードドライブの受付及び啓発を実施しました（3,760点、1045.3kg）。



【ふるさと港北ふれあいまつり】 【土壌混合法説明会】



【フードドライブ】

(3) 環境学習事業

- 区民向け啓発講座を実施しました（19回）。
- 動画やSNSを活用した啓発を実施しました。
- 保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所と連携した環境学習を実施しました（9回）。



【区民向け啓発講座】



【保育園での出前講座】

(4) こうほく3R活動助成金

- 区内の連合町内会に対し、環境行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金を交付しました（390,000円（年額30,000円×13地区連合町内会））。
- 環境事業推進委員への啓発物品の支給やイベント開催のサポート等活動を支援しました。

[資源循環局再配当予算]

- ヨコハマ プラ5.3計画広報啓発事業 【予算：100,000円、決算：79,750円】
啓発物品の購入費

《参考》

【港北区の家庭ごみ収集量（単位：トン）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度
燃やすごみ・缶・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装の総量	57,580	56,123	54,071	52,729
燃やすごみ	48,362	47,275	45,549	44,203
缶・びん・ペットボトル	4,765	4,542	4,323	4,211
プラスチック製容器包装	4,453	4,306	4,199	4,315

2 街の美化の推進 【予算：130,000円、決算：161,123円】

(1) キャンペーン活動の実施

- 地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃支援を実施しました（25回）。



不法投棄地域清掃支援（新羽大熊農業専用地区（年1回））
を実施しました。

【日吉駅周辺一斉清掃】

新横浜駅前周辺清掃（月1回）、横浜アリーナ周辺清掃（月1回）、日吉駅周辺一斉清掃（年2回）を実施しました。

(2) 不法投棄防止対策

不法投棄監視システムの維持管理を行いました。

《参考》

統合事業費

クリーンタウン横浜事業 【予算：842,000円、決算：726,000円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進しました。

- 新横浜駅周辺（美化推進重点地区及び喫煙禁止地区）
港北区美化推進員活動（週3回、通年）
- 日吉駅周辺（美化推進重点地区）
港北区美化推進員活動（週2回、通年）

3-(12) 港北エコアクション推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(12) 港北エコアクション 推進事業	2,565,000円	2,028,590円	536,410円
区政推進課	差引理由	事業内容の見直しによる残	

【事業の概要】

区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策行動に取り組めるよう、区役所・区民・事業者が協働して「温暖化対策」「みどりアップ」「ヨコハマ プラ5.3計画」の3つの取組を「港北エコアクション」として一体的に進めました。

【主な内容】

1 港北水と緑の学校事業 【予算：2,315,000円、決算：1,778,590円】

- ・環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、区内小学校向けに鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施しました。
 - ▶ 区内小学校向け講座（6～11月）14回
 - ▶ 小学生の学習成果の展示会（2～3月）
- ・事業の重要性・必要性に共感をいただいた6社に広告協賛をいただきました。
 - ▶ 広告協賛企業
株式会社富川写真、株式会社横浜アリーナ、株式会社ウチムラ、
株式会社 Syonan Tonbi Project、綱島商店街協同組合、NOSIGNER株式会社



【区内小学校向け講座】



【小学生の学習成果の展示会】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
実施回数 小：小学校向け講座 一般：一般向け講座	18回 (小18回) ※1	18回 (小18回) ※1	20回 (小18回、 一般2回)	20回 (小18回、 一般2回)	14回 ※2
延べ参加者数	1,242人	1,702人	1,301人	1,449人	968人

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

※2 みどり環境局が実施する「横浜市環境教育出前講座」を活用することで、本事業では鶴見川での活動に特化した区内小学校向け講座のみを実施しました。

2 港北エコアクション推進事業 【予算：250,000円、決算：250,000円】

区庁舎及び太尾小学校の屋上緑化の維持管理を区民と連携して実施しました。また、広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発を行いました。

[みどり環境局再配当予算]

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【予算：300,000円、決算：223,960円】
区内イベントにおける市民が森に親しむブースの出展や親子向けイベントの実施
- ・身近に農を感じる地産地消推進事業 【予算：300,000円、決算：45,000円】
企業連携等による地産地消イベントの開催等を実施

【企業連携等によるイベントの開催】

- ・「新横浜公園ピクニックパーク」イベントへの脱炭素・GREEN×EXPO 2027 関連ブースの出展（9月）
- ・自然と遊ぼう！親子で楽しむ探検と工作 in 綱島市民の森（3月）
- ・JA 横浜と連携し、収穫体験イベントを開催（10月）

《参考》令和6年度に実施したイベントの様子



【新横浜公園ピクニックパーク】 【市民の森での親子向けイベントの様子】



【収穫体験イベント】

3-(13) まちづくり調整費

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(13) まちづくり調整費	6,963,000円	6,891,756円	71,244円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決のため、必要な調査や関係機関との調整を行いました。

【主な内容】

1 区民意識調査 【予算：2,800,000円、決算：2,733,500円】

地域の課題・区民ニーズ・意向を的確に把握し事業に反映するため、4年に一度の区民意識調査を実施しました（結果公表：令和6年11月27日）。

【「令和6年度港北区区民意識調査」の調査概要】

調査対象：港北区内に居住する満18歳以上の男女 3,000人（外国籍区民60人を含む。）

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

調査期間：令和6年5月27日～6月21日

調査方法：郵送による無記名調査（回答は、郵送又はweb）

有効回答数：1,706件（回収率56.9%） [内訳] 郵送：911件、web：795件

2 まちづくり調整費・まちづくり調査費 【予算：4,163,000円、決算：4,158,256円】

(1) 地域課題の解決に向けたまちづくり

区内で実施するまちづくりを円滑に進めるための関係機関との調整や、特定の課題に対する調査検討を行いました。6年度は日吉駅西口周辺交通空間の改善検討として周辺住民及び商店会アンケート実施しました（アンケート回収数（住民）1,260件、（商店会）99件）。

【まちづくり調査等の過年度実績】

年度	実施内容
2年度	SIB本格実施に向けたモデル事業として、オンライン健康医療相談サービスを活用した社会実証
3年度	港北区データ整理検討
4年度	—※
5年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
6年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討

※4年度は、区配予算の活用や事業者との協議等により、予算執行を伴わない対応を行ったため、まちづくり調査費の執行はありませんでした。

【都市整備局再配当予算】

- ・まちづくり誘導調整事業【予算：1,000,000円、決算：736,000円】
日吉駅西口周辺交通空間改善検討業務に充当しました。

(2) 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）との連携

【6年度の取組内容】

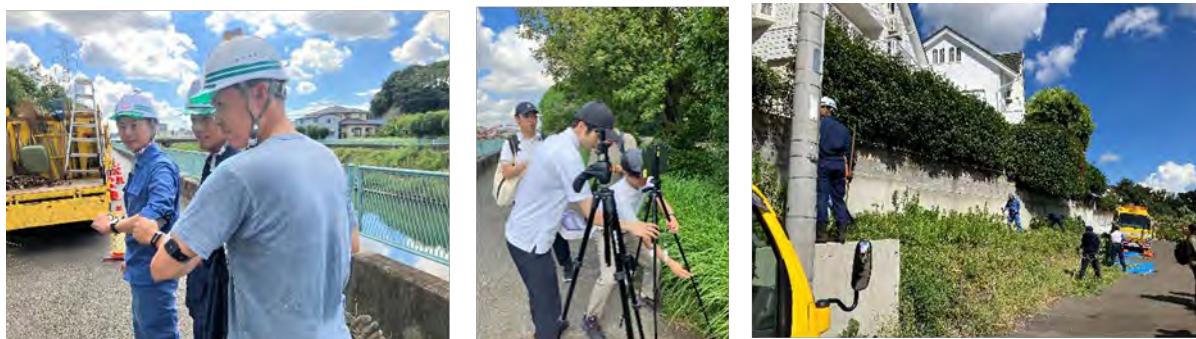
「暑さ対策」をテーマとして、慶應SDMが提唱する問題解決手法「システム×デザイン思考」や各種データを活用し、「GREEN×EXPO 2027」開催会場における暑さ対策を見据えた暑熱環境下の現場作業員の熱中症リスクを分析しました。

【連携協定の概要】

港北区と慶應SDMは、平成29年5月に、「教育研究成果を活用した地域の課題についての調査・事業の実施、スポーツに関する取組やデータの活用検討等を通じて、相互のさらなる発展に寄与すること」を目的とした連携協定を締結しています。

【連携事業の過年度実績】

年度	実施内容
2年度	・オンライン運動プログラム ・港北オンラインラジオ体操
3年度	・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操
4年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、地域課題の解決を学ぶワークショップ
5年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」に繋がるアイディア創出を図るワークショップ
6年度	「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）」も見据えた「暑さ対策」における実証実験



【令和6年度の連携事業の様子】

4-(1) 港北区PR情報発信事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(1) 港北区PR情報発信事業	1,072,000円	1,046,140円	25,860円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスが得られるようSNS等を運営しました。また、「広報よこはま」の訴求力アップを図るため、「広報よこはま」で特集した記事と連動させた啓発物品の製作や、区のキャラクターを有効活用した区のPRを行い、広く港北区政への関心を高めることにつなげました。

【主な内容】

1 情報発信事業 【(6) 1,072千円、(5) 902千円】

スマートフォン等の普及により区民の区政情報の入手手段が多様化していることを踏まえ、タイムリーかつターゲットを意識した有効な情報発信を行いました。また、港北区のキャラクターであるミズキー等を活用した啓発物品を製作し、区役所の各種事業で配布しました。

【港北区ウェブサイトアクセス件数・Xフォロワー数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
アクセス件数	約350万件	約300万件	約250万件	約250万件	約340万件
フォロワー数	約8,800人	約10,200人	約10,700人	約10,900人	約11,500人

【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
利用件数	10件	7件	21件	30件	32件



【港北区ミズキー】

4-(2) 戸籍課案内サービス向上事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(2) 戸籍課案内サービス向上事業	2,950,000円	3,737,469円	▲787,469円
戸籍課	差引理由	電話案内業務の実施期間拡大による増	

【事業の概要】

来庁者の待ち時間の短縮や、待合フロアの混雑の緩和のため、web発券システムの運用や、戸籍課登録担当内の電話応対の一部委託化等により、区民サービスの向上を図りました。

【主な内容】

1 窓口混雑対策事業 【予算：2,150,000円、決算：3,165,469円】

(1) 電話案内業務

窓口の繁忙期に電話応対の一部にオペレーターを活用することで、職員を来庁者の窓口案内業務に充て、区民サービスの向上を図りました。

- ・繁忙期の6年4～5月、7年3月に2人配置、6年10月～7年2月は1人配置

《参考》

【オペレーター稼働実績】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
電話受付件数 (実件数)	11,286件	16,029件	15,899件	15,336件	11,575件
オペレーター配置日数(実日数)	127日	252日	251日	206日	177日
オペレーター配置人数(延べ人数)	280人	309人	288人	276人	240人

(2) web発券システムの運用

5年1月に導入した区役所に来庁しなくても番号札を取得できるシステムを引き続き運用し、窓口混雑緩和を図りました。

《参考》最繁忙期における発券数（令和7年3月最終5開庁日）

- ・平均値…web発券： 74件／1日 全体：508(396)件／1日 (WEB発券の割合：18.7%)
- ・最高値…web発券：119件／1日 全体：725(594)件／1日 (WEB発券の割合：20.0%)

【住民異動受付等件数】

	26日	27日	28日	29日	31日	平均
受付件数(件) (うち転入等のみ*)	447 (347)	412 (302)	455 (343)	503 (395)	725 (594)	508 (396)
最大待ち時間(分)	118	106	104	98	390	163
平均待ち時間(分)	68	49	52	48	221	88
最大待ち人数(人)	73	48	68	70	296	111
web発券数(件)	68	50	54	80	119	74
web発券割合(%)*	19.6	16.6	15.7	20.3	20.0	18.7

* 転入等と印鑑登録等で発券する番号を分けており、web発券は転入等の番号でのみ実施しました。

2 繁忙期向け広報事業 【予算：800,000円、決算：572,000円】

窓口の繁忙期にあわせ、窓口の分散利用誘導、web発券利用促進及び転出届出・証明発行におけるマイナンバーカードの利用促進に向けた広報を行いました。

- ・インターネットを活用した広告を実施しました（3月）。
- ・地区センター等の市民利用施設にチラシを配架しました（1～3月）。

《参考》**【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】**

	2 年 度 末	3 年 度 末	4 年 度 末	5 年 度 末	6 年 度 末
人口(A)	351,554人	352,694人	355,442人	356,788人	359,274人
世帯数(B)	175,307世帯	176,636世帯	179,337世帯	181,250世帯	183,844世帯
平均世帯人員(A/B)	2.01人	2.00人	1.98人	1.97人	1.95人

※ 横浜市ウェブサイト掲載資料から引用

【市外からの転入者数（住民基本台帳人口）】

年度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
実 人 数	14,451人	14,254人	14,868人	14,200人	14,775人

[市民局再配当予算]

- ・ マイナンバーカード交付・更新事業 【予算：196,988円、決算：196,988円】
2024ふるさと港北ふれあいまつりの開催日に合わせて、横浜アリーナでマイナンバーカードの申請等に関する相談・説明及び申請サポートを委託により実施しました。

4-(3) 「仕事力向上」職員育成事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(3) 「仕事力向上」職員育成事業	625,000円	464,746円	160,254円
総務課	差引理由	スキル向上研修委託費の減	

【事業の概要】

適正な業務執行や業務スキルの向上を図るため、C S・E S向上研修やスキル向上研修を実施しました。加えて、人権感覚を育み、正しい理解及び認識を身につけるため、人権啓発講演会を実施しました。

【主な内容】

1 職員向け研修 【予算：320,000円、決算：198,000円】

(1) 新採用・転入職員・会計年度任用職員向けC S・E S向上研修

C S・E Sの向上を図るため、新採用・転入職員・会計年度任用職員を対象に実施しました（4月22日、26日 参加人数：66名）。

(2) スキル向上研修

業務スキルの向上を図るため、職員・会計年度任用職員を対象とし、「ナレッジマネジメント研修」を実施しました（9月 参加人数：36名）。

2 人権啓発講演会等 【予算：305,000円、決算：266,746円】

市民・職員向けの人権啓発講演会を実施しました（令和7年1月30日）。

【人権啓発講演会の実施状況】

年 度	テー マ	講 師	参 加 者
2 年 度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 (新型コロナウイルス等の感染症かかる人権啓発資料を区内の自治会・町内会へ送付)		
3 年 度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区ウェブサイトに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿		
4 年 度	「いいじめって何ですか?」 ～いいじめに対する大人の認識を考える～	小森 美登里 (NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)	約250人
5 年 度	多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり ～20人に1人はいるかもしれないLGBTQ～	星野 慎二 (定非営利活動法人SHIP理事長)	約100人
6 年 度	僕の宝物 (障害を受容できるきっかけとなった出来事や東京2020パラリンピックについて)	嵯峨根 望 (東京2020パラリンピック日本代表)	約120人



【6年度 人権啓発講演会】

4 区民サービス向上に向けた取組

4-(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	12,463,000円	14,918,520円	▲2,455,520円
総務課	差引理由	実績による増	

【事業の概要】

区庁舎について、快適に過ごせる環境づくりや施設の機能強化を行いました。

【主な内容】

区民サービス向上・環境改善促進事業 【予算：12,463,000円、決算：14,919,000円】

- ・1階健診センターの個室授乳室の設置、デジタルサイネージの増設
- ・2階戸籍課、3階税務課等の待合用椅子等の増設・更新
- ・3階こども家庭支援課の入口サイン、廊下の改修
- ・各階及び屋外の案内板、サインの更新
- ・区庁舎の環境改善に係る消耗品、修繕料、委託料、リース料、通信費等



【個室授乳室】



【2階戸籍課】



【中庭サイン】



【庁内サイン】

【デジタル統括本部再配当予算】

- ・区役所デジタル化推進事業 【予算：8,500,000円、決算：8,488,000円】
「待たない窓口」に向けた窓口受付システムの増設
(戸籍課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課、保険年金課)

【市民局再配当予算】

- ・区庁舎駐車場改善事業 【予算：1,276,000円、決算：1,276,000円】
車いす使用者用駐車場の増設

4-(5) 区民利用施設環境改善事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(5) 区民利用施設環境改善事業	3,120,000円	2,869,289円	250,711円
地域振興課	差引理由	剪定を要する案件の減	

【事業の概要】

区内の区民利用施設について、利用者が快適に過ごせる環境づくりや、施設の機能強化を行いました。

【主な内容】

1 区民利用施設の環境改善・機能強化【予算：2,220,000円、決算：2,131,717円】

区民利用施設の環境改善に伴う消耗品、備品の購入や、委託等を実施しました。

- ・学校型コミュニティハウス 複合機購入、複写サービス
- ・港北公会堂 楽屋エアコン更新
- ・城郷小机地区センター UAS更新
- ・境界杭、綱島公園こどもログハウス冷風機の購入

2 子供の遊び場等の樹木保全【予算：630,000円、決算：263,142円】

子供の遊び場等の安全確保のため、樹木管理を実施しました。

- ・子供の遊び場樹木選定（大曾根、太尾下町）

3 子供の遊び場等の安全基準不適合遊具の撤去等【予算：270,000円、決算：474,430円】

子供の遊び場等の遊具の安全性確保等を実施しました。

- ・子供の遊び場遊具安全確保補修（親和会パイプトンネル、太尾市之坪町会スプリング遊具等）

局事業 [市民局事業]

・地区センター・プレイルーム利用促進事業

地域における子育て中の親子が気軽に利用できる地区センターのプレイルームに、絵本や知育玩具等を充実させるとともに、内装のリニューアルを実施しました。

- 対象：
- ・綱島地区センター
 - ・菊名地区センター
 - ・城郷小机地区センター

広報よこはま区版発行事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	14,206,000円	13,098,458円	1,107,542円
区政推進課	差引理由	印刷単価の減	

【事業の概要】

区の事業や区役所、区内の施設からのお知らせ等を区民に周知するため、広報よこはま市版と併せて発行し、主に自治会町内会を通じて各世帯に配布しました。市の政策や目指すべき方向性をより確実に広報していくため、市版と区版の連携強化を図りました。

【主な内容】

1 広報よこはま区版作製 【予算：14,206,000円、決算：13,098,458円】

広報紙は原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布するほか、区ウェブサイトへの掲載やX（旧ツイッター）等で情報を発信しました。

(1) 発行

毎月1日、年12回

175万部（14.6万部/月）発行



【広報よこはま区版5月号 特集ページ】

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、8ページ

(3) 紙面構成

- 特集、トピックス記事

区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面

- お知らせ記事

区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

【参考】

港北福祉保健センターからのお知らせ

発行：年1回（6年4月号に挟み込み）

仕様：4色刷り、4ページ

内容：検診日程等

【広報よこはま区版発行部数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
年間部数	166万部	172万部	172万部	174万部	175万部
月平均部数	13.8万部	14.3万部	14.3万部	14.5万部	14.6万部

《参考》統合事業費

広聴相談事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 広聴相談事業	1,946,000円	1,944,991円	1,009円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

サービス改善等に関する区民の意見・提案等の把握や、来庁者への的確な案内や行政情報の提供のほか、区民が日常生活で直面する問題対処のための専門相談を行いました。

【主な内容】

1 特別相談事業 【予算：1,946,000円、決算：1,944,991円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行いました。

【特別相談実施概要】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など法律問題全般について	弁護士	水曜日及び (8月を除く) 第 1・3 木曜日 13:00～16:00
司法書士相談	債務整理(140万円以下)、 不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約などの 公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望 など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

【特別相談・広聴・窓口案内件数】(単位：件)

年度		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
特 別 相 談	法律相談	435	420	448	460	456
	司法書士相談	40	57	70	103	68
	公証相談	10	8	14	20	15
	交通事故相談	2	6	4	2	2
	行政相談	0	0	5	13	13
	広聴事業	1,083	1,049	800	729	721
窓口案内		62,343	61,006	57,908	46,757	52,517

《参考》統合事業費

青少年活動支援事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,082,000円	2,931,595円	150,405円
地域振興課、こども家庭支援課	差引理由	交付申請額の減	

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援し、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行いました。

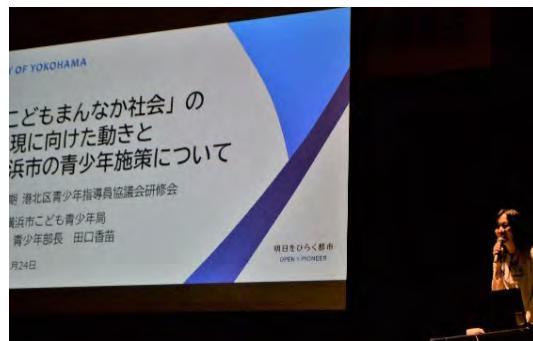
【主な内容】

1 青少年指導員事業 【予算：2,272,000円、決算：2,271,000円】

- ・港北区青少年指導員協議会研修会（6月24日、参加者数：123名）
- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
- ・社会環境実態調査（7月～9月）
- ・自然体験教室（9月21日）
- ・全市統一行動キャンペーン活動（11月30日）
- ・広報誌の発行（3月）



【自然体験教室】



【港北区青少年指導員協議会研修会】

【自然体験教室への参加人数】

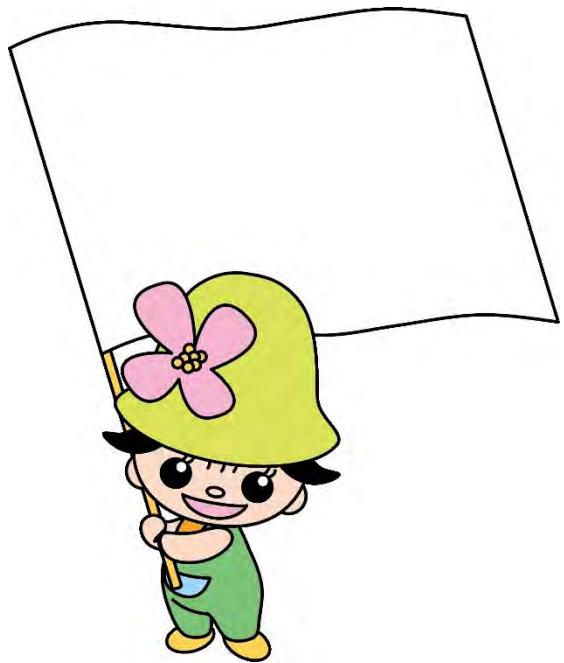
年度	2年度 3年度	4年度	5年度	6年度
実人数			66人	24人
実施場所		天候不良 により 中止	ソレイユの丘	新横浜公園 鶴見川流域センター
実施内容			クラフト体験 (万華鏡づくり) フォトラリー	ウォークラリー

※2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 学校・家庭・地域連携事業 【予算：810,000円、決算：660,595円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ補助金を交付しました。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図りました。

《参考》統合事業費



資料2

令和7年第3回
区づくり推進横浜市会議員会議資料
令和7年9月5日
港 北 区

令和7年度 個性ある区づくり推進費 執 行 状 況



©横浜市港北区ミズキー

港 北 区

令和7年度個性ある区づくり推進費 予算総括説明書

1 総括表

(単位:千円)

	予算額	執行額	執行率 ※7月末時点
(1)自主企画事業費	109,388	49,423	45.2%
(2)統合事務事業費	52,687	37,085	70.4%
統合事務費	28,697	15,215	53.0%
統合事業費	23,990	21,870	91.2%
(3)区庁舎・区民利用施設管理費	791,721	740,066	93.5%
合　　計	953,796	826,574	86.7%

2 内訳

(1)自主企画事業費

※詳細は3ページ以降に記載

(単位:千円)

区分	予算額	執行額	執行率	主な事業名
1 安心して安全に暮らせるまちづくり	29,489	11,995	40.7%	・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故で力エル事業
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	25,802	11,977	46.4%	・地域子育てサポート事業 ・困難な状況にある児童・家庭等への支援事業
3 活気にあふれるまちづくり	38,801	20,753	53.5%	・育もう「ふるさと港北」事業 ・港北ガーデンシティ推進事業
4 区民サービス向上に向けた取組	15,296	4,698	30.7%	・区民サービス向上・環境改善促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業
合　　計	109,388	49,423	45.2%	

注)各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

(2)統合事務事業費

(単位:千円)

区分	予算額	主な事業内容
統合事務費	28,697	・区役所業務の事務経費
統合事業費	23,990	・広報よこはま区版発行事業 ・青少年活動支援事業
合 計	52,687	

(3)区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区分	予算額	施設、事業内容
区庁舎等	153,668	・港北区総合庁舎 ・行政サービスコーナー(2か所) ・港北区区民活動支援センター ・港北土木事務所
公会堂	27,864	・港北公会堂
地区センター・スポーツ会館	252,505	・地区センター(6か所) ・小机スポーツ会館
ログハウス	10,050	・綱島公園こどもログハウス
区民文化センター	144,385	・港北区民文化センター
老人福祉センター	46,400	・老人福祉センター菊名寿楽荘
コミュニティハウス	111,445	・コミュニティハウス(4か所) ・学校施設活用型コミュニティハウス(3か所)
スポーツセンター	27,965	・港北スポーツセンター
広場・遊び場	1,011	・広場(1か所) ・遊び場等(13か所)
国際交流ラウンジ	15,210	・港北国際交流ラウンジ
区民利用施設修繕費	1,218	・小破修繕等
合 計	791,721	

注)各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

目 次

事 業 名	掲載頁	
自主企画事業		
1 安全に、安心して暮らせるまちづくり		
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	4	
(2) 災害時医療整備事業	12	
(3) 地域における災害時要援護者支援推進事業	14	
(4) 港北AAA(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦	16	
(5) 交通安全 無事故でカエル事業	18	
(6) 放置自転車対策事業	21	
(7) 快適な暮らしの衛生応援事業	22	
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり		
(1) 「ひとつプラン港北」推進事業	23	
(2) 地域子育てサポート事業	25	
(3) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業	29	
(4) 保育所支援・情報提供事業	32	
(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	34	
(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	35	
(7) 食育推進事業	39	
(8) 健康こうほく21事業	42	
3 活気にあふれるまちづくり		
(1) 育もう「ふるさと港北」事業	44	
(2) 地域スポーツ推進事業	47	
(3) 港北区商店街活性化事業	50	
(4) 地域のチカラ応援事業	52	
(5) 港北オープンファクトリー事業	54	
(6) 芸術文化振興事業	55	
(7) 区民活動支援事業	57	
(8) 地域振興活動事業	59	
(9) 読書活動推進事業	61	
(10) こうほく プラ5.3推進事業	65	
(11) 港北ガーデンシティ推進事業	67	
(12) 港北脱炭素みらい推進事業	71	
(13) まちづくり調整費	72	
4 区民サービス向上に向けた取組		
(1) 区民サービス向上・環境改善促進事業	74	
(2) 区民利用施設環境改善事業	75	
(3) 戸籍課案内サービス向上事業	76	
(4) 港北区PR情報発信事業	78	
(5) 「仕事力向上」職員育成事業	79	
《参考》統合事業費		
広報よこはま区版発行事業	80	
広聴相談事業	81	
青少年活動支援事業	82	
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	10	
スポーツ推進委員支援事業	※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	49
クリーンタウン横浜事業	※こうほく プラ5.3推進事業の頁に掲載	66
学校・家庭・地域連携事業	※青少年活動支援事業の頁に掲載	82

1－(1) 災害に強いまちづくり推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1－(1) 災害に強いまちづくり 推進事業	20,052千円	9,393千円	46.8%
総務課			

【事業の概要】

昨年の能登半島地震の発生や、初めて発表された南海トラフ地震臨時情報等の影響による区民の災害対策への関心の高まりと、3月に改定された横浜市地震防災戦略をふまえ、災害発生時の被害を最小限に留めるための各種取組を行います。

地域向けの啓発事業を実施し、一人ひとりの自助・共助による備えの重要性を伝え、具体的な行動に結びつけるほか、地域防災拠点の円滑な運営を支援するため、資機材の配備・更新や取扱講習を行います。

また、区災害対策本部の運営体制を強化するため、通信手段の確保、訓練・研修等を行います。

【主な内容】

1 自助・共助の啓発事業 【(7) 10,075千円、(6) 8,140千円】

横浜市地震防災戦略の柱1「市民や地域の「発災前からの備え」の強化」の推進

(1) 子ども向け防災啓発資料の作成・配布《新規》

子どもへの防災啓発を契機として、親世代、祖父母世代に波及して防災意識を向上させ、備蓄等の具体的な行動に繋げるため、家族で災害への備えについて話し合うきっかけの一つとして子ども向けの啓発リーフレットを作成し、区内の全小学校に配布します（9月）。

(2) 親子防災デイキャンプの実施《新規》

子育て世帯が災害への備えを進めるきっかけとするため、避難所の設営や防災食の調理、試食等、災害発生時の避難生活を親子で体験できるワークショップを実施しました（8月30日 申込人数18組（36人）、港北区役所1・2号会議室）。



【親子防災デイキャンプのイメージ
(非常用トイレの使い方実演)】

(3) 郵便ポストへの防災情報掲出《新規》

区民の身近な場所で防災情報を提供するため、郵便局の協力により、区内157か所に設置されている郵便ポストに、防災情報が印刷されたステッカーを掲出しました（8月）。



【区内郵便ポストに掲出したステッカー】

(4) 帰宅困難者抑制に向けた広報活動の実施《新規》

災害により公共交通機関が運休となった場合の帰宅困難者による混乱を防ぐため、防災月間（9月）や東日本大震災の日（3月）に合わせ、一斉帰宅の抑制や職場での備蓄等を勧める広報活動を、区内主要駅のデジタルサイネージ等を活用して行います。



【新横浜駅周辺混乱防災対策訓練】

(5) 防災キャラバンの実施

地域のニーズに応じた啓発活動を行い、区民の防災意識の向上につなげるため、自治会町内会や区内小学校等の希望する団体を対象に、専門家による講演を行う防災キャラバンを実施しています（6～12月、15回程度）。

【防災キャラバンの実施テーマ（7年度）】

テーマ	内容	7年度 申込数 (7月末時 点)
防災食	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	6回
マンション防災	マンション特有の防災対策についての講義	3回
発災時のトイレ問題	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	2回
建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	2回
首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	2回
河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	1回
知的障害や自閉症の方への支援	災害時の知的障害や自閉症の方向けの支援について、当事者からの講義やコミュニケーションボードの使用方法説明等	0回
合 計		16回

《参考》

防災講話の実施

区内の団体等からの希望により、区防災担当職員が防災講話を実施しています。

講話のテーマは、地震・風水害への備えを中心に、団体の希望する内容を伺ったうえで調整します（通年）。

【防災キャラバン及び防災講話の参加人数】

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度※ (7月末時 点申込数)
防災 キャラバン	100人	296人	468人	758人	<u>445人</u>
防災講話	257人	1,008人	1,018人	1,529人	<u>199人</u>
合計	357人	1,304人	1,486人	2,287人	<u>644人</u>



【防災キャラバン（左：自治会町内会、右：小学校）】

(6) 港北支えあい防災教室の実施

要援護者に関するケアマネジャーや要配慮者施設（高齢者施設、保育所等）の職員が、防災に関する基礎知識に加えて、職種や施設の特徴に応じた知識を得ることができるよう、研修会を実施しています（1回目：7月25日 参加者30人、2回目：12月、計2回）。



【港北支えあい防災教室】

(7) 区内の事業者や商業施設と連携した防災啓発の実施

区内の大規模商業施設等と連携し、啓発イベントへの出展や訓練等を行っています。

・「港北シェイクアウト！」の実施

大地震発生時に一人ひとりの命を守るために初動対応訓練を、区民や区内事業者の参加を募り、商業施設等と連携して実施しています。

【R6 トレッサ横浜での
港北シェイクアウト！】

・防災イベントへの出展等

商業施設が開催する防災イベント等に出展し、来場者に啓発を行います。

【出展する防災啓発イベント】

時期	商業施設等名称	イベント名	啓発実施内容
9月6日(土)	トレッサ横浜	トレッサ防災フェア	パネル展示、 啓発資料配布、 ワークショップの実施 等
11月8日(土)	横浜アリーナ	ふるさと港北 ふれあいまつり	
9月21日(日)	イオンスタイル 横浜新吉田	防災フェア(仮称)	
3月	アピタテラス 横浜綱島 (Tsunashima SST)	こども防災フェア	



【トレッサ防災フェア
(こども向けワークショップ)】



【こども防災フェア
(近隣小学校児童による発表)】

(8) 防災講演会の実施

より多くの区民に災害への備えの重要性を伝え、参加者が具体的な行動を取るきっかけになるような防災啓発を実施するため、防災に見識のある外部講師を招き、区民が気軽に参加することができる講演会を開催します（2月）。

(9) まるごとまちごとハザードマップの設置

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、「まちなか」の電柱に想定浸水深や避難場所を示した看板等を、日吉地区及び大曾根地区の洪水浸水想定区域内に設置します。地区内の設置場所は、地区定例会を通じて地域と調整しながら決定します（1～3月）。

【看板の設置状況及び今後の予定】

年度	地区	設置箇所数	
4年度	大倉山	50	100
	綱島	50	
5年度	城郷	50	99
	新羽	49	
6年度	新吉田	60	90
	新吉田あすなろ		
	樽町	30	
7年度 (予定)	日吉	60	80
	大曾根	20	
8年度 (予定)	菊名	55	90
	高田	20	
	師岡	10	
	篠原	5	
計	13地区	459	



【想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ（城郷地区）】

(10) かけ地相談会の実施

区内の崖地周辺の土地が所有者によって適切に管理され、土砂災害の被害を抑制するため、地盤の専門家である地盤品質判定士が、相談を希望する参加者の管理する崖地の状況を分析し、対応の必要性を検討する相談会を区独自に実施します（9月6日及び7日、1日6組（計12組））。



【かけ地相談会】

(11) 各種防災啓発用資料の更新、印刷

区民が日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、港北区防災・区民生活マップやハザードマップ等の啓発用資料を更新します。

2 避難所等の環境改善及び運営支援 【(7) 5,660千円、(6) 3,212千円】

横浜市地震防災戦略の柱2「誰もが安心して避難生活を送ることができる仕組みの構築」の推進

(1) 地域防災拠点の混乱防止対策の実施《新規》

・地域防災拠点へのトイレスタートーキットの配備

大地震発生後、地域防災拠点の開設にあたり混乱が予想される時期に、上下水道の状況が不明確な状況でもトイレの設営を簡易かつ迅速に行い、秩序を維持するため、「トイレスタートーキット」を作成し、全拠点に配備します。

「トイレスタートーキット」は、非常用トイレパックのほか、トイレパックの使用方法、各種サイン等で構成し、予備知識のない避難者でもトイレ環境の整備の重要性や設営方法を理解し、設営ができる目的としたキットです（9月、全29拠点）。

【トイレスタートーキット

（イメージ）



(2) 地域防災拠点備蓄倉庫の狭あい化への対応

備蓄倉庫の狭あい化に対応し、拠点運営委員会の円滑な活動を支援します。

・区独自配備資機材の置き換え

資機材の省スペース化のため、区が独自に配備した資機材のうち、段ボールベッドを回収し、新たにコンパクトに畳むことができ、スチール製で劣化しにくく、簡単に設営できるワンタッチ式ベッドを配備します（令和6年度に事業開始、令和7年9月までに全拠点の置き換えを完了）。

・防災備蓄倉庫の整理整頓の支援（総務局事業へ変更）

防災備蓄倉庫の整理整頓、備蓄品の管理を支援するため、専門業者に委託し、希望する拠点の備蓄倉庫内の棚卸、目録及び位置図の作成等を行います。



【実施前】



【実施後】

(3) 資機材取扱指導員の派遣

災害発生時に資機材を取り扱うことができる人材を安定的に確保するため、資機材取扱指導員を地域防災拠点運営委員会に派遣し、資機材の取扱研修を行います（9～12月、20拠点程度）。



【指導員による指導】

(4) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機等の資機材について、地域防災拠点運営委員会の要請等に対応し修繕・更新を行います。

(5) 地域防災拠点訓練参加者向け保険の加入

各地域防災拠点で実施される防災訓練の参加者が訓練時に負傷した場合に備え、傷害保険に加入します。

3 区災害対策本部の効率的な設置運営 【(7) 4,167千円、(6) 5,097千円】

(1) 円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、携帯回線を使用するIP無線機や、災害発生時も安定して通信できる地域BWA回線（※）に対応した公用スマートフォン等の各種通信機器を継続して運用しています。



【IP無線機】



【公用スマートフォン】

※地域 BWA とは

市区町村単位で地域事業者が提供する通信システムです。公共サービスに利用することを想定し、大手キャリアとは別に基地局を整備しているため、災害発生時の通信の混雑が発生しにくいとされています。

なお、港北区では、イツ・コミュニケーションズ㈱が免許を取得しています。

(2) 災害における避難場所借り上げの実施

避難情報の発令時等に必要に応じ地区センター等を避難場所として借り上げ、施設使用料を負担します。

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施しています。

【訓練】

- ・区職員動員訓練（6月～12月）
- ・震災対策本部各班訓練（11月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・風水害対策研修（4月）
- ・地域防災拠点参与係長研修（4月）
- ・震災対策研修（9月）
- ・拠点動員者研修（9月）



【研修の様子】

(4) 港北区災害対策本部用備品の購入

区本部の安定した運営を確保するため、備蓄食料や夏季の災害現場対応を想定した熱中症対策用品等の備品を購入します。

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【(7) 884千円、(6) 884千円】

避難指示等の避難情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用します。

【対象区域内の配信希望者等】(7年7月末時点)

洪水浸水想定区域内の災害時要援護者	2,670人
家屋倒壊等氾濫想定区域内の住民	193人
自体会・町内会長（区内全域）	125人
土砂災害警戒情報発表に伴う即時避難指示対象の区域の住民	3人
合計	2,991人

4 各種団体への補助 【(7) 150千円、(6) 150千円】

災害時に円滑なボランティア活動を実施するため、港北区災害ボランティア連絡会にコーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として補助金を交付しました。

[総務局再配当予算]

・地域防災力向上事業

地域防災活動奨励助成金 【(7) 3,480千円 (6) 3,480千円】

区内 29 か所の地域防災拠点運営委員会へ助成 (1 拠点あたり 12 万円交付)

町の防災組織活動費補助金 【(7) 18,390千円 (6) 18,274千円】

区内 140 団体の町の防災組織へ補助 (1 世帯あたり 160 円交付)

1-(2) 災害時医療整備事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(2) 災害時医療整備事業	424千円	50千円	11.8%
福祉保健課			

【事業の概要】

災害時医療等の対策を講じるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「三師会」という。）をはじめとした関係機関との各種会議の開催や医療救護隊の訓練を実施するとともに、災害時の体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナース（以下「Yナース」という。）の登録促進と育成を進めます。

【主な内容】

1 災害医療体制の整備 【(7) 194千円、(6) 194千円】

(1) 災害医療連絡会議

三師会、Yナース、病院等の医療関係者と、区、警察、消防等の行政機関が参加し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関し、意見交換や情報共有を行っています。

（年3回 6月17日、10月21日、2月17日）



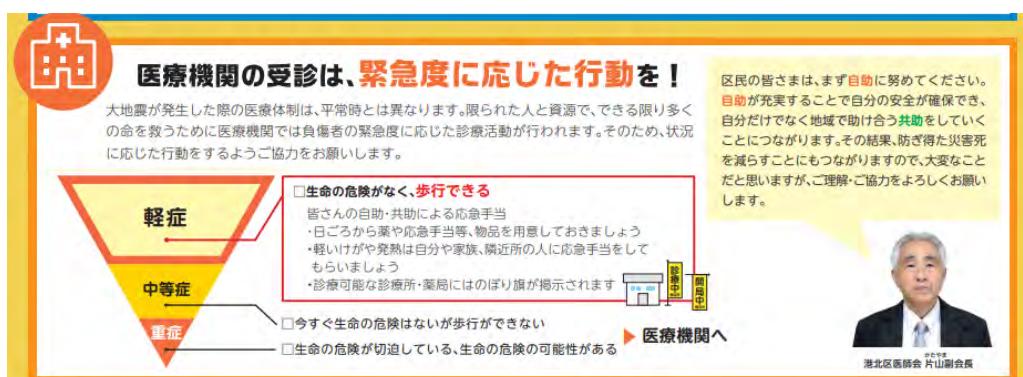
【災害医療連絡会議】

(2) 災害時の医療体制の区民周知

医療機関や医療救護隊が、限られた人員と資源でより多くの人を救う効果的な活動を行うため、重症度に応じた受診先の選択、軽症者の自助共助による対応等の災害時の医療体制や、救急医療と災害医療の違い等の災害医療に関する内容について、三師会と連携して区民向けに周知啓発を行っています。

具体的には、チラシの配布、広報よこはま区版(6月号)を活用したお知らせを行いました。

今後も継続してチラシの配布を行うとともに、区ウェブサイト、SNS等の電子媒体を活用した広報を行います。



【広報よこはま区版(6月号) 記事】

2 医療救護隊訓練の実施 【(7) 50千円、(6) 50千円】

参集実地訓練（12月7日）や地域防災拠点における医療機関報告書持込訓練（9月～11月）、のぼり旗・フラッグ掲出訓練（9月1～7日、1月17～23日）のほか、医療機関や医療局との通信訓練（医療機関：年4回、医療局：年6回）を実施しています。



【参集実地訓練】



【医療機関報告書持込訓練】



【のぼり旗・フラッグ掲出訓練】

【訓練の参加人数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	<u>7年度 (7月末)</u>
参集実地訓練 (実人数)	41人	70人	64人	70人	—
報告書持込訓練 (参加医療機関数)	—	41機関 (3拠点)	52機関 (5拠点)	74機関 (7拠点)	<u>12機関 (1拠点)</u>

3 医療救護隊用装備品の整備 【(7) 160千円、(6) 296千円】

- ・医療救護隊参集拠点における定点診療に必要な装備品の維持・整備をしています。
- ・医療救護隊及び医療調整班保健活動グループの巡回診療に必要な装備品を整備しています。

4 災害支援ナース（Yナース）の登録促進と育成 【(7) 20千円、(6) 20千円】

- ・リーフレットによる登録勧奨（随時）
- ・広報よこはま区版（年2回）や区ウェブサイト、SNS等を活用した登録勧奨
- ・参集実地訓練への参加依頼（12月7日）
- ・Yナース連絡会の開催（年1回：1月30日）
- ・港北区医師会や県看護協会主催の研修会への参加勧奨（随時）



【Yナース登録者数】

【Yナース募集リーフレット】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	<u>7年度 (7月末)</u>
登録人数	72人	66人	66人	66人	<u>67人</u>

1-(3) 地域における災害時要援護者支援推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(3) 地域における災害時要援護者支援推進事業	1,345千円	168千円	12.5%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

地域の方と災害時要援護者（以下「要援護者」という。）との平常時の関係構築と防災意識醸成の取組を推進するため、地域への情報提供に同意をいただいた要援護者宅への訪問用の防災物品と啓発チラシを作成・配布します。

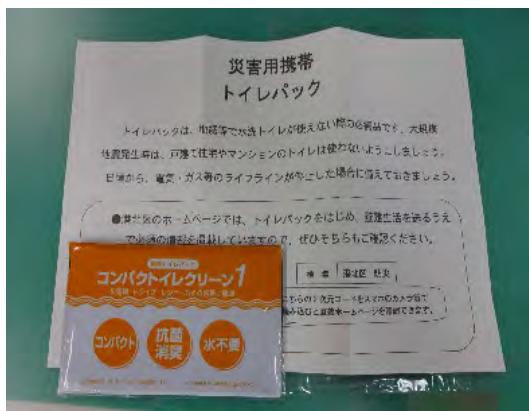
また、区内協力企業等による、長期停電時における要電源医療機器利用者へのバッテリー貸出しを行います。

【主な内容】

1 災害時要援護者訪問推進事業《拡充》【(7) 1,120千円、(6) 1,100千円】

地域の方と要援護者との平常時の関係構築と防災意識醸成のため、災害時要援護者名簿登載者のうち、地域への情報提供に同意をいただいた方への訪問時に、災害用備蓄物品と防災情報の啓発チラシを配布します（6,000部）。

また、地域で災害時要援護者名簿に基づく訪問に携わる方等に災害時要援護者支援事業の概要を周知するためのリーフレットを9月頃に作成します（500部）。



【備蓄物品と啓発チラシ】



【災害時要援護者支援事業取組ハンドブック】

[健康福祉局再配当予算]

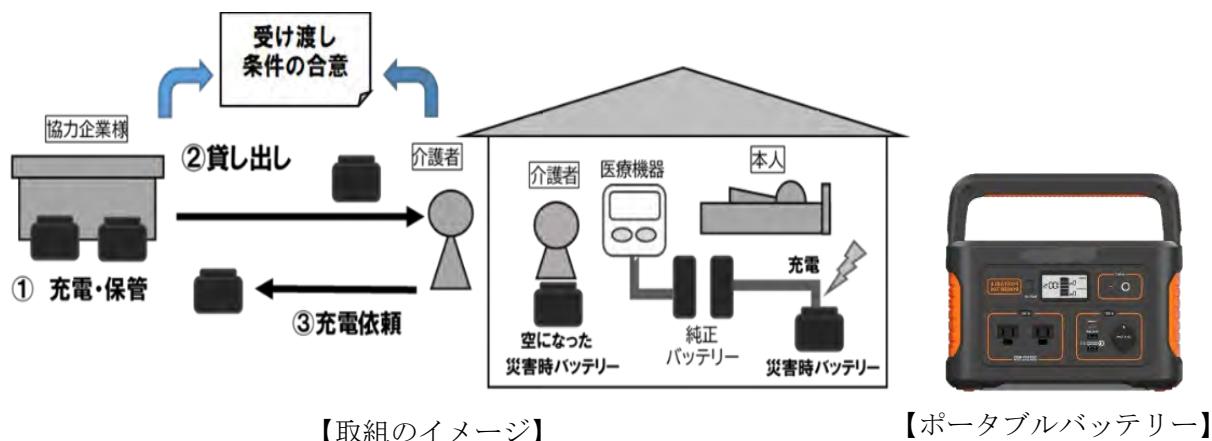
・災害時要援護者支援事業

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者、障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿を提供します。

2 要電源医療機器利用者支援事業 【(7) 225千円、(6) 210千円】

区内の協力企業に災害時用のポータブルバッテリーを貸与し、協力企業による共助の取組として、長期停電時に要電源医療機器利用者に充電済みのバッテリーを貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電などの支援を行います。引き続き、利用者と協力企業とのマッチングを行います。

協定締結企業：12社、利用申込者：7人



協力企業は区が用意したポータブルバッテリーを使って、

- ①平常時は充電・保管
- ②1日超の長期停電時に貸出し
- ③対象者のバッテリーの充電のサイクルを作ります。

《参考》

【港北区における要電源医療機器利用者の推定人数 (※)】

- ・人工呼吸器利用者数 推定 50 人
- ・自動腹膜装置利用者数 推定 10 人

※要電源医療機器利用者が、必ずしも障害者手帳等の行政サービスを利用しているわけではないため、区役所による対象者の把握は困難です。そのため、健康福祉局の要電源医療機器利用者登録制度を活用し、協力企業とのマッチングを行っています。

局事業

[健康福祉局事業]

- ・横浜市要電源障害児者等災害時電源確保支援事業
災害等による停電時の備えとして、電源が必要な医療機器を在宅で使用している方に対し、市民税所得割額等に応じて、蓄電池等の非常用電源装置の給付を行います。

- ・横浜市災害時要電源障害児者等登録制度

電源が必要な医療機器を在宅で使用している方のうち、災害時（発災前を含む）に支援が必要な方を把握することで、災害対策検討、広報、情報発信等、様々な施策に活用していくことを目的とした登録制度。

1-(4) 港北AAA(安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(4) 港北AAA(安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	1,082千円	497千円	45.9%
地域振興課			

【事業の概要】

自治会町内会による防犯活動の物品配布やメールでの区内犯罪発生情報の発信、各団体と連携した特殊詐欺啓発物品の積極的な配布、闇バイト及び特殊詐欺に向けた注意喚起、子どもに向けた防犯啓発など、区民の防犯活動支援と犯罪情報提供を実施しています。

また、令和7年度に新設された自治会町内会向けの「地域の防犯力向上緊急補助金」について積極的に周知・啓発を行い、制度の利用促進及び活用の支援を行っています。

【主な内容】

1 防犯情報メールの配信事業 【(7)110千円、(6)132千円】

防犯情報メールの登録者へ、特殊詐欺を含む警察からの情報提供があった犯罪発生状況や特殊詐欺警報等を、メール及びFAXで「防犯情報メール」として配信しています。なお、7月から、横浜市メーリングシステムを活用したメール配信に変更しました。

【防犯情報メール登録者数】

年度	3年度末	4年度末	5年度末	6年度末	7年度 (7月末)
延べ登録者数	11,250人	11,569人	11,778人	11,964人	12,045人

2 防犯啓発活動事業 【(7)472千円、(6)450千円】

(1) 防犯パトロール関連物品等の作製・配付

「のぼり旗」や「ベスト」等、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作製、配付し、地域の防犯活動を支援しています。また、学校等を通じて、子ども向け防犯啓発授業を実施する等、子どもへの防犯活動にも取り組みます。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた区職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で巡回し、放送による防犯啓発を行っています。子どもの下校時間に合わせた見守りを行うとともに、警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々の状況に合わせた注意を放送で呼び掛けています。



【青色防犯灯装備車によるパトロール】



【防犯のぼり】

(3) 港北AAA(安全で安心な明日を) 作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や港北企業防犯協会等の防犯関係団体、地域、学校、事業者による「港北AAA作戦会議」を画面開催しました（6月）。

(4) 港北区安心・安全のつどいの開催

交通安全功労者表彰等と併せて、防犯功労者表彰や防犯講話を公会堂で実施します（12月）。

3 特殊詐欺対策機器設置啓発事業 【(7) 500千円、(6) 500千円】

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、特殊詐欺対策に有効な迷惑電話防止機能付き電話機について広報を行い、各家庭での電話機設置を促します。また、警察や郵便局、民間企業と連携し、巡回訪問時に啓発グッズを配布してもらうなど、様々な機会をとらえて特殊詐欺防止の啓発を実施しています。

(啓発キャンペーン実施場所：港北区役所、日吉地区センター、城郷小机地区センター、港北図書館、新田地区センター（チラシ配架のみ）)



【港北区役所での啓発キャンペーン】



【啓発グッズ】

[市民局再配当予算]

・地域防犯啓発事業 【(7) 90千円、(6) 90千円】

「子ども110番の家」にご協力いただけるご家庭へ、区内小学校を通じて配付するプレートを作製します。

[局事業] [市民局事業]

・地域の防犯力向上緊急対策事業

【対象団体】自治会町内会、地区連合町内会

【補助対象】自治会町内会等が、地域の防犯力向上に向け実施する公益的な取組

（例）防犯パトロール実施・防犯用品購入経費、

センサーライト等防犯設備機器の整備費 防犯講座の開催経費 等

《参考》【港北区内犯罪発生状況（暦年）】

年	3年	4年	5年	6年	7年 (1月～5月)
犯罪発生件数	1,215件	1,426件	1,728件	1,691件	691件
特殊詐欺	58件	105件	84件	66件	35件
同被害額	1億4,345万円	1億8,532万円	約1億6,950万円	約1億8,970万円	約8,448万円

1－(5) 交通安全 無事故でカエル事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1－(5) 交通安全 無事故でカエル事業	4,940千円	1,349千円	27.3%
地域振興課			

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力し、啓発活動を行います。特に、高齢者や児童を対象に事業を実施します。

【主な内容】

1 児童交通安全対策事業 【(7) 4,305千円、(6) 4,105千円】

- ・ランドセルカバー贈呈式（4月7日 太尾小学校）
- ・「はまっ子交通あんぜん教室」の区内全小学校26校中23校での実施（3校は雨天中止）
低学年向けの歩行者教室、高学年向けの自転車教室を実施しました。
雨天中止の学校では、「児童向けはまっ子交通安全教室」動画による啓発を行いました。
- ・区内中学校（毎年1校）で、スタントマンによる交通事故の再現により、その恐ろしさや交通ルールの大切さを学ぶ体験式（スケアード・ストレイト方式）の交通安全教室を実施します（12月4日）。
- ・交通安全ポスターコンクールの開催（8～9月募集）と表彰（12月3日）
各小学校児童からの応募作品の中から優秀賞12作品を選定し、翌年の交通安全カレンダーに使用します。
- ・区内スクールゾーン対策協議会への助成金交付
- ・スクールゾーン路面標示及びスクールゾーン電柱看板等の更新、設置



【ランドセルカバー贈呈式】



【はまっ子交通あんぜん教室】



【交通安全カレンダー】



【スクールゾーン路面標示】



【スクールゾーン電柱巻】

2 交通安全運動事業 【(7) 333千円、(6) 633千円】

(1) 各種交通安全キャンペーンの実施

交通安全各種団体と連携し、各種交通安全キャンペーンを実施しています。

- ・春の全国交通安全運動キャンペーン（4月4日 新横浜 61名参加）
- ・夏の交通事故防止運動キャンペーン（7月11日 日吉 61名参加）
- ・秋の全国交通安全運動キャンペーン（9月21日 トレッサ横浜）
- ・年末の交通事故防止運動キャンペーン
- ・その他、自転車・二輪車に関するキャンペーンの実施等



【各種交通安全キャンペーン】

(2) 「安全・安心のつどい」の開催

防犯活動功労者伝達式等と併せて、交通安全功労者表彰、ポスターコンクール入賞者表彰、交通安全講話等を行います（12月3日）。

(3) 区内イベントでの交通安全啓発

区内で開催されるまつりなどの各種イベントに参加し（出店等含む）交通安全の啓発を実施します。

3 高齢者交通安全対策事業 【(7) 200千円、(6) 100千円】

高齢化が進む中、高齢者が関係する交通事故の防止に向け、警察や交通安全対策協議会と連携した取組を行います。

(1) 高齢者交通安全教室の開催（ドライビングスクールでの体験型交通安全教室）

65歳以上の参加希望者に対し、高齢者交通安全教室を菊名ドライビングスクールや日吉自動車学校等で実施します。

- ・高齢ドライバーの運転実技講習
- ・衝突・巻き込み実験
- ・サポートカー試乗による安全運転講習の実施

【参加者の推移】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
参加者数 (実数)	中止	中止	19人	11人	11人

(2) シルバーウォークラリーの開催

警察署と連携し、道路の歩き方等の指導や目的地までのウォーキング及び身体機能テストを含む交通安全講話を実施しています（4月10日、9月）。※雨天時は室内で交通安全教室を実施。

【参加者の推移】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (4月時点)
参加者数 (実数)	中止	23人	33人	33人	21人



【シルバーウォークラリー】

(3) 高齢者施設等での啓発

高齢者施設（通所施設）等にて、免許返納の推進や自転車の乗り方を含めた交通安全の啓発活動を行います。

4 子育て関連施設交通安全対策事業 【(7) 100千円、(6) 100千円】

子育て施設の安全対策として、新規に開園する保育所や幼稚園などの施設周辺に、施設の存在を知らせ、子どもの飛出しに対する注意を促す電柱巻看板を設置しています（新規2件、更新5件）。



【電柱巻看板】

1 - (6) 放置自転車対策事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1 - (6) 放置自転車対策事業	480千円	300千円	62.5%
地域振興課			

【事業の概要】

駅前における歩行者の安全を確保するため、各駅自転車等放置防止推進協議会の活動やキャンペーン活動を支援し、自転車等の放置防止を促します。

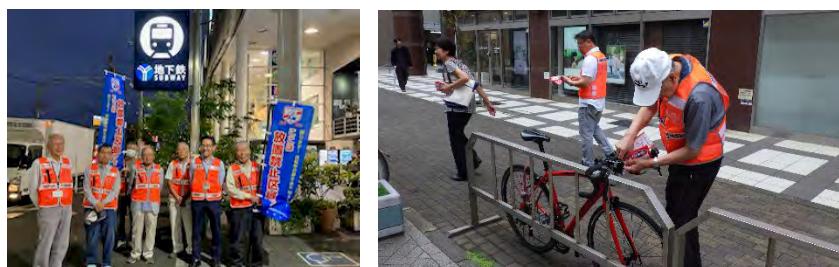
【主な内容】

1 地域活動事業 【(7) 480千円、(6)480千円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成（10協議会）するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、各駅の状況に応じ、協議会の活動を支援しています（通年）。

また、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、区内の各協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会」を開催します。

自転車等の放置を防止するため、駐輪禁止区域内であることが視覚的にわかるよう、看板等を設置しています（通年）。



【放置自転車クリーンキャンペーン】

【区内全駅の1日における放置台数（合計）】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
放置台数	365	214	330	181	352
駐輪場台数	19,981	20,039	19,461	20,036	20,425

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋

（11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数）

局事業 [道路局事業]

- ・自転車マナーアップ事業
- 自転車等対策指導員による啓発業務

1-(7) 快適な暮らしの衛生応援事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(7) 快適な暮らしの衛生応援事業	1,166千円	238千円	20.4%
生活衛生課			

【事業の概要】

区民等からの食中毒、衛生害虫及びペットに関する相談に対し、原因調査や関係者への助言指導等を行うとともに、区ホームページやSNSを積極的に活用し、食品衛生、環境衛生及び動物愛護に関する知識の普及啓発を行い、区民の安全で快適な暮らしを支援します。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策事業 【(7) 464千円、(6) 479千円】

イラストや動画のURLを掲載したSNSを発信し、区ホームページに誘導して食中毒・感染症予防啓発を推進します。更に、啓発効果を高めるため、引き続き、Youtube動画広告を掲載するほか、新たな取組として、駅等のデジタルサイネージを活用します。

【食中毒・感染症発生件数】

暦年		3年	4年	5年	6年	7年 (7月末)
食中毒	件数	2件	2件	0件	3件	0件
	患者数	7人	4人	0人	16人	0人
感染症*	件数	35件	43件	41件	33件	29件
	患者数	274人	202人	731人	468人	443人

*ノロウイルス、腸管出血性大腸菌等

2 住まいの衛生及びペットに関する相談・啓発事業《拡充》 【(7) 702千円、(6) 515千円】

衛生害虫やペットのマナー等の相談受付及び災害時ペット対策の啓発を推進しています。

- ・ハチ、ねずみ等衛生害虫に関する相談受付（通年）
- ・ペットの適正飼育に関する相談受付、啓発・指導（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発（4月4回実施）
- ・地域防災拠点運営委員会等へのペット対策啓発、Youtube動画広告掲載（5月～12月）

【衛生害虫・ペット関係の相談件数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
衛生害虫	516件	496件	378件	434件	155件
ペット	154件	126件	120件	127件	46件



【マナー・防災に関する啓発資料、動画】



【ペットのマナー・防災対策教室】

2-(1) 「ひっとプラン港北」推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(1) 「ひっとプラン港北」 推進事業	1,768千円	251千円	14.2%
福祉保健課			

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「港北区地域福祉保健計画」(以下「ひっとプラン港北」という。)の第4期(計画期間:3年度～7年度)区計画を推進するとともに、13地区で策定した地区計画の推進を支援し、助け合い支え合いのある、安心して暮らせるまちを目指します。

7年度は、第4期「ひっとプラン港北」の最終年度となります。第4期計画を推進するとともに、5年度に実施した区民意識調査、6年度に実施した検討部会、区計画、地区計画の策定・推進委員会等区民の意見、新たに定められた第5期横浜市地域福祉保健計画を踏まえ、第5期計画を策定します。

【主な内容】

1 ひっとプラン港北推進事業《拡充》 【(7) 1,768千円、(6) 1,289千円】

(1) 第5期計画策定

- ・「ひっとプラン港北」策定推進会議を開催します(7月16日・1月14日)。
- ・素案(区計画・地区計画)を作成しました(7月)。
- ・視覚障害者の方向けに、音声読み上げに対応した素案のテキスト版概要を作成しました(7月)。
- ・素案(区計画・地区計画)の意見募集を実施しています(8月29日～9月30日)。
- ・本冊子・概要版の印刷製本を行います(2月)。

(2) 第4期区計画推進

- ・「ひっとプラン港北」担当職員向け研修を実施しました(5月19日)。
- ・各地区計画 策定推進委員会等の支援を行っています(随時)。



【「ひっとプラン港北」策定推進会議】

[健康福祉局再配当予算]

- ・計画素案の意見募集、本冊子の作成、印刷製本(概要版、詳細版、地区計画)

(3) 計画周知・啓発

- 「ひっとプラン港北」地区計画に関する情報を発信します（2月）。



【地区計画ニュース表面 (13 地区作成)】



【地区計画ニュース裏面 (共通)】

地区計画



連携して取組

- 小・中学校や地域団体への出前講座を開催します（通年）。



【日吉台小学校におけるひっとプラン港北の授業】

区計画

- 区民フォーラムを開催します（1回）。

【令和6年度 区民フォーラム 蝶野正洋氏講演会
(防災講演会と合同開催)】

- 普及啓発のための物品を作成、配布し、ひっとプラン港北の啓発を行います。（通年）

2-(2) 地域子育てサポート事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(2) 地域子育てサポート事業 こども家庭支援課	8,894千円	4,729千円	53.2%

【事業の概要】

全ての妊娠婦とそのパートナー及び子育て中の保護者が妊娠中から子育てのイメージを持ち、子育ての不安を軽減して、安心して子どもを産み育てることができるよう、地域両親教室や子育てひろばの体験券の配付、赤ちゃん会の開催などにより、子育てしやすい環境を充実させます。

【主な内容】

1 「にんしん・あんしん・つながり」事業 《拡充》 【(7) 1,852千円、(6) 1,345千円】

- ・身近な場所で子育ての相談や交流ができる「親と子のつどいの広場」の利用促進のため、妊娠婦や転入者を対象に体験券を配付するとともに、体験内容を見直し、広場の体験と説明及び地域の子育て情報の提供を組み合わせた初回利用プログラムを提供しています。
- ・土曜日を中心に「親と子のつどいの広場」でマタニティプログラム※を実施しています（5か所、各年4回以上）。

※マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流・沐浴などの子育て体験等

- ・港北区内各所において実施する両親教室等の妊娠期プログラムの情報を一元化したリーフレットを作成、配布し、身近な地域の居場所や区民利用施設で利用できる妊娠期プログラムを案内しています。
- ・パマトコ等を活用し、妊娠期プログラムの広報を行っています。

【マタニティプログラム実施施設数・実施回数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
実施施設数	6施設	6施設	4施設	5施設	5施設
実施回数	84回	81回	66回	60回	8回

【親と子のつどいの広場の利用体験券配付枚数・利用延べ件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度(7月末)
体験券配付枚数	4,747枚	4,257枚	4,082枚	1,201枚
利用延べ件数	159件	229件	257件	80件

※4年度から利用体験券配付を実施

《参考》

令和元年度から3年度は、区役所窓口でつどいの広場でのプレゼント交換チケットを配付しました。

年度	元年度	2年度	3年度
チケット配付枚数	500枚	1,718枚	1,565枚
プレゼント交換数	56個	187個	409個

《参考》

局事業 [こども青少年局事業]

- ・親と子のつどいの広場事業

主に0～3歳の未就学児とその保護者を対象に、利用者同士の交流やつどいの場の提供、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施しています。

2 地域両親教室事業 【(7) 1,000千円、(6) 1,000千円】

妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくり及び仲間づくりのため、第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、パートナーも参加しやすい土曜日、日曜日に地域子育て支援拠点、地域ケアプラザで両親教室を実施しています。また、オンライン両親教室も実施しています（年60回、うち、土曜両親教室（対面開催）38回、日曜両親教室（対面開催）6回、オンライン両親教室16回）。（土曜両親教室12回実施、日曜両親教室1回実施、オンライン両親教室5回実施）

【実施回数・参加人数】

土曜・日曜両親教室（対面開催）

年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
実施回数	36回	36回	36回	<u>13回</u>
延べ人数	980人	1,116人	1162人	<u>214人</u>

オンライン両親教室

年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
実施回数	24回	23回	21回	<u>5回</u>
延べ人数	384人	259人	220人	<u>32人</u>

※4年度から事業開始

[こども青少年局再配当予算]

- ・両親教室

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、区役所において、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を実施しています。

3 みんなの両親教室事業 【(7)102千円、(6) 102千円】

これまでの両親教室の対象者（第1子を妊娠している妊婦とそのパートナー）だけでなく、より多様な方を対象に、出産・子育てに向けた心構えや準備について学ぶ教室を、地域子育て支援拠点で実施しています。

- ・これから父親になる方向け：年3回（土曜日）(5月17日)
- ・第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け：年6回（平日）
(5月24日、7月25日)

【実施回数・参加人数】

年度		5年度	6年度	7年度 (7月末)
これから父親に なる方向け	実施回数	4回	4回	<u>1回</u>
	延べ人数	21人	23人	<u>13人</u>
第2子以降	実施回数	5回	5回	<u>2回</u>
	延べ人数	15人	28人	9人

※5年度から事業開始

4 地域育児教室（赤ちゃん会）【(7) 1,957千円、(6) 1,928千円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館やケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施しています（全24会場、年240回、各会場月1回（8月と1月を除く））。

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
開催回数	226回	229回	240回	240回	<u>96回</u>
実人数	2,209人	2,380人	2,313人	2,307人	<u>1,043人</u>
延べ人数	5,579人	6,661人	6,428人	6,373人	<u>2,187人</u>

5 母乳育児相談 【(7) 279千円、(6) 219千円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しています（月2回 全24回）。

【母乳育児相談参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
開催回数	24回	24回	24回	24回	<u>8回</u>
実人数	80人	100人	111人	102人	<u>31人</u>

《参考》**局事業 [こども青少年局事業]**

- ・横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしています。

6 歯つらつ歯みがき教室 【(7) 773千円、(6) 746千円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や歯みがきの実習の教室を実施しています。

- 年48回 ①歯みがきをこれから開始する方向け 年24回
 ②歯みがきをすでに開始している方向け 年24回
 (①②とも午前・午後各1回、1月当たり1日で計4回実施)

【歯みがき教室参加者数（児・保護者の合計数）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
開催回数 (定員)	24回 (240組)	36回 (360組)	48回 (360組)	48回 (720組)	<u>16回</u> <u>(240組)</u>
実人数	365人	397人	523人	596人	<u>198人</u>

※2年度は新型コロナウイルスの影響で8月から再開

[こども青少年局再配当予算]**・乳幼児歯科相談**

乳幼児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や個別歯みがき指導を実施しています。

7 「窓口対応満足度」向上事業 【(7) 2,931千円、(6) 2,837千円】

区役所に来所した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口に案内員を配置しています。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、お子さんを預かる保育協力者を配置しています。

2-(3) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(3) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業	3,484千円	2,735千円	78.5%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

養育環境に課題のある子育て家庭、児童虐待、DVなど、困難な状況にある方々が、見通しを持ち安心して生活していくよう支援するとともに、それを支える地域づくり及び関係機関の連携の推進等に取り組みます。

【主な内容】

1 児童虐待防止対策事業【(7) 1,084千円、(6) 0千円※】

(※R6「地域子育てサポート事業」の「児童虐待防止対策事業」1,392千円)

(1) 区民向けの児童虐待防止啓発

児童虐待防止について広く区民に啓発するため、啓発グッズの配布やふるさと港北ふれあいまつりでの啓発活動を実施します。

また、区民向けの児童虐待防止啓発講演会を実施します（12月22日「こどものゲーム・ネット依存」）。

【啓発グッズ】

- ・缶バッジ（1,000個）、ボールペン（1,000本）、シール（1,000枚）、クリアファイル（3,000枚）

【講演会のテーマ及び参加者数】

年度	テーマ	参加者数
2年度※1	一	一
3年度※2	しつけを通して考える子どもを伸ばす関わり方	24人
4年度	①小学生になったこどもへの声かけ ②思春期に入るお子さんとの関わり方	85人 (①47人) (②38人)
5年度	こどものしつけってどうすればよいの？	63人
6年度	こどもに届くほめ方・しかり方	52人

※1 2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※2 3年度はオンラインでの開催

(2) 保護者向けの児童虐待予防啓発《拡充》

児童虐待予防のため、乳幼児期からの切れ目のない支援に向けて、学齢期以降の子を持つ保護者を対象に、グループミーティング（月1回）を実施しています。

また、未就学児の保護者を対象に、体罰によらない子育てについての講座（2回連続講座）を2回に増やして実施しています。

【子育て講座】※R 6年度から開始

(R 6年度)

10月1日、11月2日開催 参加者数 20人（定員20人）

(R 7年度)「①ほめ方・しかり方、②保護者のセルフケア」(各回定員20人)

第1回 ①6月10日（参加者数17人）、②7月16日（参加者数16人）

第2回 ①10月31日、②11月20日予定

[こども青少年局再配当予算]

- ・ファミリーサポートクラス（未就学児の子を持つ保護者を対象としたグループミーティング）

支援を必要とする保護者の育児不安の解消を図るため、グループミーティングの手法を活用した支援を実施しています。

【ファミリーサポートクラス参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
回数	12回	12回	12回	12回	4回
実人数	10人	12人	15人	12人	5人
延人数	67人	55人	47人	43人	15人

(3) 港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携

港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携を深めるため、全体会（年1回）、地区ごとのエリア別連絡会（6エリア各年1回）や、学校等との専門機関別連絡会（年4回）を実施しています。

2 女性・児童の権利擁護のための法律相談《新規》【(7) 600千円】

DV被害女性が、見通しを持ち、迅速かつ自信を持って決断・行動できるよう、DV被害や児童虐待等、専門領域に精通した弁護士による相談を実施しています。また、共同親権など多様化することも分野の相談に対応するため、弁護士による職員向け研修を実施しています。

- ・DV弁護士相談：年12回（月1回 各2名、7月末実績4回8名）
- ・弁護士による職員向け研修：年4回（7月末実績 1回20名）

局事業 [こども青少年局事業]

- ・弁護士法律相談事業

区こども家庭支援課や横浜市DV相談支援センターにおける相談支援の中で法的アドバイスが必要な場合、区こども家庭支援課またはこども青少年局こどもの権利擁護課、もしくは横浜市DV相談支援センターの職員から、担当する弁護士へ電話又はFAXによる相談をしています。

3 港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業 【(7) 1,800千円、(6) 1,800千円】

養育支援を要する学齢期の児童を対象に、生活支援専門員の訪問による生活支援、学習支援、登校支援などを実施し、個々の児童がさまざまな体験を通じて成長する機会を提供しています。

【港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業利用者数】(実利用実績)

年度	4年度	5年度	6年度	<u>7年度 (7月末)</u>
実人数	3人	4人	9人	<u>3人</u>
回数	29回	44回	87回	<u>11回</u>

※4年度から事業開始

(1) 生活支援

生活支援専門員が自宅を訪問し、児童及び家庭の課題に合わせた個別の関わりの中で、生活能力の獲得に向けた多様かつ実践的な支援を行っています。

(2) 学習支援

学習環境が整わないなどの理由から、家庭学習の習慣が身についていない児童に対して、自主的に学習に取り組んでいく姿勢を育む支援を行っています。

(3) 登校支援および児童が安心して過ごせる居場所利用等に繋げる支援

不登校の児童に対し、個別に自宅を訪問し、学校への同行など登校支援を行っています。

また、寄り添い型生活支援事業や寄り添い型学習支援事業等、集団参加の場や、さまざまな学習体験の場を利用できるよう支援を進めています。

[こども青少年局再配当予算]

・寄り添い型生活支援事業

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身につけ、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しています。

2-(4) 保育所支援・情報提供事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(4) 保育所支援・情報提供事業 こども家庭支援課	2,808千円	642千円	22.9%

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育の質の確保・向上につながる取組を実施します。また、保育所等の情報を掲載した区独自の利用案内を作成・活用し、保育所利用に関する制度について情報を発信します。

【主な内容】

1 保育の質確保・向上事業 【(7) 1,200千円、(6) 1,200千円】

配慮の必要な子どもとの関わりや、保護者との関わり、職場状況等の課題を解決する一助として、民間の保育所等を対象に臨床心理士等を派遣し、保育士のメンタルヘルスケアや職場環境などについて助言を行っています。

- ・実施時期：5月～2月
- ・対応方法：訪問、オンライン・電話による対応
- ・相談体制：臨床心理士、子どもの発達支援の業務経験者、保育施設の施設長経験者、保育施設の職場環境改善相談対応経験者等
- ・実施状況（7月末）：訪問2回、オンライン・電話0回

2 保育所等情報提供事業 【(7) 1,103千円、(6) 1,235千円】

区内の認可保育所や認可外保育所等の情報をわかりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作成しており、10月から配付予定です。

- ・配布場所：区役所、行政サービスコーナー（新横浜・日吉）
港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ・どろっぷサテライト」の計5か所の他
区内認可保育所等にて配布
- ・発行部数：8,000部

【港北区版利用案内の発行部数】

年度	4年度	5年度	6年度
実数	9,000部	10,000部	10,000部

3 民間園向け研修事業 【(7) 135千円、(6) 135千円】

保育の質の確保や保育の充実を目的とした研修を、保育・教育施設長会の開催にあわせて、外部講師を招き実施しています。

開催日	内容	参加園数
6月24日	保育園における防災力向上～施設長の立場から考える～	110園
10月16日	調整中	
令和8年2月	未定	

【民間園向け研修事業への参加園数】

年度	4年度	5年度	6年度	<u>7年度 (7月末)</u>
延べ数	274園	233園	279園	110園

4 保育所等による子育て支援促進事業 【(7) 370千円、(6) 0円※】

(※R6「地域子育てサポート事業」の「『保育所等による子育て支援』事業」370千円)

保育所が行う子育て世帯に対する育児支援を促進するため、区内市立・私立保育所が連携し、親子が一緒に参加して楽しめる「にこにこ広場」を開催しています。

- ・実施回数：7回
- ・実施内容：お楽しみシアター、手作りおもちゃ、手形スタンプ、身体測定、フォトスポット、育児相談など

【令和7年度実施日程】

菊名コミュニティハウス	6月26日 (46人)
日吉本町地域ケアプラザ	7月8日 (122人)
イオン横浜新吉田店	7月11日 (56人)
大豆戸地域ケアプラザ	9月4日
樽町地域ケアプラザ	10月30日
日吉宮前公会堂	11月5日
篠原地域ケアプラザ	11月19日



【にこにこ広場（菊名コミュニティハウス）】

【にこにこ広場参加者数】

年度	4年度	5年度	6年度	<u>7年度 (7月末)</u>
実人数	321人	347人	337人	224人

2-(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370千円	64千円	17.3%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

放課後児童健全育成事業所の運営体制の強化等を図るため、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ（以下「クラブ」という。）の職員を対象に研修を実施し、職員の能力向上に繋げます。研修では、講義やグループワーク等を通じて、日ごろ顔をあわせる機会の少ない各クラブ職員に交流・情報交換の場を提供することで、クラブ間の連携強化も促進します。

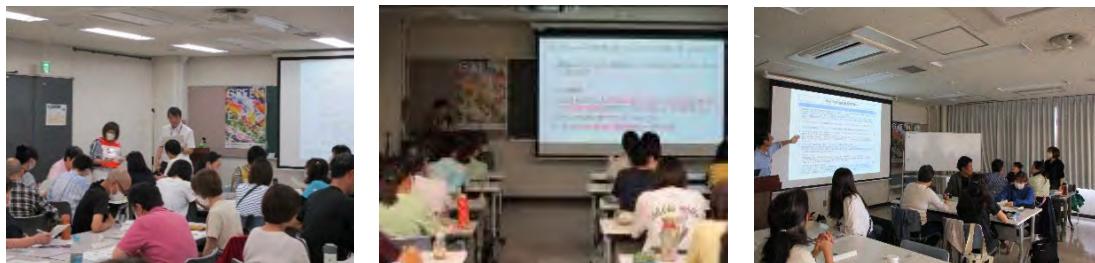
また、クラブの利用を検討している児童と保護者の皆様のクラブ選びを支援するため、クラブの写真や特色等の情報を集約した紹介冊子（電子媒体）を通じて、クラブ情報の周知を図ります。

【主な内容】

1 クラブ職員研修事業 【(7) 203千円、(6) 245千円】

クラブ職員を対象に、ニーズを踏まえたテーマで研修を実施しています。

研修テーマ	内 容	実人数	実施時期
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	39人	6月18日
障害児対応	障害のある児童、配慮を要する児童等への対応	定員 各35人	9月 ～12月 (適宜)
保護者との信頼関係の構築			
発達理解	児童の発達段階、年齢に応じた関わり方		



【研修会の様子（左：防災、中央：障害児対応、右：保護者との信頼関係の構築）】

2 クラブ情報提供事業 【(7) 167千円、(6) 125千円】

区ウェブサイトで公開しているクラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」（電子媒体）の案内やQRコード等を掲載したちらしを作成し、就学時検診等の際に配布します。

- 対象経費：ちらし印刷及び配送、紹介冊子の更新
- 配 布 数：ちらし5,000枚



【クラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」】

2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(6) 高齢者・障害者支え合い 推進事業	3,238千円	798千円	24.6%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

誰もが安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者等への理解を深める啓発や関係者への支援を行うとともに、「港北MMダンス（港北区フレイル予防体操）」を活用し、早期からフレイル予防に取り組む必要性を啓発します。また、区役所窓口での来庁者へのサポートを実施します。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【(7) 808千円 (6) 1,161千円】

健康福祉局・医療局からの再配当予算事業と一体的に事業を行い、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みます。

(1) 高齢者の社会参加の促進

ア 高齢者の社会参加促進を目的として、港北区の高齢者向け地域活動（サロン、趣味活動の場、生活支援等）情報の冊子「きょういく・きょうようガイド」を更新・配布します。実際の活動例等から高齢者の社会参加の動機付けを行い、高齢者が身近な場所でやりがいを感じながら地域活動ができるよう普及啓発を進めます。

(2) ネットワークの構築を踏まえた人材育成

ア 地域包括ケアシステムの構築に有効な手法である地域ケア会議※1を効果的に開催できるよう、地域ケアプラザを対象とした「支援者向け研修」を実施しました（6/20、14名）。また、医療・介護・地域組織等の代表者を構成員とする「区レベル地域ケア会議」を開催し、区域で共通する課題に対する取組や支援ネットワークを検討します（11/12予定）。

※1 地域ケア会議：多職種協働による個別事例の検討等を通じて、個別課題の解決、支援ネットワーク構築、地域課題の共有、地域のネットワーク構築・しくみづくりを図る会議

イ 認知症キャラバン・メイト（認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師）の情報共有等のために、つどいの場を開催しました（8月29日）。

ウ 認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になんでも、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」のパンフレットを改訂し、普及啓発を進めます。

エ 各種事業等取組に関する情報が各世代に伝わるよう、様々な媒体を活用した情報発信と周知を行います。＊ふれあいまつりブース出展（11月）

オ 「港北MMダンス※2（港北区オリジナルフレイル予防体操）」の啓発を通じて、無関心層にもフレイル予防の普及啓発を行い、フレイル予防に取り組む高齢者を増やすとともに、地域活動に参加する機会を創出します（座位編リーフレット作成）。

※2 港北MMダンス：フレイル予防を幅広く啓発することを目的に、R6年度に横浜F・マリノス、及び横浜市総合リハビリテーションセンターの協力を得て作成した、港北区オリジナルのフレイル予防体操。「みんなでやってみた編」と「実践編（座位・立位編）」をYouTubeで動画配信しています。

（港北区は、横浜F・マリノスと「港北区におけるホームタウン活動の協力協定」を締結し、港北区の魅力向上と地域活性化に資する活動を推進しています。）



[かえるネットパンフレット]

[QRコード]

【「きょういく・きょうようガイド」
地域活動・社会参加促進リーフレット】

【港北MMダンス（港北区オリジナルフレイル予防体操）
リーフレット：立位編、座位編】

《参考》港北区における高齢者の状況

年度(3月末)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
65歳以上人口	69,880人	70,289人	70,730人	71,222人 (市内4位)	71,903人 (市内3位)
高齢化率	19.9%	20.0%	19.9%	20.0%	20.0%
認知症高齢者数※	6,764人	6,263人	6,696人	7,725人	7,902人
要介護認定者数(1号)	12,840人	13,189人	13,297人	13,778人	14,172人

※要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数

【健康福祉局再配当予算】

- ・介護予防関連事業
 - フレイル予防の普及啓発(講演会等)
 - 介護予防人材育成、地域の活動への専門職の派遣
 - 元気づくりステーションの活動・立ち上げ支援
- ・ケアマネジメント推進事業
- ・認知症関連事業
 - 区民を対象とする認知症講演会等の実施
 - 認知症家族のための介護者セミナー
- ・虐待予防関連事業
 - 介護サービス従事者等向けの虐待防止研修会
 - 虐待防止のためのネットワーク、ミーティング開催等

【医療局再配当予算】

- ・医療介護関連事業、在宅医療・介護を担う人材育成研修

港北区地域包括ケアシステムの
めざす姿

- は はなれて暮らす家族も安心
- な なかよく、人のつながりを大事にしよう
- み みんなが自分事のように考えて輝こう
- す 好きな家で、できる限り過ごせる
- き 気遣い・支え合いのあるまち 港北

はなみすきは、港北区の「木」です。平成3年に区民の一般公募で決定しました。若々しくモダンな印象が好まれました。



2 障害者支援事業 【(7) 837千円、(6) 807千円】

(1) 支援者向け研修

港北区地域自立支援協議会※において、障害者虐待防止、支援機関の連携強化及び支援技術向上のための研修会等を企画・開催します。

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います（障害者総合支援法89条の3）。

【研修内容（予定）】

時期	実施テーマ	部会
9月	施設従事者等による虐待防止について（研修）	全体会議
11月	防災について（研修）	地域で暮らす部会
年6回	グループスーパーバイジョンについて（講義、グループワーク）	相談支援部会

(2) 講演会・啓発イベントの実施

ア 障害理解の啓発イベント

港北区地域自立支援協議会、港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会との連携により、障害理解の啓発イベントを区民向けに実施します。

【過年度実績】

年度	内容	参加者数
4年度	映画「だってしょうがないじゃない」上映会	111人
5年度	映画「星に語りて」上映会	128人
6年度	映画「梅切らぬバカ」上映会	222人
7年度	映画上映会（タイトル未定）	定員500人

※4年度から実施（会場：港北公会堂）

イ 精神保健福祉に関する講演会

メンタルヘルス（心の健康）の大切さや障害の理解を目的として、区民向けに講演会等を実施します。

【講演会テーマ】

年度	テーマ	参加者数
2年度	（新型コロナウイルスの影響により中止）	—
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	メンタルヘルスの回復とは ～ピアサポートとリカバリーについて考える～	54人
5年度	生きづらさを抱える本人と家族の体験談 ～まもろうよこころ私たちが気づいて、できることって何だろう～	39人
6年度 ※	親亡きあとも安心して精神障害者が地域で暮らすため の社会資源～医療×保健×福祉～（局予算で実施）	40人

(3) 健康講座等の開催

自身の健康についての理解を促進するため、作業所の利用者等に向けて健康講座等を開催します。

【健康講座実績】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
実施回数	1回	1回	1回	4回	4回
参加者数	13人	11人	14人	74人	45人

(4) 港北区精神障害者等生活体験事業

一人暮らし経験のない障害者が、実際の一人暮らしと同じ環境での生活体験を通じて、地域生活の具体的なイメージを持つための支援を行います。

内 容：一人暮らし用の民間賃貸物件にて、見学や家事等の一時体験を実施します。

対象者：港北区在住の18歳以上の障害者

(6年度：見学3名、日中体験1人、宿泊3名)

(5年度：見学3人、日中体験2人、宿泊0名) ※5年度に事業開始

[健康福祉局再配当予算]

- 精神障害者の生活教室事業

精神障害者の対人関係の改善や社会生活への適応促進等を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施します。

- 難病相談事業

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送ることができるよう、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施します。

《参考》港北区における障害者の状況

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
身体障害者 手帳所持者数	7,391人	7,379人	7,294人	7,231人	7,221人
精神保健福祉 手帳所持者数	2,909人	3,151人	3,413人	3,657人	3,952人
「愛の手帳」 所持者数	2,400人	2,494人	2,603人	2,713人	2,832人
合計	12,700人	13,024人	13,310人	13,601人	14,005人

※手帳所持者数の統計情報は年度末時点のみ

3 窓口サポート事業 【(7) 1,593千円、(6) 1,557千円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続き支援や案内を行います。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件数	1,621 件	1,413 件	1,738 件	3,393 件	2,281 件

《参考》港北区における福祉保健相談窓口の相談件数

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件数	14,925件	16,897件	17,717件	17,899件	18,300件

2-(7) 食育推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(7) 食育推進事業	1,889千円	1,452千円	76.9%
福祉保健課			

【事業の概要】

子どもの成長段階に応じて、離乳食手帳等の配付や離乳食教室等を実施するとともに、個別相談で一人ひとりの状況に応じた支援を行い、子どものより良い成長につながるよう食育を推進します。

また、食に関する疑問や不安を抱える保護者を地域の身近な場でも支援できるよう、地域の支援者の人材育成を行います。

【主な内容】

1 離乳食手帳及びチラシの配付（離乳初期） 【(7) 311千円、(6) 270千円】

離乳食の基礎知識を保護者が学び、子どもの成長記録を残せるよう、離乳食手帳をリニューアルし、4か月児健診時に離乳食教室の案内チラシと合わせて配付しています。離乳食教室の案内チラシには、保護者に向けてバランスの良い食事についても掲載し、家族で良い生活習慣を身につけるきっかけを作っています。

- 作成部数：離乳食手帳 4,500部、離乳食教室案内チラシ 3,500部



【離乳食手帳】



【離乳食教室案内チラシ】

2 離乳食教室 【(7) 805千円、(6) 931千円】

7～8か月児とその保護者を対象に、安心して離乳を進めていくため、離乳食教室を実施します。教室では、保護者自身が自宅で再現しやすいように離乳食の一口量や固さ体験を実施しています。

- 回数：月1～2回、年間20回（予約制）

- 参加予定者数：1回あたり24人、年間480人

- 会場：区役所

- 内容：講話、調理実演、一口量や固さ体験、個別相談

※令和7年度から1回あたりの開催時間を0.5時間延長して指導内容を充実。

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度 ^{※2}	6年度	7年度 (7月末)
実施回数	36回	36回	48回	24回	7回
参加者数 (実人数)	379人	394人	419人	401人	141人
一回あたりの 平均参加者数	10.5人	10.9人	8.7人	16.7人	20.1人

※令和5年度から予約制を開始

3 乳幼児期の食育事業（離乳後期以降）【(7) 430千円、(6) 374千円】

離乳食から幼児食への移行期の食事に関する疑問や不安を解消するため、1歳前後の子どもとその保護者を対象とした「歯つらつ歯みがき教室」において、子どものむし歯予防や歯みがき実習とともに、食育に関するミニ講座及び希望者への個別相談を実施しています。

また、子どもの食事に関する困りごとや悩みの解消がされるよう、1歳6か月児健診受診時に幼児食のフードモデルの展示や健診待ち時間や受診後に立ち寄れる栄養相談ブースを設けています。

【歯つらつ歯みがき教室内での食育】

- ・回数：月1回、年間12回
- ・会場：区役所
- ・内容：1歳前後の食事ミニ講座及び簡易相談

【1歳6か月児健診内での食育】

- ・回数：月3回、年間36回
- ・会場：区役所
- ・内容：フードモデルの展示及び立ち寄り相談

【乳幼児期の食育相談（離乳後期以降）の実施回数及び相談実施人数】

年度	6年度		7年度（7月末）	
	歯つらつ 歯みがき教室	1歳6か月 児健診	歯つらつ 歯みがき教室	1歳6か 月児健診
実施回数	12回	36回	4回	12回
実施人数	226人	941人	65人	262人

4 子どもの個別栄養相談【(7) 166千円、(6) 156千円】

生後5か月以降の子どもとその保護者を対象に、個々の食事に関する不安や負担感の軽減を図るため、子どもの個別栄養相談を実施しています。

- ・回数：月2～3回、年間32回（予約制）
- ・参加予定者数：1回あたり3人（月2～3回のうち1回は倍の6人）、年間132人
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談

【子どもの個別栄養相談の相談者数】(健康福祉局再配当予算と合算)

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
相談者数 (実人數)	103人	108人	106人	110人	<u>33人</u>

[健康福祉局再配当予算]

- ## • 乳幼兒食生活健康相談

0～18歳の子どものその養育者に対して食生活健康相談を実施

5 地域の食育サポーター育成事業 ((7) 177千円、(6) 165千円)

乳幼児期の親子が集まるサロンにおいて来所者の食事に関する個別相談を実施するとともに、相談内容や支援方法等についてサロンの子育て支援従事者と共有し、子育て支援従事者の食に関する正しい知識の啓発を行います。子育てサロン向けに募集し、3か所の子育てサロンと実施の調整をしています。

- ・回数：年間7回
 - ・会場：実施希望のある子育てサロン
 - ・内容：個別相談、子育て支援従事者へのよくある相談内容や対応方法に関する情報共有

【地域の食育センター実施回数】

年度	6年度	7年度 (7月末時点)
実施回数	4回	1回
参加人数	122人	4人



【子育てサロンでの講和】

【案内ちらし】

2-(8) 健康こうほく21事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(8) 健康こうほく21事業	3,351千円	1,306千円	39.0%
福祉保健課			

【事業の概要】

健康寿命の延伸に向けて、若い世代から健康的な生活習慣を身に付けることや生活習慣病を予防することが重要なため、働き・子育て世代に対して生活習慣の改善や意識、行動の変化を促すよう啓発します。

【主な内容】

1 未来に向かう生活習慣改善事業《拡充》 【(7) 2,332千円、(6) 653千円】

忙しく自分の健康づくりがおろそかになりやすい20代～40代の働き子育て世代に対して、健康のための基本的な生活習慣（食事、運動、睡眠）を身に付けてもらうために、若い世代が多く集まる商業施設や区民まつりにおいて、口腔ケアや乳がんの早期発見、バランスの良い食事について啓発イベントを行います。さらに、行動変容のきっかけになりやすい結婚や子育てのタイミングをとらえ、婚姻届の提出や乳幼児健診の来庁者を対象に啓発を行います。

《主な取組内容》

時期	取組	ターゲット	実施内容	場所	延べ参加者数
6/1	歯と口の健康週間イベント	働き子育て世代	口腔ケア啓発	トレッサ横浜	272人
10月	トレッサ横浜健康ウォーキング	働き子育て世代	YWPアプリスタンプラリー	トレッサ横浜	未実施
11/8	ふるさと港北ふれあいまつり	主に30～60代の男女	乳がん早期発見・食生活啓発	横浜アリーナ	未実施
年5回	来庁者への健康測定イベント 7/15, 8/8, 9/9, 10/1, 10/10	主に婚姻届を出しに来た20～30代の男女	健康測定（ベジチェック・骨密度） 生活習慣改善アドバイス	庁舎内2階 戸籍課フロア	7月末 10人
随时	経験談インタビュー動画による啓発	子育て世代	生活習慣を見直した人の経験談	乳幼児健診会場 デジタルサイネージ	36回
随时	健康相談事業でのベジチェック測定	生活習慣病等のハイリスク者	健康測定（ベジチェック・骨密度）	庁舎内	4回
随时	地域行事における健康測定イベント	地域住民	体力測定・ベジチェック測定	各地域行事実施場所	7回



【R7 歯と口の健康習慣イベント】



【R6 トレッサ健康ウォーキング】

2 健康経営支援事業 【(7) 1,019千円、(6) 1,817千円】

働き・子育て世代は一日の大半を職場で過ごしており、事業所が健康経営に取り組み職場環境が改善されることで20～50代の区民の健康増進を図ります。健康経営に取り組んでいない区内事業所に対し、動機付けやきっかけづくりを行い、健康経営の取組へつなげます。

令和7年度は、令和6年度に作成した事業所向けリーフレットの配付先に対してアンケートを実施し、効果測定を行うとともに、区内事業所の健康経営に係るニーズ等を把握することで、アドバイザー派遣等の効果的な健康経営の取組促進を図ります。

・スケジュール

令和7年8月～10月	リーフレット効果測定・ニーズ把握のため事業所アンケート調査 ヒアリング
9月～12月	アドバイザー派遣



【リーフレット：健康経営のススメ(一部抜粋)】

3-(1) 育もう「ふるさと港北」事業

事業名・所管課	7年度予算(A)	7月末執行額	7月末執行率
3-(1) 育もう「ふるさと港北」事業	9,555千円	7,333千円	76.7%
地域振興課			

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供します。

地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携・応援等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールします。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【(7) 5,560千円、(6) 5,560千円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が参加できる「ふるさと港北ふれあいまつり」を開催します（11月8日（土））。また、今年度はGREEN×EXPO2027開催まで500日前という節目を契機に関係機関との連携を一層強化し、事業を実施します。

【6年度実績】（秋のヨコアリくんまつりと合同開催）

- ・来場者数 延べ約28,000人
- ・実施内容
メイン会場行事…ステージイベント13団体、各種ブース出店91団体、抽選会、分会場行事…地区連合町内会が開催する盆踊り大会、健民祭等（7月～）



【令和6年度ふるさと港北ふれあいまつり】

2 大倉山観梅会事業 【(7) 1,150千円、(6) 1,150千円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に補助金を交付し、「大倉山観梅会」を開催します。

- ・実施時期 8年2月21・22日
- ・実施内容 舞踊・三曲演奏・地元団体のステージ・野点・梅酒の販売、GREEN×EXPO2027 PRブース



【令和6年度 大倉山観梅会】

[みどり環境局再配当予算]

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業
観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業 【(7) 1,450千円、(6) 1,450千円】

小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっていることを契機に、小机城址の魅力プロモーションに取り組むことで「ふるさと港北」の意識を育みます。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光及び商店街振興を図るために、小机城址まつり実行委員会に対し、開催を支援しました。

<小机城址まつり概要>

- ・日程 4月13日
- ・内容 雨天中止

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

小机城址を紹介する案内冊子を配布し、港北区の魅力を発信しています。また、動画を活用し、区内小・中学校等での啓発を行うことで地元港北への愛着を深めます。

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、共同でPRしている「北条五代観光推進協議会」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力を発信しています。

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【(7) 525千円、(6) 595千円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、それらの映像などをウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信することで、地域への愛着とふるさと意識を醸成しています。

- ・配信用映像作品の制作、映像作品の活用（通年）
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）

5 まちの魅力発信ショートムービー事業 【(7) 600千円、(6) 600千円】

区の魅力を撮影したショートムービーコンテストを開催し、区の更なる魅力創出を行います。入賞作品は、区のウェブサイト他、様々な媒体を活用し配信を行います（11月～3月）。

6 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【(7) 270千円、(6) 270千円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及び2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」と連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボルとして港北区の魅力を内外にアピールしています。また、ラグビーチームである「横浜キヤノンイーグルス」とも連携して、港北区の地域のスポーツ振興に取り組みます。

- ・横浜F・マリノス、横浜GRITS及び横浜キヤノンイーグルスとのタイアップイベントの実施
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報発信
- ・選手の「一日区長」イベントなどの開催



【マスコットキャラクター
マリノスケ】
@横浜F・マリノス



【マスコットキャラクター
グルーガ】
@横浜GRITS



【マスコットキャラクター
カノンちゃん】
@横浜キヤノンイーグルス



3-(2) 地域スポーツ推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(2) 地域スポーツ推進事業	3,350千円	1,608千円	48.0%
地域振興課			

【事業の概要】

スポーツ活動を行う団体が実施する、広く区民を対象とした事業の開催を支援することで、地域スポーツの活性化を図ります。

また、区内大学と連携して、港北区にゆかりのあるスポーツ、ラグビー競技※1に親しむ機会を小学生へ提供することで、地域スポーツ活動の推進を図ります。

今年度は、新たに港北区に存するスポーツ・リソース※2を活用した事業に取り組みます。また、環境への関心が高まる中、環境と健康増進を融合させた取組を「スポーツ・クリーンアップ事業」として展開します。

※1：日産スタジアム（ラグビーワールドカップ2019™決勝会場、横浜キヤノンイーグルスホームスタジアム）、慶應義塾大学（日本の大学ラグビーのルーツ校）

※2：例《ハード面》 日産スタジアム/日産ウォーターパーク/新横浜公園（スケボー広場）/横浜ラボール/KOSE新横浜スケートセンター 《ソフト面》 港北区ゆかりのスポーツパートナーズ（横浜F・マリノス/横浜GRITS/横浜キヤノンイーグルス）

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【(7) 450千円、(6) 450千円】

<港北区スポーツ振興事業補助金の概要>

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することにより、区内のスポーツの振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
申請団体 (7月末)	8団体

2 港北駅伝大会 【(7) 1,000千円、(6) 1,600千円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図るため、港北駅伝大会実行委員会に補助金を交付し、港北駅伝大会の開催を支援します。



【駅伝大会】

3 活気にあふれるまちづくり

【参加チーム数】

年度	2年度 ^{※1}	3年度 ^{※1}	4年度	5年度 ^{※2}	6年度
チーム数 (参加者数)	中止	中止	154 (913人)	141 (874人)	193 (1,143人)

※1 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止。

※2 5年度は当日の降雨の影響を受けた参加者数。(参考) 申込192チーム《1,167人》

3 大学とのスポーツ連携事業 【(7) 500千円、(6) 500千円】

慶應義塾大学等と連携して、小学校タグラグビー授業へのサポート講師(学生)派遣や、ラグビー・スポーツ体験会を実施することにより、区内のスポーツ活動の推進を図ります。

(1) 小学校タグラグビー授業サポート派遣

区内的小学校(全26校)に希望を募り、慶應義塾大学體育會蹴球部(ラグビー部)の学生を講師として派遣し、タグラグビー授業を実施しています(5月～翌2月)。

【実施実績】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 [※] (7月末)
実施校数	7校	7校	12校	12校	5校

※ 7年度の申込数は13校

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

対象: 小学生

会場: 慶應義塾大学日吉ラグビーグラウンド(6月14日)

【実施実績】

年度	3年度 ^{※1}	4年度	5年度 ^{※2}	6年度	7年度 ^{※3}
参加人数	中止	52人	69人	65人	51人

※1 3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※2 5年度は降雨による参加者減を受け、10月に追加実施した2回の延べ人数

※3 7年度は小雨による参加者減



【小学校タグラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

4 スポーツ・リソース活用事業【(7) 400千円、(6) 0円】《新規》

港北区に存する多くのスポーツ資源を活用したイベントの開催により、区民の皆様に身近なスポーツ施設やプロスポーツ団体等の資源を広く認識していただくことを目的とします。

令和7年度は、市内4箇所のスケートボード公園のうち、最大規模を誇る港北区内のスケートボード施設を活用したイベントを開催します。

<スポーツ・リソースの概要>

イベント規模	各回 60名 合計 120名程度
開催時期	10月4日及び12月6日
実施場所	新横浜公園スケボー広場
対象	港北区内在住または在学の小学生
プログラム内容	スケートボードの体験会、マナー啓発及び プロスケーターによる演技

5 スポーツ・クリーンアップ事業【(7) 1,000千円、(6) 0円】《新規》

区内市街地などにおいて、プロギングイベントを実施します。

※プロギングとはウォーキング及びジョギングとごみ拾いをかけ合わせた、スウェーデン発祥の新しいフィットネスで、老若男女がご自身のペースで楽しめるものになっています。

<スポーツ・クリーンアップの概要>

イベント規模	1回目：20名 2回目 80名
開催時期	1回目：10月19日 2回目：2月7日
開催時間	9時～11時
実施場所	新横浜駅前公園周辺
対象	港北区内に在住・在学・在勤の方
プログラム内容	ウォーキング等を実施しながらのごみ拾い

[統合事業費]

スポーツ推進委員支援事業【(7) 2,500千円、(6) 2,093千円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金

委嘱年度によるユニフォーム購入費増

3-(3) 港北区商店街活性化事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(3) 港北区商店街活性化事業	2,000千円	732千円	36.6%
地域振興課			

【事業の概要】

区内商店街及び商店街店舗の話題提供につながるイベント等の開催を通して、消費者の関心・認知度の向上を図るとともに、商店街の活性化を支援します。

【主な内容】

1 商店街活性化事業《拡充》 【(7) 1,800千円、(6) 1,000千円】

商店街の魅力を再認識できるよう、商店街を利用するきっかけとなるイベント等を開催するほか、デジタルの導入により商店街利用者の利便性向上を図ります。

【参考】令和2年度からスタンプラリーイベント（「こうほくの商店街 ちょいより散歩」）を開催し、商店街の魅力を発信しています。

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」実施概要】

年度	開催期間	参加 商店街数	参加 店舗数	応募者数	参加費
3	12月1日（水）～12月26日（日）	13	92※1	552人※2	無料
4	11月11日（金）～12月4日（日）	13	82	リーフレット5,500部配布 うち抽選応募数179件	無料
5	10月18日（水）～12月17日（日）	11	110	リーフレット8,100部配布 うち抽選応募数381件	無料
6	10月16日（水）～12月15日（日）	10	107	リーフレット7,000部配布 うち抽選応募数607件	無料
7	10月14日（火）～12月14日（日）	10	100	リーフレット7,000部配布 予定	無料

※1：3年度から参加店舗募集を実施。

※2：1つ以上のスタンプを集めた人数。

※参加者の声（6年度イベント参加者アンケートより）

- ・ちょいより散歩で初めて訪れた商店街がありました。
- ・色々なお店を知ることができて良かったです。
- ・去年参加し、楽しかったので今年も参加しました。こうしたイベントが続くと嬉しいです。
- ・色々なところに商店街があるのだと気づかされました。
- ・馴染みの店でも、久しぶりに立ち寄るきっかけができ、良い機会でした。



【令和6年度「こうほくの商店街 ちょいより散歩」イベント冊子】

2 商店街魅力発信事業 【(7) 200千円、(6) 500千円】

商店街の魅力発信を目的に、商店街の店舗を対象としたSNS講座を開催し、商店街自らが情報や魅力を発信できるように支援します。

[経済局再配当予算] 【(7) 1,606千円、(6) 2,657千円】

- ・港北区商店街活性化イベント事業補助金
商店街が主催して行うイベント開催経費に対する補助

(7年度申請団体)

- ・菊名東口商栄会「毘沙門天祭りチャリティー縁日」
- ・つなしまオータムフェスティバル実行委員会「つなしまオータムフェスティバル」
- ・大倉山商店街振興組合「大倉山クリスマス2025」
- ・小机商店街協同組合「夏の大売り出し&盆踊り」
- ・妙蓮寺ニコニコ会「妙蓮寺ニコニコフェス2025」
- ・綱島モール商店会「綱島モール商店街フリーマーケット2025」
- ・メイルロード商店会「メイルロード商店会七夕まつり」
- ・箕輪町商工会「箕輪商工フェア」

3 活気にあふれるまちづくり

3-(4) 地域のチカラ応援事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(4) 地域のチカラ応援事業	3,491千円	1,813千円	51.9%
地域振興課			

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決や魅力づくりに向けた主体的な取組を支援するため、市民公益活動を行う団体に対して、補助金交付や広報支援、活動に対する有識者による助言を行います。

また、交流の場の提供など、団体間の連携促進の取組を行います。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業補助金の交付等 【(7)3,197千円、(6)2,217千円】

(1) 自治会町内会と連携して実施する事業に対する補助金 《新規》

区内で活動実績のある団体が自治会町内会と連携して地域の課題解決や魅力づくりに主体的に取り組む事業を対象に、1団体最長3年間で年度あたり上限30万円の補助金を交付しています。5月7日から公募を開始し、6月末までに4団体の申請を受け付けました。

(2) チャレンジコース（継続分）

区内で活動実績がある団体の更なる公益的事業を対象に、1団体最長5年間で年度あたり上限30万円の補助金を交付します（令和6年度から新規申請募集停止）。

【交付団体数・交付金額】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
団体数	7団体	15団体	17団体	11団体	9団体
金額	1,517千円	2,737千円	2,489千円	2,123千円	1,957千円

(3) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行っています。

【承諾団体数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
団体数	3団体	8団体	3団体	5団体	6団体

[市民局再配当予算] 【(7) 250千円 (6) 500千円】

- ・地域の担い手応援事業（新規申請募集停止）

地域元気づくりコース：継続1事業

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業

1団体最長5年間上限25万円

【交付団体数・交付金額】

地域元気づくり コース	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	団体数	5団体	3団体	2団体	1団体	1団体
	金額	854千円	643千円	430千円	250千円	250千円

2 団体間の連携促進の取組 【(7) 294千円、(6) 294千円】

地域のチカラ応援事業活動補助金申請団体による報告会・市民活動交流会を開催し、有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会※委員）からの助言により団体間の連携を促進します。

また、補助金交付団体以外の活動団体の交流・情報交換についても促進を図ります。

- ・市民活動交流会 (11月)
- ・報告会・市民活動交流会（3月）
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成（5人）。

補助金申請団体の活動に関して助言を行います。



【市民活動交流会（6年度）】

3-(5) 港北オープンファクトリー事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(5) 港北オープンファクトリー事業 区政推進課	677千円	0千円	0%

【事業の概要】

港北区には、市内18区で最多の1,100か所以上の工場があります。「ものづくりの現場が生活の身近なところにある」という区の特徴を生かし、地域の魅力やものづくりの面白さを伝えるため、普段は入ることのできない工場の見学ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を開催します。

【主な内容】

1 港北オープンファクトリー 【(7) 677千円、(6) 572千円】

区内で製造業を営む企業と連携して、工場見学を中心としたイベント「第14回 港北オープンファクトリー」を開催します。



【第13回の様子】

【第13回 リーフレット】

《参考》【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度(回数)	開催日数	協力企業数	延べ参加者数	備考
3年度(第10回)	一	8	468人	区内の小学校の児童を対象にオンライン形式で開催
4年度(第11回)	1日	12	286人	4年ぶりにリアル開催
5年度(第12回)	1日	15	451人	リアル開催では過去最大規模
6年度(第13回)	1日	15	450人	過去最多の申込者数を記録
7年度(第14回) (7月末)	1日	未定	未定	令和8年3月7日開催予定

【第13回 港北オープンファクトリーの協力企業 計15社】

(株)オースズ、(株)キヨーワハーツ、(有)鈴木機械彫刻所、(株)第一鉄製作所、(株)田島精研、(株)宮川製作所、石山ネジ(株)、(株)バネックス、(株)シルファー、(株)東京ダイス、東洋測器(株)、日本軸受加工(株)、(株)ヒートエナジーテック、横浜高周波工業(株)、(株)テクトレージ

[経済局再配当予算]

- ・ものづくり魅力発信事業【(7) 400千円、(6) 400千円】

港北オープンファクトリー開催に係る運営業務委託費として活用します。

3-(6) 芸術文化振興事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(6) 芸術文化振興事業	1,800千円	1,800千円	100%
地域振興課			

【事業の概要】

区内の芸術文化を振興するため、港北芸術祭実行委員会に補助金を交付し、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業や、区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業等の港北芸術祭を開催します。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【(7) 1,800千円、(6) 1,800千円】

(1) 鑑賞型事業

- ・「北川記念ロシア民族楽器オーケストラ特別公演～バラライカ・オーケストラの響き～
(9月28日 港北公会堂)
ロシア民族楽器オーケストラによるロシア音楽・民謡の演奏を実施します。
- ・「心に残るラテンの名曲の数々をあなたに」(1月24日 港北公会堂)
見砂和照と東京キューバンボーイズによるジャズコンサートを実施します。

《参考》【6年度 港北芸術祭実行委員会主催事業 鑑賞型事業】

- ・「角田健一ビッグバンドin港北」(9月29日 港北公会堂)
来場者数：552人
- ・「ドン・キホーテとその時代の音楽」(11月30日 港北公会堂)
来場者数：247人



【角田健一ビッグバンド in 港北】



【ドン・キホーテとその時代の音楽】

(2) 参加型事業

- ・さわってみよう！箏・尺八 (8月9日 港北区役所)
- ・夏の親子コンサート (8月31日 港北公会堂)
- ・港北区中学校生徒音楽会 (10月19日 港北公会堂)
- ・港北芸能大会 (11月3日 港北区民文化センター)
- ・港北三曲会演奏会 (11月15日 港北公会堂)
- ・筆文字で遊ぼう (書道体験教室) (12月20日 調整中)
- ・港北美術展 (2月25日～3月1日 大倉山記念館)
- ・オーケストラ体験教室 (3月14日 港北公会堂)

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	<u>7年度 (7月末)</u>
延べ数	1,794人	6,232人	9,980人	7,714人	二
実施事業数	3事業	9事業	11事業	10事業	二

※3年度 新型コロナウイルスの影響でイベント開催を中止したことによる減

【港北芸術祭実行委員会名簿 (敬称略・五十音順・7年4月現在)】

氏名	職業等
青 博孝	港北区連合町内会長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
五大 路子	女優
竹下 幸紀	港北区長
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介 (会長)	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》各種団体主催事業

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行います。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月22日）
- ・大倉山秋の芸術祭（10月29日～11月3日）
- ・港北区合唱の集い（11月9日）
- ・港北ダンスフェスティバル（2月1日）
- ・港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（1月20日）

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
延べ数	2,117人	5,237人	10,805人	8,388人	5,637人
実施事業数	2事業	4事業	7事業	5事業	5事業

3 – (7) 区民活動支援事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(7) 区民活動支援事業	1,287千円	522千円	40.6%
地域振興課			

【事業の概要】

区域の中間支援組織として、地域課題の解決や魅力づくりを目指し、市民公益活動と生涯学習を支援します。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 [(7) 135千円、(6) 135千円]

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材の貸出しなどを行っています。



【区民活動支援センター】 【イベント等のチラシの配架】

【ホームページでの活動情報紹介】 (6年度から)

2 情報誌「楽遊学」の発行【(7)752千円、(6)852千円】

団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」のデジタル化を進め
るほか、区内の区民利用施設等や地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等にも配布して
います。

- ・年6回発行、11,400部（1,900部/回）

【WEBページアクセス数】

年度	4年度	5年度	6年度
アクセス数	2,148	2,358	2,618

3 市民グループ・団体支援事業 [(7) 340千円、(6) 240千円]

- ・地域の活動者を対象にDXを推進するため、ICT講座を開催します（2回）。
 - ・若年層をターゲットに新たな活動の創出につなげる「港北地域学」を開催します（4回）。
 - ・ファシリテーターを交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す「港北つながるカフェ」を開催します（1～2回）。
 - ・グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなどによる「施設間連携会議」を開催します（12月）。

4 区民活動支援センターＩＣＴ化事業 【(7) 60千円、(6) 60千円】

- ・窓口相談の際にタブレットPC及び無線LAN(Wi-Fi)を活用し、ウェブサイトを案内しています。
- ・活動団体等のオンラインミーティング、オンライン講座にタブレットPC及び無線LANを活用しています。
- ・窓口配架チラシを区ウェブサイトに掲載しています。

3-(8) 地域振興活動事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(8) 地域振興活動事業			
地域振興課	3,000千円	557千円	18.6%

【事業の概要】

自治会町内会の活動を支援するとともに、自治会町内会の永年在職者の表彰や研修会等の実施を通じて、住みよい地域づくりの推進を図ります。

【主な内容】

1 自治会町内会への支援・連携事業《拡充》【(7) 1,443千円、(6) 1,340千円】

自治会町内会の加入促進に取り組んでいます。

- ・ 庁舎2階戸籍課の待合で転入者向け自治会町内会PRを実施（4月～）
- ・ 区内郵便局に加入促進チラシを配架（7月～）
- ・ 宅建協会を通じて加入促進チラシを不動産事業者に配架
- ・ 区関連イベントで自治会町内会の特設ブースを出展
- ・ 区内各所にてPR動画を放映

「自治会町内会掲示板への掲示物」等を各自治会町内会へ送付しています。

- ・ 送付回数：年10回（定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・ 送付先：自治会町内会 149団体
- ・ 送付数：議題1件につき掲示物約1,200部等

2 自治会町内会長永年在職者表彰の実施【(7) 1,307千円、(6) 1,300千円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表するため、自治会町内会長感謝会を実施し、会長在職5年（区長表彰）、10年以上5年ごと（市長表彰）、地区連合町内会長在職10年（市長表彰）の自治会町内会長永年在職者を表彰します。

3 自治会町内会のICT化【(7) 250千円、(6) 210千円】

ICT等を活用した活動を円滑に推進できるよう、地区連合町内会での出張講座や、区役所でのICT個別相談会の実施など、自治会町内会活動におけるICT化を引き続き支援します。

令和7年度も、支援内容や支援法等を連合町内会と協議し実施します。

[市民局再配当予算]

- ・ 地域活動推進費
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- ・ 防犯灯維持管理費補助金
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助
- ・ 自治会・町内会館整備費補助金
自治会町内会館の新築、改修、修繕等整備費の補助
- ・ 自治会町内会会館脱炭素化推進事業費
LED照明器具やエアコンの設置など、自治会町内会館の脱炭素化に対する費用の補助

[市民局再配当予算]

- ・地域活動推進事業
- ・区連会ホームページの更新
- ・自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発グッズの作製と配布
- ・自治会町内会区域図の提供
- ・区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・広報よこはまへの記事掲載
- ・「自治会町内会活動のしおり」配布
- ・イベントへの広告掲載／動画の放映
- ・デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【加入促進啓発災害用トイレキット】



【加入促進動画】

3-(9) 読書活動推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(9) 読書活動推進事業	1,653千円	825千円	49.9%
地域振興課			

【事業の概要】

読書活動を推進する取組として、紙芝居制作イベントやふるさと港北ふれあいまつり・ヨコアリくんまつりにおける読書関連ブース出展等を行うとともに、日吉図書取次所「日吉の本だな」での図書企画展示や朗読会、作家等による講演会等を開催します。

あわせて、地域全体で読書活動を推進するため、区内読書関連施設や団体等と連携して、情報交換や交流会等を実施します。

また、令和7年度は、第三次港北区読書活動推進目標の策定を行います。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【(7) 205千円、(6) 180千円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進しています。

(1) 紙芝居制作イベント

- こども「紙芝居づくり」教室（7月29日、8月7日）

物語を作る楽しさを体験できる、小学生対象の手づくり紙芝居制作講座を開催しました。

【参加者数】(元年度から実施)

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
延べ人数	中止	14人	24人	22人	33人

※3年度は、新型コロナウイルスの影響で開催を中止



【こども「紙芝居づくり」教室】

(2) 本とであおうイベント

- ・ふるさと港北ふれあいまつり／ヨコアリくんまつり（11月8日横浜アリーナ）

読書活動推進月間に、読書フェスティバル「みんなで遊ぼう本と出会おう」コーナーを出展します（港北図書館等と連携した各種図書展示、こども「紙芝居づくり教室」参加小学生や区内活動団体による紙芝居上演など）。



【港北図書館の児童書展示】



【小学生の手作り紙芝居上演】

(3) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひざにだっこで楽しむ絵本」（中央図書館発行）を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場に配布しています。

2 読書情報発信事業 【(7) 300千円、(6) 420千円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズに合わせた区内の読書関連情報の発信を強化しています。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・図書の取次機能に加えた読書関連情報等の発信（図書の企画展示やパネル展示等）
- ・地域交流、多世代交流の場として、区内活動団体と連携した企画等の実施（まちの先生等による朗読会やおはなし会等、区民活動支援センターの出張相談会など）



【大人のための朗読会】

(2) 各施設からの情報発信等

- ・図書館や地区センター等の読書関連施設で、新着図書やテーマごとの蔵書を紹介しています。
- ・区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」（3年度改訂発行）を引き続き配布しています。



【港北区本との出会いマップ】

3 活気にあふれるまちづくり

(3) 蔵書情報等の発信

区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやSNS等で発信しています。

(4) 港北区読書講演会

港北区にゆかりのあるテーマでの講演会を開催し、区民が本と親しむ機会を創出しました。
(5月10日 菊名地区センター)。

**【講演概要】**

「横浜・港北の鉄道の昭和時代」(講師:岡田直氏)

【参加者数】(5年度から実施)

年度	5年度	6年度	7年度
人数	48人	47人	44人

【港北区読書講演会】**3 読書団体連携事業 【(7) 30千円、(6) 48千円】**

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するほか、第三次港北区読書活動推進目標の検討を行うため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施しています。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等(小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区)で構成する連絡会を実施しました(7月2日)。

(2) 読み聞かせボランティア交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会を実施しました(6月24日)。



年度	5年度	6年度	7年度
人数	14人	18人	15人

※令和元年度、2年度、3年度は、新型コロナウィルスの影響で開催を中止

【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】**(3) 読書フェスティバルイベントカレンダー**

読書活動推進月間に、区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載します(10~11月)。

4 第三次港北区読書活動推進目標策定事業 《新規》 【(7) 1,118千円、(6) 0円】

令和6年度に第三次横浜市読書活動推進計画が策定されたことに伴い、令和7年度に第三次港北区読書活動推進目標を策定します。

(1) 第三次港北区読書活動推進目標の周知・啓発

第三次港北区読書活動推進目標を策定し、広く区民に周知するため、リーフレット等の作成及びホームページ等を活用した広報を行っています。

(2) バリアフリー図書の啓発

多様な読書活動を推進するため、区内各施設等と連携したバリアフリー図書の普及・啓発を行っています。

[教育委員会事務局再配当予算]

- ・横浜市民の読書活動推進事業
区づくり推進費と合算して、読書活動推進関連イベント等を実施

3-(10) こうほく プラ5.3推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(10) こうほく プラ5.3推進事業	941千円	555千円	59.0%
地域振興課			

【事業の概要】

横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ プラ5.3計画）に基づき、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して環境行動の推進に取り組みます。

世界的に問題となっている食品ロスや特に新計画で重点課題となっているプラスチックごみ問題等について、積極的に啓発等を行います。また、ポイ捨てや不法投棄のない、清潔できれいな街づくりを推進します。

【主な内容】

1 環境行動の推進 【(7) 811千円、(6) 761千円】

(1) 環境行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

環境行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等を表彰します（2月18日）。

(2) 環境行動普及啓発事業

- 「ヨコハマ プラ5.3 計画」の取組

プラスチック製容器包装の分別率アップ、新分別ルールの周知、地域イベントや大型スーパー店頭での分別啓発（6月7日、15日、28日）、新分別ルールの地域説明会（随時）（4月19日、5月10日、19日、31日、6月13日）、ふるさと港北ふれあいまつり（11月8日）、転入者向け分別相談ブースの設置（3月）

- 食品ロス削減の取組

生ごみ減量化の土壤混合法説明会（5月22日、6月26日、9月25日、10月23日）
フードドライブの受付及び啓発（随時）



【ふるさと港北ふれあいまつり】 【港北エコフェスタ】 【港北AUTUMN消防フェスタ 2024】

(3) 環境学習事業

- 区民向け啓発講座（随時）（4月11日、13日、23日）
- 動画やSNSを活用した啓発（随時）（7月～戸籍課モニターで外国籍の方向け分別啓発）
- 保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所と連携した環境学習（随時）（4月9日、30日、5月21日、29日、6月5日、12日）



【プラスチックごみ分別拡大研修会】

【保育園での出前講座】

(4) こうほく3R活動助成金

- 区内の地区連合町内会に対し、環境行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金を交付しています（360千円（年額30千円×12地区連合町内会））（9月）。
- 環境事業推進委員に対し、啓発物品の配付やイベント開催時のサポート等の活動を支援しています（隨時）。

[資源循環局再配当予算]

- ヨコハマ プラ5.3 計画広報啓発事業
啓発物品の購入費

《参考》【港北区の家庭ごみ収集量（単位：トン）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度
燃やすごみ・缶・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装の総量	57,580	56,123	54,071	<u>52,729</u>
燃やすごみ	48,362	47,275	45,549	<u>44,203</u>
缶・びん・ペットボトル	4,765	4,542	4,323	<u>4,211</u>
プラスチック製容器包装	4,453	4,306	4,199	<u>4,315</u>

2 街の美化の推進 【(7) 130千円、(6) 130千円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発
啓発キャンペーン（日吉駅など）（10月、2月）
- 地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃（通年）（4月24日区内企業、6月19日矢上小学校）
不法投棄地域清掃（新羽大熊農業専用地区）（年1回）
新横浜駅前周辺清掃（月1回）（4月9日、5月14日）、横浜アリーナ周辺清掃（月1回）（4月30日、5月28日）
日吉駅周辺一斉清掃（年2回）

(2) 不法投棄防止対策

- ポイ捨て防止看板作製・設置（随时）
- 不法投棄監視システムの維持管理（通年）

[統合事業費]

クリーンタウン横浜事業【(7) 842千円、(6) 842千円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進します。

港北区内では、新横浜駅周辺と日吉駅周辺を美化推進重点地区に指定しています。

- 新横浜駅周辺（美化推進重点地区及び喫煙禁止地区）
港北区美化推進員活動（週3回、通年）
- 日吉駅周辺（美化推進重点地区）
港北区美化推進員活動（週2回、通年）

3-(11) 港北ガーデンシティ推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(11) 港北ガーデンシティ推進事業	4,770千円	3,633千円	76.2%
区政推進課			

【事業の概要】

多様な恵みをもたらす花・緑・農・水を生かした「ガーデンシティ横浜」の推進、生物多様性保全への理解と行動の促進、地域の農や食・人とのつながりを実感する地産地消を推進することで港北区ならではの魅力とにぎわいを創出し、自然共生による豊かな暮らしの実現を目指します。

また、本事業を通じて、多世代に対してGREEN×EXPO 2027への区民参画を促進するとともに、一人ひとりの脱炭素行動につなげます。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン事業 【(7) 2,160千円、(6) 0円※】

(※R6港北オープンガーデン事業2,160千円)

区民が個人の庭やグループで育てている花壇等を公開し、互いに見学することで港北区の魅力を再発見し、花や緑を通じた区民の交流を促進することを目的として、第13回港北オープンガーデンを実施するとともに、第14回イベントに向けた企画を行います。

- ・特設案内所や対象となる会場でスタンプマークを集めると、個数により景品がもらえるスタンプラリーを行いました。
- ・地域ボランティアが参加会場を案内する「ルート案内ツアー」を、日吉、綱島、大倉山、菊名の4つのエリアで実施しました。
- ・イベント期間にあわせて野菜・花きの直売会を実施しました。
- ・GREEN×EXPO 2027の連携を一層強化し、機運醸成と区民参加の促進を通じて会場への来場につなげていきます。

【第13回港北オープンガーデン開催概要】

- ・日時：令和7年4月18日（金）～20日（日）、5月16日（金）～18日（日）
- ・会場数：144会場
- ・特設案内所：日吉駅・りそな銀行綱島支店横・大倉山駅

【イベント実施状況】

年度（回数）	開催日数	公開箇所	来場者数※ ¹
3年度（第9回）	42日	114※ ²	※ ³
4年度（第10回）	6日	122	約29,646人
5年度（第11回）	6日	126	約35,757人
6年度（第12回）	6日	138	約42,973人
7年度（第13回）	6日	144	約42,936人

※1 標本抽出方法で計算（カウント可能な会場を基に推計）

※2 現地公開（動画配信あり）91、現地公開（動画配信なし）20、動画配信のみ3

※3 参考数値：約4,104人（25か所でカウント・2日間）、動画再生回数：43,834回（3年6月21日時点・全94動画合計）



【第13回 参加会場の様子】



【第13回 ルート案内ツアーの様子】

[みどり環境局再配当予算]

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり
第14回オープンガーデンのパンフレット制作及び参加会場交流会等の実施

[脱炭素・GREEN×EXPO 推進局再配当予算]

- ・GREEN×EXPO 広報・推進活動事業【(7) 5,000千円、(6) 3,000千円】
GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた認知度の向上及び機運醸成の取組
 - ▶「第13回港北オープンガーデン」の特設案内所でのPR
 - ▶全国から24万人が来場した「第61回小田原北條五代祭り」でのPRブース出展
 - ▶令和7年7月7日に合わせた「記念フォトスポット」のテスト実施及びPR
 - ▶開催500日前と連動した区民まつりでのPRブース出展



【第13回港北OG】



【第61回小田原北條五代祭り】



【記念フォトスポット】

2 港北水と緑の学校事業 【(7) 1,860千円、(6) 0円※】

(※R6「港北エコアクション事業」の「港北水と緑の学校事業」2,315千円)

- ・環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、区内小学生向けに鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施しています。また、令和6年度から開始した広告協賛を引き続き実施しました。

▶区内小学校向け講座（5～11月）14回

▶小学生の学習成果の展示会（2～3月）

- ・事業の重要性・必要性に共感をいただいた7社に広告協賛をいただきました。

▶広告協賛企業

株式会社富川写真、株式会社横浜アリーナ、株式会社ウチムラ、グローバルゴルフネット
株式会社、株式会社 Syonan Tonbi Project、綱島商店街協同組合、NOSIGNER株式会社



【区内小学校向け講座の様子】



【小学生の学習成果の展示会
(6年度)】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
実施回数	18回	20回	20回	14回	
小：小学校向け講座	(小18回)	(小18回、 一般2回)	(小18回、 一般2回)	※2	7回
一般：一般向け講座	※1				
延べ参加者数	1,702人	1,301人	1,449人	968人	572人

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

※2 みどり環境局が実施する「横浜市環境教育出前講座」を活用することで、本事業では鶴見川での活動に特化した区内小学校向け講座のみを実施しました。

3 屋上緑化推進事業 【(7) 250千円、(6) 0円】

(※R6「港北エコアクション事業」250千円)

区庁舎及び太尾小学校屋上庭園の維持管理を区民ボランティアと連携して行うことで、区民が身近な自然に親しむ機会を創出するとともに、脱炭素行動を推進します。また、広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発を行います。

4 港北育苗プロジェクト《新規》 【(7) 500千円、(6) 0円】

子どもたちが花や緑に触れ、自然を大切にする気持ちを育むために、自分が育てた花で地域花壇を彩る「港北育苗プロジェクト」を実施します。

・区内小学生による育苗（11～3月）

・地域花壇への植替え（3月）

[みどり環境局再配当予算]

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業
「新横浜公園ピクニックパーク」イベントへの地産地消・森林保全啓発ブース出展
(11月予定)



【新横浜公園ピクニックパークの様子(6年度)】

[みどり環境局再配当予算]

- ・身近に農を感じる地産地消の推進事業
企業連携等による地産地消イベントの開催



【第13回港北オープンガーデンでの直売会の様子】

3-(12) 港北脱炭素みらい推進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(12) 港北脱炭素みらい推進事業	3,200千円	0千円	0%
区政推進課			

【事業の概要】

2050年の脱炭素社会の実現に向け、区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策・脱炭素化に向けた行動変容を促すことができるよう、区民・事業者・区役所が連携し、脱炭素の推進を通じて港北区の更なる成長につながる取組を行います。あわせて、GREEN×EXPO 2027に向けたあらゆる取組により、区民の認知度及び参加意欲の向上につなげます。

【主な内容】

1 港北脱炭素みらい推進事業 《新規》 【(7) 3,200千円、(6) 0円】

地域の最前線である区役所では、脱炭素社会の実現に向けて、自らが実践していくだけでなく、区民の行動変容を促進していくことが求められています。区民一人ひとりが日ごろから脱炭素行動を実践し、家庭や日常生活において排出削減を進めていくためには、幼少期から脱炭素行動を学び、自然と実践できるようにしていくことが重要です。また、子どもたちへの啓発等を通じて、親世代や地域へも波及させていくことで、より一層効果的な取組となることを目指します。

そこで、「GREEN×EXPO 2027」の開催も契機として、港北区内の企業と連携した脱炭素イベントの実施など、あらゆる機会を通じて、子どもたちが楽しみながら脱炭素社会を考えるきっかけを身近なところで創出します。

＜実施内容＞

・子ども向け脱炭素イベント

夏休み期間に合わせて、区内企業の取組紹介等を通じて脱炭素について学べる親子向けの脱炭素イベントを8月6日（水）に綱島SSTで開催しました。

・子どもたちやプロスポーツチームと共に進める脱炭素な暮らしの推進

区内の小学生及び港北区を拠点とするプロスポーツチームと連携し、区民の行動変容を促し、脱炭素な暮らしを定着させるための取組を実施しています。今年度は、来年度以降の展開に向けて1校でモデル実施に取り組みます。

・再生可能エネルギーの区庁舎への導入可能性を検討しています。

《参考》令和6年度の取組

・区内企業様ご協力のもと、GREEN×EXPO 2027とも連動した子ども向け脱炭素イベント（「脱炭素ってなに？見て！体験して！楽しむ！水素ステーション」）を春休み期間中の令和7年3月28日（金）に開催しました。



【当日の様子】

**YOKOHAMA
GO GREEN**



3-(13) まちづくり調整費

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(13) まちづくり調整費			
区政推進課	3,077千円	1,375千円	44.7%

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決のため、必要な調査や関係機関との調整を行います。

【主な内容】

1 まちづくり調整費・まちづくり調査費 【(7) 3,077千円、(6) 4,163千円】

(1) 地域課題の解決に向けたまちづくり

地域課題解決のため、区内における様々な機関と連携しながら必要に応じて随時適切な調査・対応を実施します。令和7年度は、日吉駅西口周辺の交通空間改善を目的とした車両一方通行化を本格実施するため、その周知や啓発活動に取り組んでいます。

【まちづくり調査等の実績】

年度	実施内容
3年度	港北区データ整理検討
4年度	—
5年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
6年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
7年度 (7月末)	日吉駅西口周辺の車両一方通行化実施に向けた周知・啓発

(2) 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）との連携

慶應SDMと連携し、「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）」も見据えた「暑さ対策」に関する取組を令和6年度に引き続き実施します。

【連携協定の概要】

港北区と慶應SDMは、平成29年5月に、「教育研究成果を活用した地域の課題についての調査・事業の実施、スポーツに関する取組やデータの活用検討等を通じて、相互のさらなる発展に寄与すること」を目的とした連携協定を締結しています。

【連携事業の実績】

年度	実施内容
3年度	・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操
4年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、地域課題の解決を学ぶワークショップ
5年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」に繋がるアイディア創出を図るワークショップ
6年度	「GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)」も見据えた「暑さ対策」における実証実験
7年度 (7月末)	熱中症リスクを低減させる行動変容モデルの構築に向けた実証実験の実施



【7年度（7月末）の連携事業の様子】

※ 区民意識調査 【(7) 0円、(6) 2,800千円】

令和7年度は調査を実施しないことから、計上しておりません。

4-(1) 区民サービス向上・環境改善促進事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(1) 区民サービス向上・環境改善促進事業	6,941千円	2,613千円	37.6%
総務課			

【事業の概要】

区庁舎について、快適に過ごせる環境づくりや施設の機能強化を行っています。

【主な内容】

1 区庁舎等の環境改善・機能強化【(7) 6,941千円、(6) 12,463千円】

- ・窓口等の環境改善（2階戸籍課窓口ほか）
- ・窓口受付システム使用料
- ・2階フロアの公衆無線LAN（Wi-Fi）通信費
- ・AEDの維持管理



【窓口等の環境改善】

4-(2) 区民利用施設環境改善事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(2) 区民利用施設環境改善事業			
地域振興課	3,120千円	543千円	17.4%

【事業の概要】

区内の区民利用施設について、利用者が快適に過ごせる環境づくりや、施設の機能強化を行います。

【主な内容】

1 区民利用施設の環境改善・機能強化 【(7) 2,220千円、(6) 2,220千円】

区民利用施設の環境改善に伴う消耗品、備品の購入や、委託等を実施しています。

- ・港北公会堂火災報知設備修繕調査
- ・下田小学校コミュニティスクール 複写サービス

2 子供の遊び場等の樹木保全 【(7) 630千円、(6) 630千円】

子供の遊び場等の樹木について、定期的な剪定や伐採を実施しています。

- ・太尾市之坪町会子供の遊び場 サクラ越境枝剪定

3 子供の遊び場安全規準不適格遊具の撤去等 【(7) 270千円、(6) 270千円】

公園施設業協会で定める安全規準を満たさない遊具について、撤去や更新等を進めています。

- ・下田上子供の遊び場 鉄棒撤去

4-(3) 戸籍課案内サービス向上事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(3) 戸籍課案内サービス向上事業			
戸籍課	3,092千円	1,016千円	32.9%

【事業の概要】

来庁者の待ち時間短縮や待合フロアの混雑緩和のため、戸籍課登録担当内の電話応対の一部委託化及びweb発券システムの運用を実施します。

【主な内容】

1 窓口混雑対策事業 【(7) 2,092千円、(6) 2,150千円】

(1) 電話案内業務

窓口の繁忙期において、電話応対の一部にオペレーターを活用することで、職員を来庁者の窓口案内業務に充て、区民サービスの向上を図っています。

- ・繁忙期の7年4～5月、8年3月（計70日間）に2人配置

《参考》

【オペレーター稼働実績】

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
電話受付件数 (実件数)	16,029件	15,899件	15,336件	11,575件	3,707件
オペレーター配置日数(実日数)	252日	251日	206日	177日	45日
オペレーター配置人数(延べ人数)	309人	288人	276人	240人	82人

(2) web発券システムの運用

5年1月に導入した区役所に来庁しなくても番号札を取得できるシステムを引き続き運用し、窓口混雑緩和を図っています。

《参考》最繁忙期における発券数（令和7年3月最終5開庁日）

- ・平均値…web発券：74件／1日 全体：508(396)件／1日 (WEB発券の割合：18.7%)
- ・最高値…web発券：119件／1日 全体：725(594)件／1日 (WEB発券の割合：20.0%)

【住民異動受付等件数】

	26日	27日	28日	29日	31日	平均
受付件数(件) (うち転入等のみ※)	447 (347)	412 (302)	455 (343)	503 (395)	725 (594)	508 (396)
最大待ち時間(分)	118	106	104	98	390	163
平均待ち時間(分)	68	49	52	48	221	88
最大待ち人数(人)	73	48	68	70	296	111
web発券数(件)	68	50	54	80	119	74
web発券割合(%)※	19.6	16.6	15.7	20.3	20.0	18.7

※転入等と印鑑登録等で発券する番号を分けており、web発券は転入等の番号でのみ実施。

2 繁忙期向け広報事業《拡充》【(7) 1,000千円、(6) 800千円】

春の引越しシーズンに伴う窓口繁忙期にあわせ、窓口の分散利用誘導、web発券利用促進及び転出届出・証明発行におけるマイナンバーカードの利用促進に向けた広報を行います。

- ・インターネットを活用した広告（2～3月）

《参考》**【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】**

	3 年 度 末	4 年 度 末	5 年 度 末	6 年 度 末	<u>7 年 度 (7月末)</u>
人口(A)	352,694人	355,442人	356,788人	359,274人	<u>360,014人</u>
世帯数(B)	176,636世帯	179,337世帯	181,250世帯	183,844世帯	<u>184,625世帯</u>
平均世帯人員(A/B)	2.00人	1.98人	1.97人	1.95人	<u>1.95人</u>

※横浜市ウェブサイト掲載資料から引用

【市外からの転入者数（住民基本台帳人口）】

年度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	<u>7 年 度 (7月末)</u>
実人数	14,254人	14,868人	14,200人	14,775人	<u>4,962人</u>

4-(4) 港北区PR情報発信事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(4) 港北区PR情報発信事業	1,523千円	361千円	23.7%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスが得られるようSNS等を運営します。

また、区のキャラクターを有効活用し、SNSのフォロワー獲得に繋がる啓発物品の製作や企画を実施し、区のPRを行います。

【主な内容】

1 情報発信事業 【(7) 1,523千円、(6) 1,072千円】

スマートフォン等の普及により区民の区政情報の入手手段が多様化していることを踏まえ、タイムリーかつターゲットを意識した有効な情報発信を行います。

また、区のキャラクターである港北区ミズキーを子ども向けの携帯用防災カードの新規作製に活用するなど、区の魅力発信に取り組みます。

【港北区ウェブサイトアクセス件数・Xフォロワー数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
アクセス件数	約300万件	約250万件	約250万件	約340万件	約120万件
フォロワー数	約10,200人	約10,700人	約10,900人	約11,500人	約11,600人

【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
利用件数	7件	21件	30件	32件	5件



【港北区ミズキークリアファイル】



【港北区ミズキーシール】



【港北区ミズキー着ぐるみ】

4-(5) 「仕事力向上」職員育成事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(5) 「仕事力向上」職員育成事業	620千円	165千円	26.6%
総務課			

【事業の概要】

適正な業務執行や業務スキルの向上を図るため、CS・ES向上研修やスキル向上研修を実施します。加えて、人権感覚を育み、正しい理解及び認識を身につけるため、人権啓発講演会を実施します。

【主な内容】

1 職員向け研修 [(7) 320千円、(6) 320千円]

(1) 新採用・転入職員・会計年度任用職員向けCS・ES向上研修

CS・ESの向上を図るため、新採用・転入職員・会計年度任用職員を対象として実施しました（4月25日、5月7日 参加人数：80名）。

(2) スキル向上研修

業務スキルの向上を図るため、職員、会計年度任用職員を対象とし、「レジリエンス研修」を実施します（9月19日実施予定）。

2 人権啓発講演会等 【(7)300千円、(6) 305千円】

人権感覚を育み、人権に対する正しい理解及び認識を身につけるため、市民・職員向けの人権啓発講演会や、職員向けの人権啓発研修を実施します。

【人権啓発講演会の実施状況】

年 度	テーマ	講師	参加者
3 年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区ウェブサイトに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterにて投稿		
4 年度	「いじめって何ですか?」 ～いじめに対する大人の認識を考える～	小森 美登里 (NPO法人ジエント ルハートプロジェクト理事)	約250人
5 年度	多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり ～20人に1人はいるかもしれないLGBTQ～	星野 慎二 (定非営利活動法人 SHIP理事長)	約100人
6 年度	僕の宝物 (障害を受容できるきっかけとなった出来事や東京2020パラリンピックについて)	嶋峨根 望 (東京2020パラリン ピック日本代表)	約120人
7 年度	テーマ、講師、実施日時等は現在選定中です。		



【6年度人權啓發講演會】

広報よこはま区版発行事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	14,665千円	13,332千円	90.9%
区政推進課			

【事業の概要】

区民の生活に必要な行政情報等を提供し周知するため、広報よこはま港北区版を発行します。

【主な内容】

1 広報よこはま区版作製 【(7) 14,665千円、(6) 14,206千円】

広報紙は原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布しているほか、区ウェブサイトへの掲載やX（旧ツイッター）等で情報を発信しています。

(1) 発行

毎月1日、年12回
58万部（14.5万部/月）発行



(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、
8ページ



(3) 紙面構成

- ・特集、トピックス記事
区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面
- ・お知らせ記事
区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

【参考】

港北福祉保健センターからのお知らせ
発行：年1回（7年4月号に挟み込み）
仕様：4色刷り、4ページ
内容：検診日程等

【広報よこはま区版発行部数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
年間部数	172万部	172万部	174万部	175万部	58万部
月平均部数	14.3万部	14.3万部	14.5万部	14.6万部	14.5万部

《参考》統合事業費

広聴相談事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,016千円	2,010千円	99.7%
区政推進課			

【事業の概要】

サービス改善等に関する区民の意見・提案等の把握や、来庁者への的確な案内や行政情報の提供のほか、区民が日常生活で直面する問題対処のための専門相談を行います。

【主な内容】

1 特別相談事業 【(7) 2,016千円、(6) 1,946千円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行います。

【特別相談実施概要】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など法律問題全般について	弁護士	水曜日及び (8月を除く) 第1・ 3木曜日 13:00～16:00
司法書士相談	債務整理(140万円以下)、不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約などの公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

【特別相談・広聴・窓口案内件数】(単位：件)

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (7月末)
特別相談	法律相談	420	448	460	160
	司法書士相談	57	70	103	19
	公証相談	8	14	20	7
	交通事故相談	6	4	2	0
	行政相談	0	5	13	3
広聴事業	1,049	800	729	721	307
窓口案内	61,006	57,908	46,757	52,517	18,678

《参考》統合事業費

青少年活動支援事業

事業名・所管課	7年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,083千円	2,934千円	95.2%
地域振興課・こども家庭支援課			

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援し、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行います。

【主な内容】

1 青少年指導員事業 【(7) 2,273千円、(6) 2,272千円】

- ・自然体験教室（6月7日）
- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
- ・社会環境実態調査（7月～9月）
- ・全市統一行動キャンペーン活動（11月8日）
- ・広報誌の発行（9月・3月）



【自然体験教室】



【全市一斉統一行動パトロール活動】

【自然体験教室への参加人数】

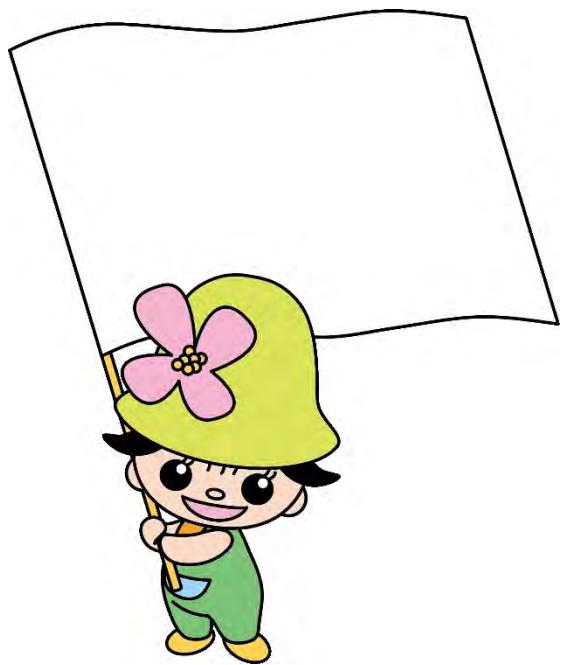
年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実人数			66人	24人	<u>37人</u>
実施場所		天候不良 により 中止	ソレイユの丘	新横浜公園 鶴見川流域センター	<u>三ツ沢公園青少年 野外活動センター</u>
実施内容			クラフト体験 (万華鏡づくり) フォトランナー	ウォークラリー	<u>野外炊飯 ネイチャービンゴ</u>

※3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 学校・家庭・地域連携事業 【(7) 810千円、(6) 810千円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ補助金を交付します。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図ります。

《参考》統合事業費



資料3

令和7年第3回
区づくり推進横浜市会議員会議資料
令和7年9月5日
港 北 区

令和8年度 港北区予算編成の考え方について

区の基本目標

活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」
～区民の皆様の安全・安心を守り、共にあゆむ区政～

1 基本的な考え方

新たな中期計画の方向性を踏まえ、区の基本目標の実現に向けて、本市の「財政ビジョン」及び「行政運営の基本方針」に基づき、令和8年度予算を編成します。

すべての事業において、区民意識調査をはじめ、様々な手法を活用して地域の課題やニーズを丁寧に把握し、「市民目線」と「スピード感」を持って対応します。また、データに基づく効果検証やDXによる業務の効率化を推進し、「創造と転換」による見直しを図ります。

今後も人口増が見込まれる港北区において、引き続き区民の皆様との共感と信頼を基盤に、自治会・町内会、商店街、NPO、企業などとのつながりを深め、また社会情勢の変化に迅速かつ的確に対応しながら、「住みたい・住み続けたい豊かさがあふれるまち」の実現に向けて取り組みます。

2 予算編成の視点

- 各地で発生する自然災害を踏まえ、地震や豪雨災害への備えを一層強化するとともに、防犯対策や交通安全対策など、区民の皆様の安全・安心を支える施策を推進します。
- 子ども・子育て世代、高齢者、障害のある方など、誰もが安心して自分らしく暮らせるよう、一人ひとりに寄り添いながら、地域で支え合う福祉・保健のまちづくりを進めます。
- 港北区をこれからも「ふるさと」と感じていただけるよう、地域のつながりや魅力を実感できる取り組みを通じて、まちのにぎわいを高めます。さらに、GREEN×EXPO 2027 の開催を間近に控え、グリーン社会の実現に向けた施策を展開します。

こうした施策を相互に連動させながら、地域の実情や多様化するニーズにきめ細やかに対応し、各施策を一体的かつ総合的に推進します。

令和7年第3回
区づくり推進横浜市会議員会議資料
令和7年9月5日
港北区

第三次港北区読書活動推進目標の策定について(報告)

1 趣旨

横浜市民の読書活動の推進に関する条例第3条に基づき、「第三次横浜市民読書活動推進計画（令和6年度～令和10年度）」が昨年度策定されたことを受け、港北区においても、「第三次港北区読書活動推進目標（令和7年度～令和11年度）」（以下「第三次区目標」という。）を策定するため、本素案に対する区民意見募集を行い、第三次区目標の内容がまとまりましたので報告させていただきます。

2 第三次区目標（素案）について

これまでの取組を引き続き推進しつつ、第三次横浜市民読書活動推進計画や港北区の運営方針を軸として、第三次区目標（素案）として定めました。

目標1 未来を担う子どもたちの読書活動の推進	家庭、保育園・幼稚園、学校などでの読書活動を通じて、読書の機会を充実させ、子どもたちの読書意欲の向上に取組みます。
目標2 区民の読書活動の環境と機会の充実	区内関係施設と連携した取組を通じて、区民の読書の機会を拡大します。
目標3 読書バリアフリーの推進	港北区内の障害者施設や区民利用施設などと連携しながら、バリアフリー図書の周知・拡大を行うことで、全ての区民が読書に親しめる環境の整備に取り組みます。
目標4 ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進	読書活動を通じた港北区の歴史や文化、特色ある地域情報を発信することにより、ふるさと港北への愛着を育みます。

3 第三次区目標（素案）に対する意見募集について

4月8日から5月31日の間、区民の方を対象として、意見募集を実施しました。

【意見募集結果】

回答数	31件
回答方法	紙：15件 電子：15件 メール：1件
回答者年代	30代：3件 40代：3件 50代：8件 60代：7件 70代：3件 80代～：6件 不明：1件

		主なご意見（抜粋）
目標 1	未来を担う子どもたちの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に非常に重要な活動だと思います。 ・子どもに読書を勧めるには、保護者の朗読会などを開くと良い。 ・手に取って見たい本を多くほしい。本がなさすぎる。おはなし会に参加する（活動する）。
目標 2	区民の読書活動の環境と機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の母と大綱中学校コミュニティハウスの本を借りて楽しんでおります。様々な本があり大変ありがとうございます。 ・本の受け取り場所を増やして欲しい。 ・読書を身近なものとして、本に接する機会の拡大は良いことだと思う。
目標 3	読書バリアフリーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害がある方はもちろん、見えにくい方、高齢の方など多くの方々にDAISY 図書の更なる充実を！ ・活字の拡大機の利用がもっと使いやすく台数も多いことを望みます。 ・一般にはバリアフリー図書という言葉すら浸透していないと思うので、図書館からの発信は必須だと思います。
目標 4	ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・港北区にある図書館として、特色のある「ふるさと情報」を発信することは地域の一体感創出にもつながり、とても良いと思う。 ・読書でふるさと港北への愛着を育む、のような、こちらのご都合があからさまな提案は、読書活動の推進を妨げるよう思う。
その他	素案に対するその他	<ul style="list-style-type: none"> ・本好きな人ではない大人、親は、ためになるから本を読ませたい発想がありすぎて、かえって読書嫌いを生むリスクがあると思う。読書は、趣味や習慣として個人が選択するものだという前提で、押しつけない施策が必要。 ・図書館で借りた本を最寄り駅や、地区センターなどに返却ボックスがあると楽に借りて来られるのですが。いちいち図書館まで返しに行くのが大変です。

4 これまでの経過と今後のスケジュール

～令和7年3月	障害者施設等へのヒアリング 港北区役所、港北図書館での第三次区目標の検討
令和7年3月	港北区読書活動推進関係機関連絡会での第三次区目標素案内容の確認
令和7年4月～5月	第三次区目標素案の公表及び区民意見募集
令和7年7月2日	港北区読書活動推進関係機関連絡会での第三次区目標の内容確認
令和7年9月5日	令和7年第3回区づくり推進横浜市会議員会議での第三次区目標の原案報告
令和7年10月	第三次区目標の策定・公表

第三次港北区読書活動推進目標(原案)

目標1 未来を担う子どもたちの読書活動の推進

家庭、保育園・幼稚園、学校などでの読書活動を通じて、読書の機会を充実させ、子どもたちの読書意欲の向上に取組みます。

■取組内容

親子で本と触れあえる機会の充実（家庭、保育園・幼稚園等）

- ・図書館や地域子育て支援拠点（どろっぷ）・地区センター等市民利用施設、保育園や幼稚園などで、乳幼児を対象としたおはなし会や、保護者向け読み聞かせ講座などを広げていきます。
- ・乳幼児のいる家庭向けに、健診時などを通じて読み聞かせリーフレットの配布等を行い、絵本の紹介を行います。
- ・読書活動推進月間の11月に親子で本とあうイベントを開催します。

学校図書館を中心とした読書活動（小・中学校）

- ・司書教諭・学校司書が中心になって、学校図書館の利用を促進することで児童・生徒が読書に親しむ機会を増やしていきます。
- ・学校図書館を活用することに加え、授業で使用するための「教職員向け貸出し」を通じて児童や生徒の学習・読書活動を一層充実させます。
- ・港北図書館は司書教諭・学校司書からの相談を受け付けるとともに、読書活動に関する情報の提供を行います。
- ・学校図書館ボランティアのスキルアップ講座や交流会を開催し、活動を支援します。

目標2 区民の読書活動の環境と機会の充実

区内関係施設と連携した取組を通じて、区民の読書の機会を拡大します。

■取組内容

読書に関する情報発信の充実

- ・図書の閲覧や貸出が区民の身近にある施設で利用できることを紹介した「本との出会いマップ」を改訂・配布します。
- ・区民利用施設の蔵書の状況や図書館で実施している電子書籍サービスの情報等を引き続き発信します。
- ・読書活動推進月間の11月に区内関連施設の読書イベントを、ホームページやSNSなどを通じて情報発信するなど、区内関連施設の情報共有・協働を進めます。

読書を楽しむきっかけづくり

- ・読書会、朗読会、講演会などを開催し、だれもが読書を楽しむ機会を提供します。
- ・学校や地域で活動する図書修理・読み聞かせ等のボランティア、読書活動団体を支援する講座の開催や情報交換の機会を増やします。
- ・港北図書館では、多様な区民ニーズを意識して蔵書を充実させるとともに、蔵書を活用した展示、イベントの実施により読書活動を支援します。
- ・日吉図書取次所（日吉の本だな）では本の展示や、読書に親しむきっかけとなるようなイベントを継続的に実施することで、読書の機会の拡大を図ります。

目標3 読書バリアフリーの推進

港北区内の障害者施設や区民利用施設などと連携しながら、バリアフリー図書の周知・拡大を行うことで、全ての区民が読書に親しめる環境の整備に取り組みます。

■取組内容

読書バリアフリーの基盤づくり

- ・港北図書館のバリアフリー図書を充実させるなど、読書バリアフリーの環境を整えます。
- ・読書バリアフリーに対する理解促進のため、身近な場所でバリアフリー図書や読書支援機器を体験する機会を提供します。

読書バリアフリーの広報

- ・区内の障害者施設や区民利用施設などと連携し、読書バリアフリーに関する制度やサービスに関する情報を、障害の有無に関わらず、広く区民に向けて発信します。

目標4 ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進

読書活動を通じた港北区の歴史や文化、特色ある地域情報を発信することにより、ふるさと港北への愛着を育みます。

■取組内容

港北の歴史を知り学べる資料の活用

- ・港北図書館で区の歴史・文化を伝える地域資料を用いた展示・講座等を実施します。

港北の特色ある地域情報の発信

- ・歴史的な文化財や資料を活用し、市民講座や企画展示、講演会などの開催を通じ、引き続きふるさと港北の魅力を発信します。